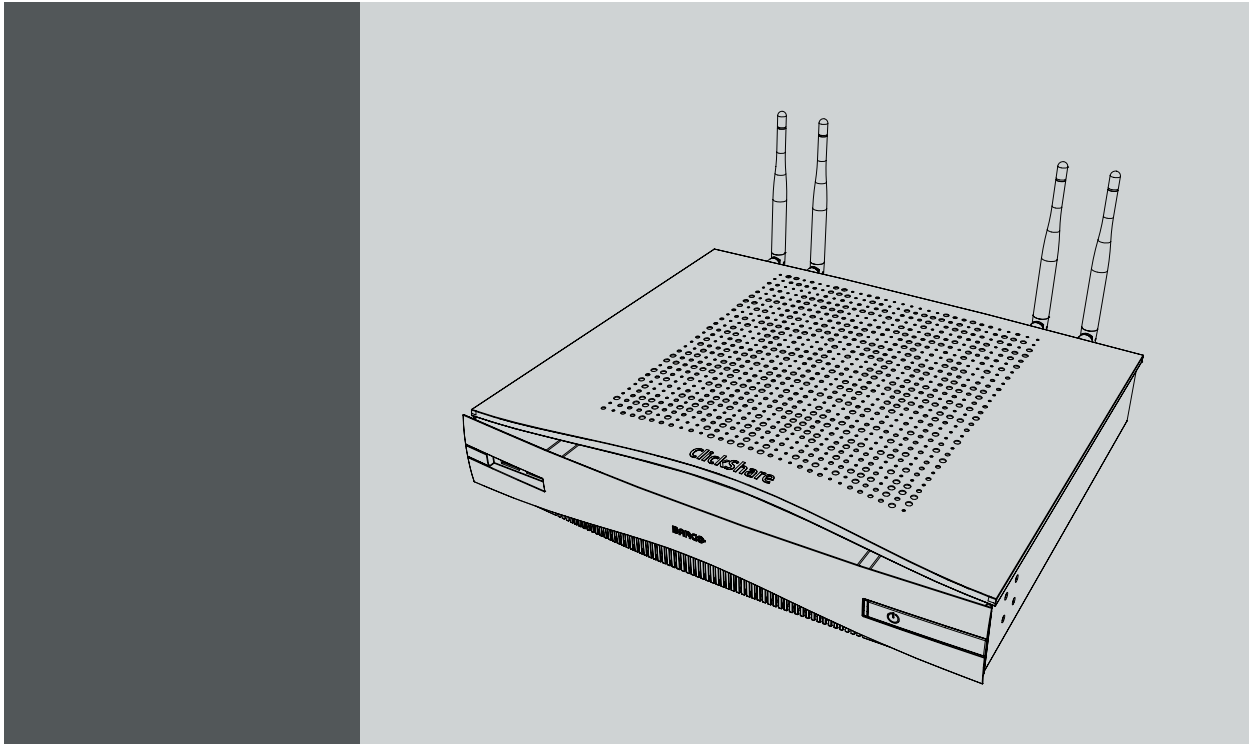


ClickShare CSE-800



設置マニュアル

製品改訂

ソフトウェア バージョン: 1.5

Barco NV

Beneluxpark 21, 8500 Kortrijk, Belgium

Tel: +32 56.23.32.11

Fax: +32 56.26.22.62

サポート: www.barco.com/en/support

Barco Webサイト: www.barco.com

Registered address: Barco NV

President Kennedypark 35, 8500 Kortrijk, Belgium

Tel: +32 56.23.32.11

Fax: +32 56.26.22.62

サポート: www.barco.com/en/support

Barco Webサイト: www.barco.com

BarcoClickShare製品向けユーザーライセンス契約¹

本製品向けユーザーライセンス契約 (EULA) は、本文書に付属するBARCO GENERAL EULAと共に、ソフトウェア利用の諸条件について規定します。

ソフトウェアを開いたりダウンロードして使用したりする前に本文書をよくお読みください。

本ライセンス契約に記載される条件に同意できない場合には、ライセンスに合意しないでください。またソフトウェアのすべてまたはその一部をインストール、ダウンロード、アクセスまたはコピー/使用することも認められません。

1.資格の付与

Barco ClickShare(「ソフトウェア」)は、対象のドキュメンテーションでさらに詳細に記載されているように、各ソフトウェアコンポーネントを含む、ワイヤレスのプレゼンテーションソリューションを提供します。

本ソフトウェアは、ClickShareベースユニットおよびボタン、または認定されたClickShareアプリケーション(それぞれ「Barco ClickShare製品」)のダウンロードに対する購入の完了、および関連購入価格の支払いを条件として、使用できます。

- **条件**
Barco ClickShare製品の最初の使用日から、かかるBarco ClickShare製品をお客様が操作する限り、本EULAの条件でソフトウェアを使用できます。
- **導入および使用**
かかる製品のためにBarcoによって発行されるドキュメンテーションに従い、Barco ClickShare製品に関して、ソフトウェアは単独で使用されるものとします。

2.サポート

ソフトウェアは、Barcoの保証の付帯事項に記載されている保証条件が適用されます。ソフトウェアのアップグレードおよびアップデートの規定を含むメンテナンス、およびヘルプデスクのサポートが、Barcoの条件、さらには現行の保証の付帯事項において、お客様がオプションを選択することにより利用可能です。

製品の販売時点またはBarco ClickShare製品および/またはソフトウェアの保証期間中においては、より高いメンテナンスおよびサポートレベルが得られます。

より高いメンテナンスおよびサポートレベルについて、注文し、追加でお支払いされる場合、初回のお買い上げに含めることができます。中断なくメンテナンスおよびサポート契約を維持することを、強く推奨します。Barcoは、お客様による中断後にメンテナンスを再開しない権利を保有しています。

3.使用条件

本文書に付属するBarco EULAに記載の通り、本ソフトウェアを使用できます。

本製品向けEULAの条項は、矛盾または不一致が生じる場合には、Barcoの一般的EULAに優先します。

(故意ではないまたはその他の)不履行(例えば、実際の使用が本契約で許可されている使用範囲を超える場合)が生じる場合、Barcoは、不履行が救済されるまでソフトウェアに対するアクセスを停止するオプションを有するものとし、不履行が救済されない場合には本文書に記載されるようにライセンス契約を終了させる場合があります。

4.プライバシー

お客様は、ソフトウェアによって処理される個人データの管理者です。したがって、お客様は、(特にお客様が提供または制御するコンポーネントについて)適用対象の全データ保護法の順守、プライバシー保護およびセキュリティ措置を実施および維持することに単独で責任を負います。Barcoは、この点に関し一切の保証をしないものとします。

Barcoは、このアプリケーション(<http://www.barco.com/en/about-barco/legal/privacy-policy/clickshare-app>)による個人データの処理について記載する、モバイルデバイスのClickShareソフトウェアアプリケーションの特定のプライバシーポリシーを作成しています。

5.その他の項目

- **オープンソースコンポーネント**
本ソフトウェアには、オープンソースライセンスによりリリースされているソフトウェアコンポーネントが含まれています。使用されているサードパーティのコンポーネント一覧は、Barcoウェブサイト(「My Barco」セクション)またはその他の(オンラインによる)手段により、ソフトウェアのREADMEファイルに示されています。対象のライセンス条件、著作権表示、および関係する場合、本文書に付属するBarco EULAに記載のように、ソースコードアクセス条件が適用されます。
- **データの保持**
機能的情報を使用および保持するBarcoの権利(EULAのセクション10.2)は、本EULAの契約後も有効であり続けるものとします。

BARCOエンドユーザーライセンス契約¹

(本ライセンス契約の電子コピーの条件に対して承認するために設計されたボックスまたは他のメカニズムを選択することで)本契約に同意することにより、または(上記のように)ソフトウェアのすべてまたは一部をインストール、ダウンロード、アクセスまたはコピーすることにより、(i)お客様は、実行を許可されたエンティティ(例えば、雇用者)の代理として本ライセンス契約に同意し、本ラ

1. EULAの翻訳とEULAの英語のテキストの間に相違または不一致が見られる場合には、英語のテキストの解釈が優先されます。

ライセンス契約に一致するように行動することに同意し(または、実行を許可されたエンティティがない場合には、個人として自身の代理として本ライセンス契約に同意し、本契約によって法的に拘束されることに同意し)、(ii)お客様は、ご自身が、かかるエンティティの代理として実行する場合に、エンドユーザーから正当に権限を付与されていることを表明し、保証します。

これらの条件は、元のライセンス契約の時点で、またこの契約期間における、お客様のソフトウェアの使用に適用されます。ライセンス更新または追加のライセンスを購入される場合、現行版の本ライセンス契約が適用され、そのライセンスの期間中および/またはかかる変更された要素に関して、契約内容には変更はありません。他の契約書類(本文書と共に提供される場合、製品向けのEULA、メンテナンスおよびサポート契約)が、これらの条件に加えて適用され、これがライセンス契約全体を形成します。お客様は、本契約の電子コピーが、関係者によって署名されたハードコピーと同じ証明的価値を有することを承認します。

お客様がこれらの条件についてライセンス契約に同意されない場合、またはかかるエンティティの代理として(またはかかるエンティティが存在しない場合にはお客様個人として)実行する、およびかかるエンティティを拘束する、権利、パワーおよび権威を有するのではない場合、「同意する」ボタンを選択したり、契約を承認するために設計されたボタンまたは他のメカニズムをクリックしたり、ソフトウェアのすべてまたは一部をインストール、ダウンロード、アクセスまたはコピーしないでください。

1.定義

「アフィリエイト会社」は、コーポレーションまたはエンティティを直接または間接的に制御する、これらに制御される、またはこれらとの共通の制御を受けるコーポレーションまたは他のエンティティを意味します。上記の目的で、「制御」は、(i)自己資本または株の50パーセント以上の直接または間接の所有権または制御、または関連のコーポレーションまたは他のエンティティの投票権、あるいは(ii)関連のコーポレーションまたは他のエンティティの役員会構成の制御を意味します。

「Barco」とは、会社所在地Beneluxpark 21, 8500 Kortrijk, BelgiumのBarco NV(会社番号0473.191.041)、または本契約の主題となっているプロプライエタリ・ソフトウェアをお客様にライセンス付与しているその指定されたアフィリエイト会社を意味します。

「ドキュメンテーション」とは、すべての技術的レファレンスおよびインストールマニュアル、ユーザーガイド、公開されたパフォーマンス仕様書およびその他の、ソフトウェアおよびソフトウェアの修正およびアップデートに関して、一般的にそのライセンスに対してBarcoから提供される他の書面によるドキュメンテーションを意味します。

「DRM」とは、ソフトウェアに対するアクセスおよびソフトウェアのアクセス条件を提供するために使用されるBarcoのデジタル権利管理プラットフォームを意味します。

「ライセンス契約」は、製品向けEULAの条件および本文書内に記載されているようにその修正を組み込む、Barcoエンドユーザーライセンス契約(EULA)を意味します。

「製品向けEULA」とは、適用される補足的なソフトウェア条件を意味します。

「ソフトウェア」とは、適用される発注書および関連する製品向けEULAに記載されている、本契約に従ってライセンスが付与されている、オブジェクトコードのみでリリースされるコンピューターソフトウェアを意味します。

「期間」とは、本文書の第9.1条項に記載される期間、および合意された更新期間を意味します。

「お客様」とは、その代理としてこれら条件が受諾されるエンティティ、およびソフトウェアへのアクセスを持つその代表者のいずれかを意味します。

2.ライセンス付与

2.1 License Scope.すべてのライセンス条件を履行し、適用される料金の支払いを行うことを条件に、Barcoは、本文書に記載される条件およびパラメーターに従い、ソフトウェアを独占的に使用するための、制限付き、非排他的、譲渡不可、移転不可、サブライセンス不可のライセンスをお客様に付与します。製品向けEULAまたはDRMツールによって確認されるより広いライセンス条件を除き、本ライセンス契約のライセンスは、1人のユーザーによって1つのコンピューティングデバイス上で使用するためのソフトウェアの1つのコピーに適用されます。複数のユーザーが同時にアクセスできるコンピューターデバイスにインストールされている場合は使用は許可せず、本ソフトウェアが導入されているコンピューターデバイスに同時に接続している各ユーザーそれぞれに対して別々のライセンスが必要になります。

2.2 License Type.適用対象のライセンスの種類、および時間、導入、利用の権利は、その製品向けEULAに詳述されています(範囲の記載がない場合には本文書の第2.1条項に記載の通りとします)。

2.3 License restrictions.

意図された使用方法お客様は、適用対象の法律により、またその設計およびドキュメンテーションと一致する事柄において、本ライセンス契約(およびその一部となる製品向けEULA)によって許可されたとおりのみに、本ソフトウェアを使用することに同意します。

譲渡不可(ライセンス契約)お客様は、Barcoの事前の書面による合意を得ることなく、ライセンスの権利を他の人またはエンティティに、譲渡、割り当て、またはサブライセンス付与しないことに合意するものとします。

譲渡不可(ソフトウェア)最初にインストールされたコンピューターデバイスからソフトウェアを無効にまたはアンインストールする場合、Barcoによって特に承認される場合を除き、ライセンス契約を終了します。お客様は、接続のプール、情報の再ルートが可能にする、他のハードウェアまたはソフトウェアに関連して、または認証されたデバイスまたはユーザー数を超えてソフトウェアの導入および使用を可能にする(例: マルチプレキシング)ことによりライセンスの制限に違反またはこれを回避することを可能にする他の方法で、ソフトウェアを使用したり、あるいは実際に必要なライセンス数を少なくしようと試みようとしないことに合意します。

認証されたユーザーソフトウェアの使用は、お客様の組織内の人、またはお客様の責任および管理下におかれるサードパーティの代表者に限定され、かかる人はライセンス契約の条件を受諾することを条件とします。お客様は、Barcoからの事前の書面による承認なしに、サービスビューロー上でまたはタイムシェアリング方式あるいは他の方法を問わず、サードパーティのためにサービスを実

行するためにソフトウェアを使用したり、ソフトウェアが使用されることを許可することに同意しません。お客様は、ソフトウェアのセキュリティまたは他の利益を、リース、貸与、販売または譲渡あるいは付与しないものとします。

修正不可お客様は、ソフトウェアのエラーを修正する、ソフトウェアを改変または適合させる、ソフトウェアに基づく派生物を作成する、あるいはサードパーティがこれらを行うことに許可を与えることはしないものとします。

リバースエンジニアリング不可お客様は、この制限にもかかわらず適用対象の法律において明示的に許可されている程度を除き、または、適用対象のオープンソースライセンスに該当するかかる特定のアクティビティを許可することがBarcoが法的に必要である程度を除き、ソフトウェアをリバースエンジニアリングまたは逆コンパイル、解読、逆アセンブルまたは人間が読み取れる形態に変換することに同意しません。

相互運用性の確保に必要なコード法律で必要な程度まで、かつお客様の書面による依頼により、Barcoは、Barcoの適用可能な料金の支払いが行われている場合(必要な場合)、ソフトウェアとお客様が使用する別の独立して作成されたプログラムとの間の相互運用性を実現するために必要なインターフェース情報を、お客様に提供するものとします。お客様は、かかる情報に対する機密を保つ厳しい義務を順守するものとし、Barcoが適用する条件に準拠して、かかる情報を使用するものとします。

バンドル解除不可ソフトウェアは、様々なアプリケーションおよびコンポーネントを含む場合があり、複数のプラットフォームおよび言語をサポートする場合があります。また、複数のメディアまたは複数のコピーにおいて提供される場合があります。それにもかかわらず、ソフトウェアは、本文書で許可されているように、デバイスにおける単一の製品として使用される単一の製品として、設計され、お客様に提供されます。お客様は、異なるコンピューターデバイスで使用するために、ソフトウェアのコンポーネント部分をバンドル解除することには同意しません。

地域お客様は、Barcoまたはその認定リセラーから、またはドキュメンテーションに記載されているように、ソフトウェアを取得する地域または地区において、独占的にソフトウェアを使用することに同意します。輸出が許可される場合、適用対象の(輸出)法および規制を順守するものとします。

2.4 Your Infrastructure.お客様は、ソフトウェアの動作に必要なハードウェア、オペレーティングシステム、ネットワークおよび他のインフラストラクチャー(「インフラストラクチャー」)を調達および維持し、かかるインフラストラクチャーの機能を保持してウイルスから守ることに責任を負うものです。お客様には、本ソフトウェアが複雑なコンピューターソフトウェアアプリケーションであること、そのパフォーマンスはハードウェアプラットフォーム、ソフトウェアの相互作用および構成により異なることがあることを承認していただきます。お客様は、ソフトウェアがお客様の要件や期待を満たすために特別に設計、制作されたものではなく、お客様がソフトウェアを選択したのは、一切お客様自身の選択および決定であることを承認するものとします。

3. 所有権知的財産権

3.1 Ownership.ソフトウェアは、お客様に販売するのではなく、本ライセンスの条件の下での使用のみを非排他的に許可するライセンスを供与するものであり、お客様に明示的に付与されないすべての権利はBARCOおよびそのサプライヤーが所有するものとします。お客様は本ソフトウェアが提供されるキャリアを所有できますが、本ソフトウェアおよびその著作権はBARCOまたはサードパーティ供給業者が所有するものとします。お客様のライセンスは権限や所有権を授与するものではなく、本ソフトウェアまたはそのドキュメンテーション内の権利を販売するものではありません。

3.2 Third Party Materials.本ソフトウェアには、www.barco.comまたはその他(「識別されたコンポーネント」)において、ドキュメンテーション、readmeファイル、サードパーティのクリック承諾においてBarcoによって識別される、(プロプライエタリ・ソフトウェアまたはオープンソースソフトウェアを含むがそれには限定されない)特定のサードパーティの技術が含まれる場合があります。またはその技術の使用を必要とすることがあります。識別されたコンポーネントは、追加および/または異なる条件によって変更される場合があります。お客様は、今後の場合において、本ライセンス契約の条項に優先する各ライセンスの条件、免責事項、および保証に基づいて、識別されたコンポーネントがライセンスを付与されることに同意します。

3.3 Source Code Access.サードパーティ(オープンソース)ライセンス契約によって必要な範囲まで、および本ライセンス契約の受諾後36か月間、Barcoは、電子メールまたはダウンロードリンクにより、サードパーティ(オープンソース)ライセンスによって制御されるソースコードへのアクセスを提供するものとします。関連のライセンス条項が必要とする場合、お客様は、Barco(上記に記載された住所の法務部門気付)に、媒体のコスト、発送および処理の支払いを行った上で、有形の媒体上に保存された、当該コードの取得を求めることができます。

3.4 Trademarks / Copyright.本ソフトウェアに関して紹介されているブランドや製品名は、それぞれの(サードパーティ)所有者に帰属する商標、登録商標、著作権である場合があります。さらに、本ソフトウェアは、国内法および国際法ならびに条約の条項によって保護されます。ソフトウェアコンポーネントの著作権は、ソフトウェアドキュメンテーション、ソースコード、READMEファイルなどで示される場合があるように、最初の著作権所有者、他の貢献者、および/または受託者に属します。ソフトウェア内に配置または含まれる、商標、著作権、または他の独自の表示、凡例、またはロゴを削除、隠す、あるいはいかなる形式でも変更することはできません。

3.5 Trade Secrets.お客様は、ソフトウェアがBarcoとそのサードパーティライセンサーの貴重な事業上の秘密を具現化するものであることを承認し、ソフトウェアおよびドキュメンテーション内に含まれるかかる事業上の秘密を、サードパーティに対して、いかなる形態においても、事前のBarcoからの書面による同意なしに開示しないこと、または他の人に提供しないこと、または他の人が使用できるようにしないことに同意するものとします。かかる事業上の秘密を保護するために、お客様は、全ての合理的な安全上の対策を実施するものとします。

4. サポート

4.1 Principle.Barcoは、製品向けEULAに含まれる範囲を除き、および/または別個のメンテナンスおよびサポート契約を締結し、適用対象のメンテナンスおよびサポート料金を支払う範囲において、ソフトウェアに関して、サポートおよびメンテナンスを提供す

る義務を有しません。メンテナンスおよびサポート契約に指定されているとおり、ソフトウェアが未承諾で使用された場合には、Barcoは指定されたサポートおよびメンテナンスを提供できません。

4.2 Support policy.メンテナンスリリースのアップデートまたはアップグレードは、お客様に提供される別個のメンテナンスおよびサポート契約の条件に応じて、得られます。かかる契約は、製品向けEULAに含まれるサポートと共に、ソフトウェアのサポートおよびメンテナンスに関して、Barcoの単独の責任およびお客様の単独の救済方法を含みます。お客様は、ソフトウェアのバグまたはセキュリティ上の問題を解決するために、メンテナンスリリースが提供されている場合にはこれをインストールすることに同意します。Barcoは、ソフトウェアの旧バージョンが利用できなくなった時点で、これをお客様に通知いたします。

4.3 Remote connectivity.Barcoは、メンテナンスまたはサポートを提供するための重要条件として、ソフトウェアがネットワーク上でBarcoにリモートにより継続的に接続されることを要件にする場合があります。

5.保証

製品向けEULAに関して適用可能な制限された保証を除き、お客様は、ソフトウェアがお客様に「現状のまま」提供されていることを理解します。BARCOは、明示的または暗示的に関わらず、一切保証や表明したり、それを意図せず、特定目的の市販性と適合性、および知的財産の非侵害について暗示されたすべての保証を特に放棄し、本ソフトウェアにエラーがないことや、お客様が中断されることなくソフトウェアを操作できることや、かかるエラーがBARCOによって修正されることを保証しません。別途合意されたメンテナンスおよびサポートの義務を除き、お客様は、訂正、修理またはかかるエラーによって生じる損害に関連するすべてのコストおよび経費について単独で責任を負います。将来的なケースにおいて、対象のオープンソースライセンスにおける保証の放棄は、ライセンス契約の条項よりも優先されます。

6.履行および執行

6.1 Reporting and Audit.適正な記録保持の義務に加えて、お客様は、ソフトウェアの使用およびDRMにおける関連の課金指標、または合意によるその他を報告することに合意します。お客様は、ライセンス契約の履行を検証するために、お客様の通常の営業時間中に、Barcoの費用で、お客様のソフトウェアの導入および使用を検証する権利を、Barcoおよびその指定する査定者に付与します。かかる査定により本契約に従うお客様の支払い義務の不履行が明らかになる場合、お客様は、Barcoに対し速やかに適切なライセンス料に加えて査定の実行にかかる適切な額を支払うものとします。

6.2 Fair Use Monitor.お客様は、ソフトウェアには、ソフトウェアの機能性(の一部または全体)をリモートで低下させることが可能なテクノロジー(「公正使用モニター」)を含むことが通知され、これを承認します。かかるテクノロジーは、Barcoが本ライセンス契約を締結する前の授權ツールであり、重要条件です。

6.3 Enforcement.ライセンス契約の違反がある場合(支払い遅延を含む)、Barcoは、DRMまたは書面により、既知のユーザーに、(i)ライセンス契約のどの条件(支払い条件を含む)が違反されたか、(ii)かかる違反の回復のために8日間が与えられること(回復が可能な場合)を通知し、(iii)違反が期限内に完全に回復されない場合にはどの機能性の一部(全てのソフトウェアまたは特定の追加でライセンス付与された機能のみ、一部または全体)をBarcoが低減させることを意図しているかを通知するものとします。

6.4 Remedy.適用対象の救済期間内に違反が回復されない(または全く回復できない)場合、Barcoは、(i)お客様に実際の使用に関して必要なかかる追加のライセンスを調達することを求める、(ii)公正使用モニターの使用を含む、ソフトウェアの機能性を制限する、または(iii)法律において、契約に従い、または衡平法上取りうる他の救済方法を侵害することなく、本文書に記載されているようにライセンス契約を終了するオプションを有するものとします。

6.5 Indemnification.お客様は、ここに、BARCO および BARCO のアフィリエイト会社を、お客様による本ソフトウェアライセンスの条項違反により、あるいはそれに関連して生じる BARCO が受けるまたは被る、ありとあらゆる訴訟、訴訟手続き、法的責任、損失、損害、手数料や費用(弁護士料を含む)、およびその他の出費から、またはそれらに対して賠償すること、保護すること、および無害に保つことに同意するものとします。

7.責任の制限について

法律によって許可される最大限の範囲まで、BARCOは、お客様がソフトウェアを使用したことによりお客様または一切のサードパーティが被る一切の破損、損失、クレームに対する一切の法的責任を負いません。BARCOの法的責任を排除できない法管轄区内では、直接的な破損に対するBARCOの法的責任を、請求に先立ち12か月間にソフトウェアに対して実際に支払われたライセンス料(または、料金が支払われていない場合は250ユーロ)に制限するものとします。

法律に違反しない範囲で、いかなる場合も、BARCOは、ソフトウェア、本ソフトウェアライセンス、あるいはBARCOが本ソフトウェアライセンスに基づく義務を遂行したことまたは遂行したとされることまたは遂行しなかったことから、あるいはそれらに関連して発生するあらゆる種類の間接的、特殊、懲戒的、偶発的、または必然的な損失や損害、もしくは経済的損失、事業、契約、データ、信用、利益、売上、収益、評価の損失または損害、もしくは業務を停止しなければならないこと、コンピューターの不具合、またはソフトウェアの機能不全から生じる損失およびソフトウェアの使用に関連して生じるものがある、ありとあらゆるその他の商業的損害や損失に対して、BARCOがその発生の可能性について忠告されていた場合でも、一切法的責任を負いません。

8.秘密性

8.1 Confidential Information.お客様は、調達時およびライセンス契約の期間中Barcoが所有権を有する機密情報を受け取るようになります。「機密情報」とは、(i)ソフトウェアまたは他の事業上の秘密の基礎となる論理、ソースコードおよび概念(本文書に明示的に記載される範囲に厳密に限定されるアクセス)、(ii)Barcoによって機密情報として指定される、またはそれについての必要な機密品質を持つ情報、および(iii)本契約に従ってお客様にBarcoから提供されるライセンスキーを含むものとします。

8.2 Non-Disclosure.本第8条項が本ライセンス契約の開始以前にお客様が正当に所有して、すでに公知であるか将来的に公知となる情報まで広がることはない場合に(第8条項の違反による場合を除く)、法律により開示することが必要である、あるいは自明または明白である程度まで、お客様は、すべての機密情報を、本条項がBarcoの書面による事前の承認なく、いかなる者にも漏えいし

ないものとし、お客様は、本契約に従って認証を受けた目的以外に、いかなる機密情報を使用することにも同意しません。秘密性に関する前述の義務は、本ライセンス契約の期間後も有効であり続けるものとし、

9. 契約条件

9.1 Term. 本ライセンス契約の有効期間は、お客様の本ソフトウェア受諾日(上記の日付。本ソフトウェアを使用することで受諾することが暗示されることをお客様が承認する)から、ソフトウェアのアクティベーションを終了するまで、ソフトウェアがその意図した使用のために最初にインストールされたデバイスの利用を終了するまで、あるいは製品向けEULAに記載された制限のある期間のうち、いずれか最も早いものとし、

9.2 Termination. お客様は、お手元の本ソフトウェアのコピーをすべて破壊し、すべてのドキュメンテーションおよび関連資料を破壊するか、その販売元または供給元である Barco または Barco 指定リセラーに返却することにより、本ライセンス契約をいつでも終了できます。ユーザーがライセンス契約の条件のいずれかに違反した場合、Barcoは、いつでもお客様に通知することにより、本文書の第6条項により、本ライセンス契約を即刻または段階的に終了できます。

9.3 Consequences of Termination. ソフトウェアの利用およびアップデートならびにアップグレードの取得に関するすべての権利は、ライセンス契約の終了または期限切れに伴い、効力を失うものとし、ライセンスの終了または期限切れにより、お客様は、現在または過去の支払いに対して遡って返金を要求する資格を失います。

10. その他の関連事項

10.1 Personal Data. (製品向けEULAに記載のように)Barcoが、個人データの処理者としての役割を想定するか否かに関わらず、お客様は、(特にお客様が提供または制御するコンポーネントについて)適用対象の全データ保護法の順守、プライバシー保護およびセキュリティ措置の実施および維持について、単独で責任を負います。Barcoは、Barcoから提供されないデータ、または本ライセンス契約あるいは適用対象のデータ処理アネックスに関する意図された用途以外のソフトウェアの使用について、一切の保証を行いません。

10.2 Functional Information. ソフトウェアを通じ、Barcoは、(i)ソフトウェアによって接続されている製品の機能および機能性、および/または(ii)お客様により提供されるまたはソフトウェアの利用により生成されるように、技術的な情報(「機能的情報」)を収集することがあります。Barcoは、市場評価、その製品の査定および改善、研究開発の実行というBarcoの正当な権利に基づいて、製品およびサービスの開発および向上、製品およびサービスのお客様の組織への提供、サードパーティへのかかる機能的情報へのアクセスの許可のために、分析目的でかかる機能的情報を利用することがあります。Barcoによる機能的情報から派生する全てのノウハウ、発明および作業物は、Barcoの独占的所有物となります。

11. 最終条項

11.1 Entire Agreement. 本ライセンス契約は、お客様およびBarcoの間のソフトウェアの使用に対する、唯一の了解および合意です。本ライセンス契約は、本ライセンス契約以前に交わされたその他あらゆるコミュニケーション、了解、または合意(継続的な秘密性に関する合意を除く)に優先します。

11.2 Notices. 通知は、DRMによって有効に、関係者の最後に通知された住所に対して代替的または追加的に配達されます。

11.3 Severability. 本ライセンス契約は、関係者により署名された書面による合意がない限り、改ざん、修正、変更しないものとし、本ライセンス契約のいずれかの条項が、違法、無効、または執行不能であることが判明した場合、またはいずれかの管轄裁判所が一切の最終判決においてそのように判断した場合、本ライセンス契約は、かかる条項が、かかる判決日以降あるいはその日以前に、削除して法律により受諾可能で本ライセンス契約の意図を可能な限り具体化する条項に置き換えるべきであるとされた場合を除き、引き続き有効であるものとし、

11.4 Export. お客様は、本ソフトウェアが米国または他国政府の輸入管理法および規制の対象となる場合があることを承認するものとし、お客様は、米国または他国政府が発布した米国輸出監督規制、エンドユーザー、使用、出荷先規制を含む、本ソフトウェアに適用されるすべての国際法および国内法に順守することに同意します。

11.5 Survival. 第3、5、6、7、8、10、11条項の取り決めは本ライセンス契約の終了後も有効であり続けますが、どのように終了が生じたとしても、これは、本ライセンス契約の終了後にソフトウェアを使用するその後の権利を暗示するまたは生じさせるものではありません。

11.6 Assignment. お客様は、Barcoの合意なく、本契約の一部またはすべてをサードパーティに割り当てることは許可されていません。Barcoは、ここに記載されたBarcoの義務のすべてあるいはいずれかをサードパーティおよび/またはBarcoのアフィリエイト会社のいずれかに割り当てる権利を有するものとし、

11.7 Law and Jurisdiction. 本ライセンス契約の解釈、有効性、および履行は、あらゆる点で、抵触法の原則に頼ることなく、ベルギーの法を準拠法とします。本ライセンス契約から、またはそれに影響を与える手段により発生したすべての論争は、(ベルギー)コルトレイク裁判所専属管轄の対象となり、その判決または命令の執行方法はその他一切の管轄区域で書されないものとし、「国際物品売買契約に関する国際連合条約(以下「条約」)は本ライセンス契約には適用されませんが、管轄する法廷により条約が本ライセンス契約に適用されると見なされた場合でも、Barcoは、条約の第35(2)条項に基づく本ソフトウェアの主張された不適合に対する法的責任を一切負わないものとし、

本ライセンス契約の条件および条項を読み、理解し、記載されているように本契約を遵守することを承認します。

Barco ClickShare製品向けプライバシーポリシー

お客様は、ソフトウェアによって処理される個人データの管理者です。したがって、お客様は、(特にお客様が提供または制御するコンポーネントについて)適用対象の全データ保護法の順守、プライバシー保護およびセキュリティ措置を実施および維持することに単独で責任を負います。Barcoは、この点に関し一切の保証をしないものとし、Barcoは、このアプリケーション

(<http://www.barco.com/en/about-barco/legal/privacy-policy/clickshare-app>)による個人データの処理について記載する、モバイルデバイスのClickShareソフトウェアアプリケーションの特定のプライバシーポリシーを作成しています。

ソフトウェアを通じ、Barcoは、(i)ソフトウェアによって接続されている製品の機能および機能性、および/または(ii)お客様により提供されるまたはソフトウェアの利用により生成されるように、技術的な情報(「機能的情報」)を収集することがあります。Barcoは、市場評価、その製品の査定および改善、研究開発の実行というBarcoの正当な権利に基づいて、製品およびサービスの開発および向上、製品およびサービスのお客様の組織への提供、サードパーティへのかかる機能的情報へのアクセスの許可のために、分析目的でかかる機能的情報を利用することがあります。Barcoによる機能的情報から派生する全てのノウハウ、発明および作業物は、Barcoの独占的所有物となります。

オープンソースソフトウェア条項

本製品には、オープンソースライセンスでリリースされているソフトウェアコンポーネントが含まれています。ソースコードのコピーは、Barcoカスタマーサポート担当者にリクエストすることで入手可能です。

各オープンソースのソフトウェアコンポーネントおよび関連するドキュメンテーションのすべては、暗示的な商業上の可能性の保証、特定用途に対する適合性を含む、しかしそれに限定されない、明示的または黙示的な保証を一切しない「現状のまま」で提供されています。いかなる場合も、そのような損失の可能性が忠告されていた場合でも、原因の如何を問わず、またこのオープンソースソフトウェアを使用することにより生じた規約、無過失責任、または不法行為の一切の法理に基づき、著作権所有者またはその他の貢献者は、直接的、偶発的、間接的な損失の責任を負わないものとします。詳細情報は、それぞれ特定のオープンソースのライセンスを参照してください。

各オープンソースのソフトウェアコンポーネントの著作権は、ドキュメンテーション、ソースコード、READMEファイルなどで示される場合があるように、最初の著作権所有者、他の貢献者、および/または受託者に属します。これらの著作権を削除、隠ぺい、いかなる形式でも変更することはできません。

各オープンソースソフトウェアライセンスの条件に従うことを承認しているものとします。

本ソフトウェアの開発において、以下のオープンソースソフトウェアが使用されました：

giflib	http://downloads.sourceforge.net/project/giflib
gnu-efi	http://downloads.sourceforge.net/project/gnu-efi
gnupg2	ftp://ftp.gnupg.org/gcrypt/gnupg
gst1-libav	http://gststreamer.freedesktop.org/src/gst-libav
gst1-plugins-bad	https://gststreamer.freedesktop.org/src/gst-plugins-bad
gst1-plugins-base	https://gststreamer.freedesktop.org/src/gst-plugins-base
gst1-plugins-good	https://gststreamer.freedesktop.org/src/gst-plugins-good
gststreamer1	https://gststreamer.freedesktop.org/src/gststreamer
hostapd	http://w1.fi/releases
htop	http://hisham.hm/htop/releases/2.0.2
i2c-tools	git://git.kernel.org/pub/scm/utils/i2c-tools/i2c-tools.git
imxbootlet	http://download.ossystems.com.br/bsp/freescale/source
imx-codec	http://www.freescale.com/lgfiles/NMG/MAD/YOCTO
imx-gpu-viv	http://www.freescale.com/lgfiles/NMG/MAD/YOCTO
imx-lib	http://www.freescale.com/lgfiles/NMG/MAD/YOCTO
imx-parser	http://www.freescale.com/lgfiles/NMG/MAD/YOCTO
imx-vpu	http://www.freescale.com/lgfiles/NMG/MAD/YOCTO
imx-vpuwrap	http://www.freescale.com/lgfiles/NMG/MAD/YOCTO
input-event-daemon	https://github.com/gandro/input-event-daemon/archive/v0.1.3
iperf	http://downloads.sourceforge.net/project/iperf2
iptables	http://ftp.netfilter.org/pub/iptables
iw	https://cdn.kernel.org/pub/software/network/iw
jpeg-turbo	http://downloads.sourceforge.net/project/libjpeg-turbo/1.5.1
json-c	https://github.com/json-c/json-c/archive/json-c-0.12-20140410

kmod	https://cdn.kernel.org/pub/linux/utils/kernel/kmod
lame	http://downloads.sourceforge.net/project/lame/lame/3.100
libarchive	http://www.libarchive.org/downloads
libassuan	ftp://ftp.gnupg.org/gcrypt/libassuan
libbsd	http://libbsd.freedesktop.org/releases
libcap	https://www.kernel.org/pub/linux/libs/security/linux-privs/libcap2
libconfig	http://www.hyperrealm.com/libconfig
libcurl	https://curl.haxx.se/download
libdaemon	http://0pointer.de/lennart/projects/libdaemon
libdri2	https://github.com/robclark/libdri2/archive/4f1eef3183df2b270c3d5cbef07343ee5127a6a4
libdrm	http://dri.freedesktop.org/libdrm
libedit	http://www.thrysoee.dk/editline
libepoxy	https://github.com/anholt/libepoxy/archive/v1.3.1
libestr	http://libestr.adiscon.com/files/download
libev	http://dist.schmorp.de/libev/Attic
libevdev	http://www.freedesktop.org/software/libevdev
libevent	https://github.com/libevent/libevent/releases/download/release-2.1.8-stable
libfastjson	https://github.com/rsyslog/libfastjson/archive/v0.99.4
libffi	ftp://sourceware.org/pub/libffi
libftdi	http://www.intra2net.com/en/developer/libftdi/download
libgcrypt	https://gnupg.org/ftp/gcrypt/libgcrypt
libglib2	http://ftp.gnome.org/pub/gnome/sources/glib/2.50
libglu	http://cgkit.freedesktop.org/mesa/glu/snapshot
libgpg-error	ftp://ftp.gnupg.org/gcrypt/libgpg-error
libical	https://github.com/libical/libical/releases/download/v1.0.1
libid3tag	http://downloads.sourceforge.net/project/mad/libid3tag/0.15.1b
libimxvpuapi	https://github.com/Freescale/libimxvpuapi/archive/0.10.3
libinput	http://www.freedesktop.org/software/libinput
libjpeg	http://www.ijg.org/files
libksba	ftp://ftp.gnupg.org/gcrypt/libksba
liblogging	http://download.rsyslog.com/liblogging
libmad	http://downloads.sourceforge.net/project/mad/libmad/0.15.1b
libmpeg2	http://libmpeg2.sourceforge.net/files
libnl	https://github.com/thom311/libnl/releases/download/libnl3_2_27
libogg	http://downloads.xiph.org/releases/ogg
libpciaccess	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
libpng	http://downloads.sourceforge.net/project/libpng/libpng16/1.6.28
libpthread-stubs	http://xcb.freedesktop.org/dist
libpthsem	http://www.auto.tuwien.ac.at/~mkoegler/pth
libqrencode	http://fukuchi.org/works/qrencode
libresample	ftp://ftp.ubuntu.com/ubuntu/pool/universe/libr/libresample

libsamplerate	http://www.mega-nerd.com/SRC
libselinux	https://raw.githubusercontent.com/wiki/SELinuxProject/selinux/files/releases/20161014
libsepol	https://raw.githubusercontent.com/wiki/SELinuxProject/selinux/files/releases/20161014
libsha1	https://github.com/dottedmag/libsha1/archive/0.3
libsndfile	http://www.mega-nerd.com/libsndfile/files
libtool	http://ftpmirror.gnu.org/libtool
libusb	https://github.com/libusb/libusb/releases/download/v1.0.20
libusb-compat	http://downloads.sourceforge.net/project/libusb/libusb-compat-0.1/libusb-compat-0.1.5
libv4l	http://linuxtv.org/downloads/v4l-utils
libva	http://www.freedesktop.org/software/vaapi/releases/libva
libvdpau	http://people.freedesktop.org/~aplattner/vdpau
libvorbis	http://downloads.xiph.org/releases/vorbis
libxcb	http://xcb.freedesktop.org/dist
libxkbcommon	http://xkbcommon.org/download
libxml2	ftp://xmlsoft.org/libxml2
libyaml	http://pyyaml.org/download/libyaml
lighttpd	http://download.lighttpd.net/lighttpd/releases-1.4.x
linux	https://www.kernel.org/pub/linux/kernel/v4.x/
linux-firmware	http://git.kernel.org/pub/scm/linux/kernel/git/firmware/linux-firmware.git
linux-pam	http://linux-pam.org/library
lm-sensors	http://snapshot.debian.org/archive/debian/20170208T211941Z/pool/main/l/lm-sensors
logrotate	https://github.com/logrotate/logrotate/archive/3.11.0
lvm2	ftp://sources.redhat.com/pub/lvm2/releases
memtester	http://pyropus.ca/software/memtester/old-versions
mesa3d	ftp://ftp.freedesktop.org/pub/mesa/11.2.2
monit	http://mmonit.com/monit/dist
mtd	ftp://ftp.infradead.org/pub/mtd-utils
mtdev	http://bitmath.org/code/mtdev
ncurses	http://ftpmirror.gnu.org/ncurses
netcat	http://downloads.sourceforge.net/project/netcat/netcat/0.7.1
nodejs	https://nodejs.org/dist/
ntp	https://www.eecis.udel.edu/~ntp/ntp_spool/ntp4/ntp-4.2
openssl	http://www.openssl.org/source
openssl	http://www.openssl.org/source
opkg	http://git.yoctoproject.org/git/opkg
opus	http://downloads.xiph.org/releases/opus
opus-tools	http://downloads.xiph.org/releases/opus
pciutils	https://cdn.kernel.org/pub/software/utils/pciutils
pcre	https://ftp.pcre.org/pub/pcre
php	http://www.php.net/distributions
pixman	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib

popt	http://rpm5.org/files/popt
procps-ng	http://downloads.sourceforge.net/project/procps-ng/Production
protobuf	https://github.com/google/protobuf/archive/v2.6.1
pulseaudio	http://freedesktop.org/software/pulseaudio/releases
python3	http://python.org/ftp/python/3.5.2
python-pyyaml	https://pypi.python.org/packages/4a/85/db5a2df477072b2902b0eb892feb37d88ac635d36245a72a6a69b23b383a
python-serial	https://pypi.python.org/packages/ce/9c/694ce79a9d4a164e109aeba1a40fba23336f3b7554978553e22a5d41d54d
qt5base	http://download.qt.io/official_releases/qt/5.6/5.6.3/submodules
qt5declarative	http://download.qt.io/official_releases/qt/5.6/5.6.3/submodules
qt5imageformats	http://download.qt.io/official_releases/qt/5.6/5.6.3/submodules
qt5multimedia	http://download.qt.io/official_releases/qt/5.6/5.6.3/submodules
qt5quickcontrols	http://download.qt.io/official_releases/qt/5.6/5.6.3/submodules
qt5serialport	http://download.qt.io/official_releases/qt/5.6/5.6.3/submodules
qt5svg	http://download.qt.io/official_releases/qt/5.6/5.6.3/submodules
qt5websockets	http://download.qt.io/official_releases/qt/5.6/5.6.3/submodules
qt5x11extras	http://download.qt.io/official_releases/qt/5.6/5.6.3/submodules
qt5xmlpatterns	http://download.qt.io/official_releases/qt/5.6/5.6.3/submodules
readline	http://ftpmirror.gnu.org/readline
rsync	http://rsync.samba.org/ftp/rsync/src
rsyslog	http://rsyslog.com/files/download/rsyslog
sazanami-fonts	http://sourceforge.jp/projects/efont/downloads/10087
speex	http://downloads.us.xiph.org/releases/speex
splashutils	http://dev.gentoo.org/~spock/projects/gensplash/archive
sqlite	http://www.sqlite.org/2017
strace	http://downloads.sourceforge.net/project/strace/strace/4.15
tpm-tools	http://downloads.sourceforge.net/project/trousers/tpm-tools/1.3.8
trousers	http://downloads.sourceforge.net/project/trousers/trousers/0.3.13
tslib	https://github.com/kergoth/tslib/releases/download/1.5
tzdata	http://www.iana.org/time-zones/repository/releases
unfonts	http://kldp.net/frs/download.php/1425
unzip	ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/src
util-linux	https://cdn.kernel.org/pub/linux/utils/util-linux/v2.29
wireless_tools	http://www.hpl.hp.com/personal/Jean_Tourrilhes/Linux
wireless-regdb	http://kernel.org/pub/software/network/wireless-regdb
wpa_supplicant	http://w1.fi/releases
xapp_beforelight	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/app
xapp_xauth	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/app
xapp_xclock	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/app
xapp_xinit	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/app
xapp_xinput	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/app

xapp_xinput-calibrator	http://github.com/downloads/tias/xinput_calibrator
xapp_xkbcomp	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/app
xapp_xrandr	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/app
xcb-PROTO	http://xcb.freedesktop.org/dist
xcb-util	http://xcb.freedesktop.org/dist
xcb-util-image	http://xcb.freedesktop.org/dist
xcb-util-keysyms	http://xcb.freedesktop.org/dist
xcb-util-wm	http://xcb.freedesktop.org/dist
xdata_xbitmaps	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/data
xdriver_xf86-input-evdev	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/driver
xdriver_xf86-video-amdGPU	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/driver
xfont_encodings	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/font
xfont_font-alias	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/font
xfont_font-cursor-misc	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/font
xfont_font-misc-misc	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/font
xfont_font-util	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/font
xkeyboard-config	http://www.x.org/releases/individual/data/xkeyboard-config
xlib_libfontenc	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libICE	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libSM	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libX11	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXau	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXaw	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXcomposite	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXcursor	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXdamage	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXdmcp	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXext	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXfixes	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXfont2	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXft	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXi	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXinerama	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libxkbfile	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXmu	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXpm	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXrandr	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXrender	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXres	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXScrnSaver	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libxshmfence	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib

xlib_libXt	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXv	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXxf86vm	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_xtrans	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xproto_bigreqsproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_compositeproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_damageproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_dri2proto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_dri3proto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_fixesproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_fontsproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_glxproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_inputproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_kbproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_presentproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_randrproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_renderproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_resourceproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_screensaverproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_videoproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_xcmiscproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_xextproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_xf86bigfontproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_xf86dgaproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_xf86driproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_xf86vidmodeproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_xineramaproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xproto_xproto	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xserver_xorg-server	https://xorg.freedesktop.org/archive/individual/xserver
xterm	http://invisible-mirror.net/archives/xterm
xutil_util-macros	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/util
zbar	https://github.com/ZBar/Zbar/archive/854a5d97059e395807091ac4d80c53f7968abb8f
zip	ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/src
zlib	http://www.zlib.net

EN55032-CISPR32 クラス B ITE (情報技術装置)

これは、クラス B の製品です。国内環境では、本製品は無線干渉を引き起こす場合があります、ユーザーは適切な手段を講じる必要があります。

本装置がラジオまたはテレビ受信を妨害している場合、次の中から 1 つ以上の対策をとることができます。

- ラジオまたはテレビの受信アンテナの向きを変える。
- 受信機に対する本装置の位置を変える。
- 本装置を別のコンセントに接続し、本装置と受信機が別の分岐回路上になるようにする。
- ケーブルコネクタをネジで本装置に取り付ける。

アメリカ連邦通信委員会 (FCC) の干渉に関する宣言

製品の準拠を管轄する当事者による明示的な承認を受けずに変更または修正を行った場合、ユーザーはこの装置を操作する権利を失う場合があるので注意してください。

本機器はテスト済みで、FCC 法規の Part 15 に該当する Class B デジタル装置の制限に準拠していることが分かっています。これらの制限は、住居での設置において生じる妨害からの適切な保護を目的として確立されました。本装置は無線周波エネルギーを発生、使用、放射する可能性があり、手順に従わないで使用すると、無線のコミュニケーションに対する妨害を起こすことがあります。ただし、特定の設置において妨害が起こらないという保証はありません。

機器をオン・オフに切り替えることにより、本装置がラジオまたはテレビの電波受信を妨害していることが確認された場合は、次の中から 1 つ以上の対策をとることをお勧めします。

- 受信アンテナの配置を変えるか、または移動する。
- 装置と受信機の間隔を広げる。
- 受信機が接続されているサーキットのコンセントと別のコンセントに装置をつなぐ。
- 販売店またはしかるべき経験を有するラジオ / テレビ技術者に相談する。

また、FCC が準備した次の小冊子「ラジオとテレビの干渉の問題を特定して解決する方法」を参考にしてください。この小冊子は、米国政府印刷局 (ワシントン DC 20402) から入手できます。

この機器の製造元または登録者によって明示的に承認されていない変更や改造を行うと、連邦通信委員会規則に基づき、この機器を操作する権限が無効になることがあります。

FCC 規制への準拠を維持するために、この機器ではシールドケーブルを使用する必要があります。認可されていない機器やシールドされていないケーブルを使って操作すると、ラジオやテレビの受信に干渉する可能性があります。

FCC RF 被曝についての声明文： この装置は 802.11a モードで動作可能です。5.15 - 5.25 GHz の周波数範囲で動作する 802.11a 装置については、アメリカ国内の Mobile Satellite Services (MSS) への有害な干渉を削減するために屋内での動作が制限されます。802.11a モード (5.15 - 5.25 GHz バンド) で装置を動作することができる WIFI Access Points は、屋内での使用に限って最適化されます。WIFI ネットワークがこのモードで動作できる場合は、WIFI の屋内での使用を制限し、連邦規則に違反せず Mobile Satellite Services を保護してください。

1. このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと同じ場所に置いたり、併用したりしないでください。
2. この装置は、管理されていない環境に対して規定された RF 被曝限度に準拠しています。
この装置は、放射物と人体の間隔を最低 20 cm 離して設置および操作してください。

ベースユニット FCC ID: 2AAED-R9861580

Button FCC ID (モデル R9861006D01) : XF6-RS9110N1103

Button FCC ID (モデル R9861500D01) : 2AAED-R9861500D01

ClickShare Button R9861500D01 はテスト済みであり、FCC RF 被曝ガイドラインを満たしています。報告されている最大 SAR 値は 0.915W/kg です。

カナダ産業省 (IC) 通知

この装置はカナダ産業省のライセンス免除 RSS 規格に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に基づきます：(1) この装置は干渉の原因となってはならない。(2) この装置は望ましくない動作の原因となる干渉を含み、受信する干渉を許容しなければならない。

Radio Frequency (RF) 放射情報

Barco ワイヤレス装置の放射出力電源は、カナダ産業省 (IC) ラジオ周波数放射制限以下です。Barco ワイヤレス装置は、通常の操作中に人が接触する可能性を最小限にする方法で使用する必要があります。

注意：高周波放射への被曝。

1. カナダの RF 被曝遵守要件を満たすために、この装置とそのアンテナは、他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に設置したり、動作させたりしないでください。
2. RSS 102 RF 被曝遵守要件を満たすために、この装置のアンテナとすべての人の間に少なくとも 20cm の隔離距離を維持する必要があります。

Base Unit ID : IC : 21559-R9861580

Button IC ID (モデル R9861006D01) : 8407A-RS9110N1103

Button IC ID (モデル R9861500D01) : 9393B-R9861500D01

IC アンテナについての声明文

カナダ産業省の規則の下、このラジオ送信機は、カナダ産業省によって送信者に対して承認されているタイプおよび最大（または少ない）利得のアンテナを使用した場合に限って操作できます。他人へのラジオ干渉の可能性を少なくするため、アンテナのタイプとその利得が、等価等方放射電力（e.i.r.p.）が問題のない通信の必要値を超えないように選択する必要があります。

このラジオ送信機21559-R9861580は、最大許容利得および示された各アンテナタイプで求められるアンテナインピーダンスで、以下にリストしたアンテナタイプで操作することがカナダ産業省によって承認されています。アンテナタイプはこのリストには含まれず、そのタイプに示された最大利得を超える利得を持つことは、この装置の使用では厳格に禁止されています。

タイプ: Dipole

最大ピーク利得: 2 dBi

インピーダンス: 50オーム

屋内使用のみの警告

5,150~5,250Mhzの帯域での操作は、同一チャンネルの移動体衛星システムへの有害な干渉の可能性を低減するために屋内使用のみとしてください。

Informations concernant l'exposition aux fréquences radio (RF)

La puissance de sortie émise par l'appareil de sans fil Barco est inférieure à la limite d'exposition aux fréquences radio d'Industry Canada (IC). Utilisez l'appareil de sans fil Barco de façon à minimiser les contacts humains lors du fonctionnement normal.

Avertissement: L'exposition aux rayonnements fréquences radio

1. Pour se conformer aux exigences de conformité RF canadienne l'exposition, cet appareil et son antenne ne doivent pas être co-localisés ou fonctionnant en conjonction avec une autre antenne ou transmetteur.
2. Pour se conformer aux exigences de conformité CNR 102 RF exposition, une distance de séparation d'au moins 20 cm doit être maintenue entre l'antenne de cet appareil et toutes les personnes.

IC ID Unité de Base: 21559-R9861580

IC ID Button (modèle R9861006D01): 8407A-RS9110N1103

IC ID Button (modèle R9861500D01): 9393B-R9861500D01

Déclaration d'antenne d'Industrie Canada (IC)

Conformément à la réglementation d'Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type et d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industrie Canada. Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente (p.i.r.e.) ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

Le présent émetteur radio21559-R9861580a été approuvé par Industrie Canada pour fonctionner avec les types d'antenne énumérés ci-dessous et ayant un gain admissible maximal et l'impédance requise pour chaque type d'antenne. Les types d'antenne non inclus dans cette liste, ou dont le gain est supérieur au gain maximal indiqué, sont strictement interdits pour l'exploitation de l'émetteur.

タイプ: Dipole

Gain maximum: 2 dBi

Impédance: 50Ohm

Utilisation à l'intérieur seulement

La bande 5,150-5,250 MHz est réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux.

目次

1. インストールガイドの概要	3
1.1 説明書	3
1.2 記号およびフォント	3
2. CSE-800 仕様	5
2.1 一般情報 CSE-800	5
2.2 CSE-800 仕様	6
2.3 Base Unit について	7
2.4 Button について	11
2.5 モバイル装置のサポート	12
2.6 ClickShare Base Unit が使用するポート	12
3. はじめに	15
3.1 環境条件の確認	15
3.2 基本ワークフロー	15
4. CSE-800 インストール	17
4.1 Base Unit の設置方法	17
4.2 テーブルマウント	17
4.3 ウォールマウント	17
4.4 シーリングマウント	19
4.5 ラックマウント	20
4.6 アンテナの配置場所と方向に関する推奨事項	21
4.7 Base Unit へのビデオ信号の接続	21
4.8 音声の接続	22
4.9 LAN接続	23
4.10 電源接続とスイッチオン	23
5. Button の準備	25
5.1 ペアリング	25
5.2 ClickShare Extension Pack	26
5.3 ClickShare Extension Pack インストーラ	26
6. CSE-800 構成	29
6.1 構成へのアクセス	29
6.2 ClickShare 構成ウィザード	33
6.3 オンスクリーン言語とテキストサイズ	35
6.4 会議室情報	37
6.5 個人用設定、壁紙	38
6.6 個人用設定、独自の壁紙	39
6.7 構成ファイルの管理	41
6.8 ディスプレイ設定、出力	43
6.9 音声設定	45
6.10 ディスプレイの設定、入力	46
6.11 WiFi 設定	46
6.12 LAN 設定	48
6.13 ネットワーク統合、アクティブ化	50
6.14 ネットワーク統合、EAP-TLS セキュリティモード	53
6.15 ネットワーク統合、EAP-TTLS セキュリティモード	55
6.16 ネットワーク統合、PEAP セキュリティモード	57
6.17 ネットワーク統合、WPA2-PSK セキュリティモード	58
6.18 サービス、モバイル装置	59
6.19 サービス、ClickShare API、API を使用したリモートコントロール	60
6.20 CMGS サーバー統合	61
6.21 セキュリティ、互換性	61
6.22 セキュリティ、セキュリティレベル	62
6.23 セキュリティ、パスワード	64
6.24 ステータス情報、Base Unit	65
6.25 日時の設定、手動	65
6.26 日時の設定、タイムサーバー	67
6.27 省電力設定	67
6.28 Button	68
6.29 黒板	69
6.30 ファームウェア更新	74
6.31 サポートとアップデート、トラブルシューティング、ログ設定	75
6.32 工場出荷時のデフォルト	76
7. ソフトウェアアップデート	79
7.1 ソフトウェア更新	79
8. トラブルシューティング	81
8.1 トラブルシューティング一覧	81

9. 環境情報	85
9.1 廃棄に関する情報	85
9.2 Rohs 指令対応	85
9.3 輸入元連絡先情報	87
索引	89

1. インストールガイドの概要

1.1 説明書

本ガイド

部品番号	説明	レベル
R5900049	設置ガイド	設置エンジニア

このインストールガイドでは、CSE-800を会議室にインストールする方法、およびすべてを操作可能な状態にする方法についても説明しています。お使いのCSE-800の設定方法に関する詳細情報を提供します。

入手可能なシステム説明書

本ガイドは、CSE-800製品について説明した説明書セットの一部です。

ガイド	製品番号
ユーザーガイド	R5900050
設置ガイド	R5900049
安全ガイド	R5900047
サービスガイド	R5900051
Buttonガイド	R5900007
リサイクルマニュアル	R5900048
APIガイド	R5900018

「安全ガイド」の印刷物は、ご購入時のCSE-800の箱に同梱されています。



常に www.barco.com/clickshare の最新バージョンのマニュアルをチェックしてください。ClickShare製品ページをクリックして、ダウンロードタブに移動します。

1.2 記号およびフォント

記号の概要

マニュアルでは次のアイコンが使用されます:

	注意
	警告
	情報、用語定義。用語についての一般情報
	メモ: では記載事項についての追加的な情報を提供します。
	ヒント: では記載事項についての追加的なアドバイスを提供します。

フォントの概要

- ボタンは太字で表記します (例: **OK**)。
- メニュー項目は、*斜体*で表記します。
- ステップに関連する注記、ヒント、警告、注意は、*斜体*で表記します。
- 手順に関連する注記、ヒント、警告、注意は、対応するアイコンに続く 2 行の間に**太字**で表記します。

2. CSE-800 仕様

2.1 一般情報 CSE-800

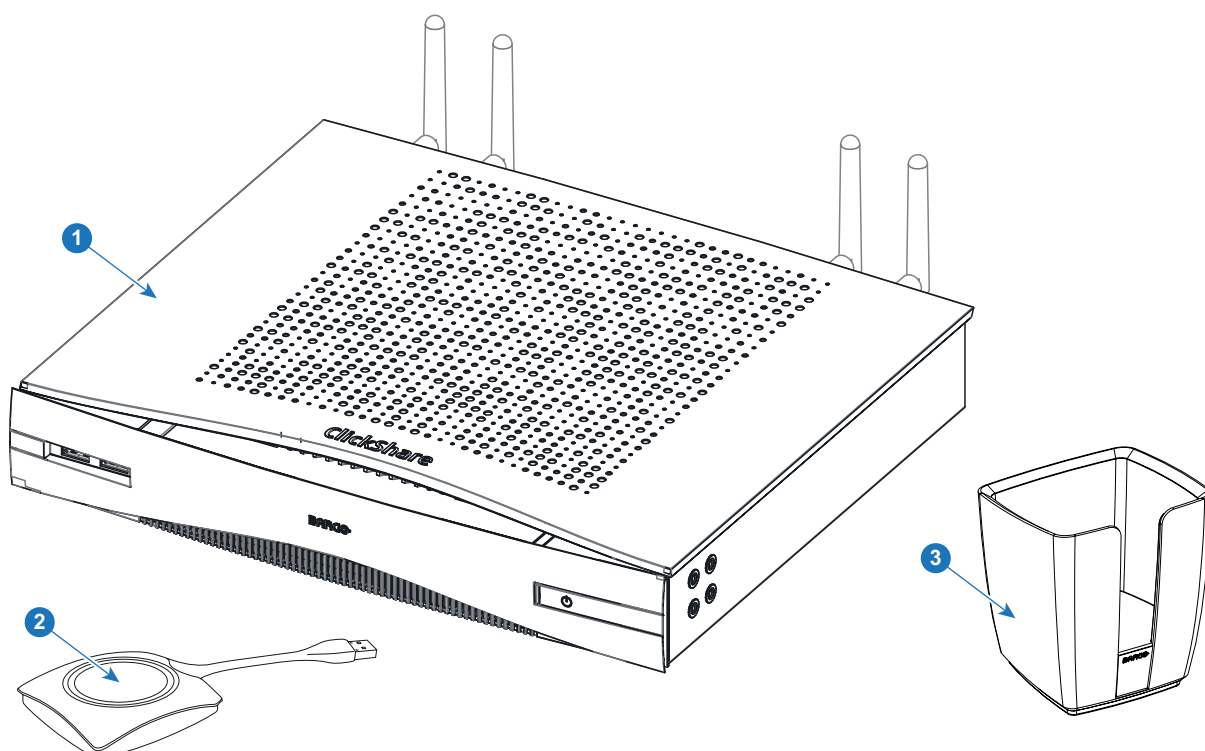
CSE-800 セット

CSE-800 Button を 1 度クリックするだけで会議室のビデオシステムに接続できます。この CSE-800 は、プレゼンターがプレゼンテーションをすぐにスクリーンに表示できるようにするだけでなく、会議の他の出席者もより積極的に参加できるようにします。その結果、会議の効率性が向上し、より優れた意思決定をすることが可能です。

現在、市場には 3 種類のセットがあります。WiFi 規制により、各セットはそれぞれ特定の地域で販売されています。

コンポーネント CSE-800 セット

スタンダードの CSE-800 セットは、Base Unit および 4 つの Button とトレイで構成されています。製品の購入場所によって、Base Unit のソフトウェアは異なります。必要に応じて、さらに Button および Tray を購入することもできます。



画像 2-1

同梱アクセサリ

製品を購入する国によって、以下の地域別アクセサリも CSE-800 の箱に同梱されています。

地域版	梱包物	同梱アクセサリ
R9861580EU	<ul style="list-style-type: none"> R9861580EU 4x R9861500D01 R9861500T01 	<ul style="list-style-type: none"> 電源ケーブル CEE7 および BS 1363 壁/天井固定金具 アンテナ延長ケーブル
R9861580CN	<ul style="list-style-type: none"> R9861580CN 4x R9861500D01 R9861500T01 	<ul style="list-style-type: none"> 電源ケーブル GB 2099 壁/天井固定金具 アンテナ延長ケーブル
R9861580NA	<ul style="list-style-type: none"> R9861580NA 4x R9861500D01 R9861500T01 	<ul style="list-style-type: none"> 電源ケーブル NEMA 5/15 壁/天井固定金具 アンテナ延長ケーブル

お客様の国で使用できる適切な地域別アクセサリについては、現地販売代理店にお問い合わせください。

2.2 CSE-800 仕様

Base Unit

寸法 (HxWxD)	46.2mm x 282.3mm x 206.5mm (アンテナを除く) / 1.8 インチ x 11.1 インチ x 8.1 インチ 146.4mm x 282.3mm x 206.5mm (アンテナを含む) / 5.8 インチ x 11.1 インチ x 8.1 インチ
電源	標準 110/220 V AC プラグ
消費電力	Normal operation: 90W under full usage 52W under normal usage (connect 2 HDMI outputs, connect 1 HDMI input, share with 4 people) ECO mode: 30W Networked standby mode: < 1W Deep standby mode: < 0.5W
重量	2.2kg / 4.85lbs
オペレーティング・システム	Windows 7/8/8.1/10 32 & 64 ビット Mac OSX 10.10/10.11/10.12 (Sierra) Android v5 & v6 & v7 (ClickShare アプリ) iOS 8、9 & 10 (ClickShare アプリ)
ビデオ出力	2x HDMI
ビデオ入力	2x HDMI
出力解像度	4K DCI (4096x2160) @ 60Hz
AirPlay のサポート	iOS ミラーリング (AirPlay) iOS 9.0 から iOS 10.3 まで / Mac OS 10.11 El Capitan 以降
入力解像度	4K DCI (4096x2160) @ 60Hz
フレームレイト	入力を使用する場合: 1 入力 @ 4 K で最大 60fps 2 入力 @ 4 K で最大 30fps ClickShare Button またはアプリを使用する場合: 最大 30 fps
ノイズレベル	最大25dBA @ 0-30°C 最大30dBA @ 30-40°C
画面上の同時ソース数	8 (スクリーンあたり 4)
同時接続数	64
iPad、iPhone、Android との互換性	ClickShare アプリ経由で Android と iOS デバイスの両方に対してドキュメント、ブラウザ、カメラを共有
拡張型デスクトップ	利用可能 (オペレーティング・システムに依存)。ClickShare 拡張パックを必要とする場合があります。
認証プロトコル	スタンドアロン・モードで WPA2-PSK ネットワーク統合モードで ClickShare Button を使用する WPA2-PSK または IEEE 802.1X
無線伝送プロトコル	IEEE 802.11 a/b/g/n および IEEE 802.15.1
接続距離	信号強度変調で調節可能; ClickShare Button および ClickShare Base Unit 間最大 30m (100 ft)
周波数帯域	2.4 GHz および 5 GHz
接続	2x イーサネット LAN 2x USB2.0; 2x USB 3.0 (後面); 2x USB 3.0 (前面) オーディオ・アナログ・ライン出カミニ・ジャック・ソケット (3.5mm)、デジタル S/DPDIF

適用温度範囲	動作:0°C ~ +40°C (+32°F ~ +104°F) 最高:35°C (95°F) @ 3,000m 保管: -20°C ~ +60°C (-4°F ~ +140°F)
湿度	保管:0 ~ 90% 相対湿度、結露なきこと 操作:0 ~ 85% 相対湿度、結露なきこと
盗難防止システム	ケンジントン・ロック
認証規格	FCC/CE
保証	3 年間で標準 5 年まで延長可能

Button

重量	75 g/0.165 ポンド
周波数帯域	2.4 GHz および 5 GHz
無線伝送プロトコル	IEEE 802.11 a/b/g/n
認証プロトコル	スタンドアロン・モードで WPA2-PSK ネットワーク統合モードで WPA2-PSK または IEEE 802.1X
寸法 (HxWxD)	16.3 mm x 59.3 mm x 162.52 mm / 0.64" x 2.335" x 6.398"
消費電力	USB 給電 DC 5V 350mA 標準 500mA 最大

2.3 Base Unit について



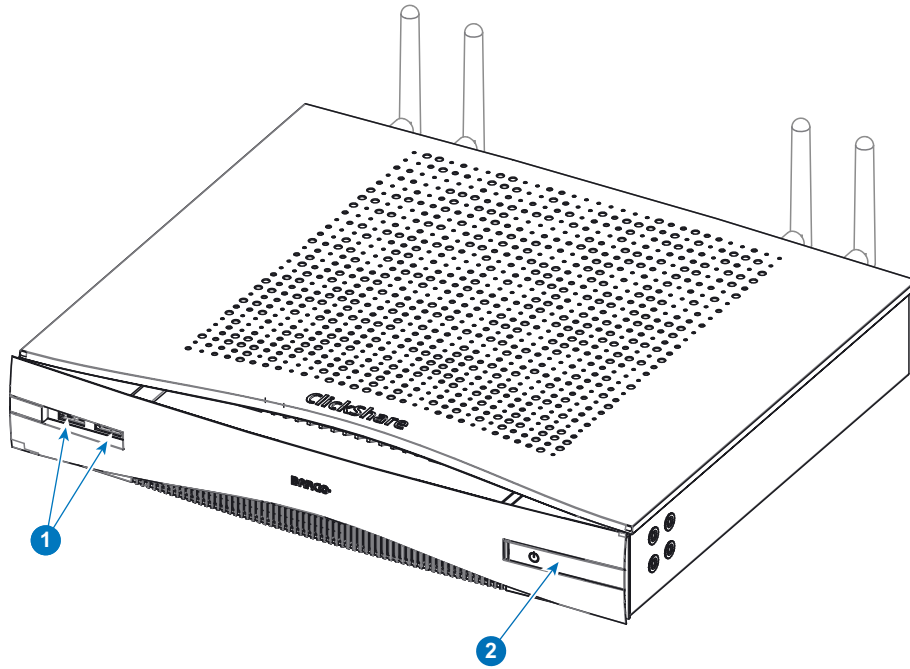
Base Unit

Base Unit は、Button からワイヤレス入力を受信し、会議室のディスプレイのコンテンツおよび会議室のオーディオシステムの音をコントロールします。

Base Unit は 2 つの方法で設置できます。

Base Unit の前面および上面レイアウト

Base Unit の前面には、待機 Button および 2 つの USB ポートがあります。ステータス LED は、待機 Button の左側に取り付けられています。



画像 2-2

1	2 × USB ポート 3.0
2	待機 Button

表 2-2

USBポート

USB ポート (前面および背面) は、Base Unit および Button のソフトウェアおよびファームウェアをアップデートする際に使用します。Button をペアリングするには、タッチスクリーンと、保存する黒板 / 注釈画面を USB スティックに接続します²。

Button を Base Unit に差し込むと、Button がその Base Unit にペアリングされます。Base Unit により Button のソフトウェアおよびファームウェアが最新のものであるかどうかを確認されます。最新のものでない場合は、Base Unit がソフトウェアおよび / またはファームウェアをアップデートします。

Base Unit ソフトウェアをアップデートするには、Barco の Web サイトからソフトウェアの最新バージョンをダウンロードします。ファイルを USB スティックにコピーし、Base Unit の USB ポートに差し込みます。ディスプレイに表示される処理状況を確認し、指示に従ってください。

ステータス LED

Base Unit の前面にある LED の色は、システムのステータスを示します。

LED の動作	説明
赤色で点灯	<ul style="list-style-type: none"> Button からのコンテンツを受信し、ディスプレイにストリーミングしています。 Button のペアリングとソフトウェアアップデートが完了しました。Button を Base Unit から取り外すことができます。 Base Unit の起動プロセスの最初のフェーズが進行中です。
白色で点滅	<ul style="list-style-type: none"> システムが起動中 (第 2 フェーズが進行中) です。 Button のペアリングが進行中です。 Base Unit ソフトウェアをアップデートしています。
白色でゆっくり点滅	<ul style="list-style-type: none"> ECO スタンバイ モード
白色で点灯	<ul style="list-style-type: none"> 起動状態 (ディスプレイに起動メッセージ表示) です。 ペアリングが完了しました。

2. タッチスクリーン接続、黒板 / 注釈画面保存は、将来のリリースでご利用いただけます

LED の動作	説明
赤色で点滅	<ul style="list-style-type: none"> エラーが発生しました。
消灯	<ul style="list-style-type: none"> ディープスタンバイ/オフ

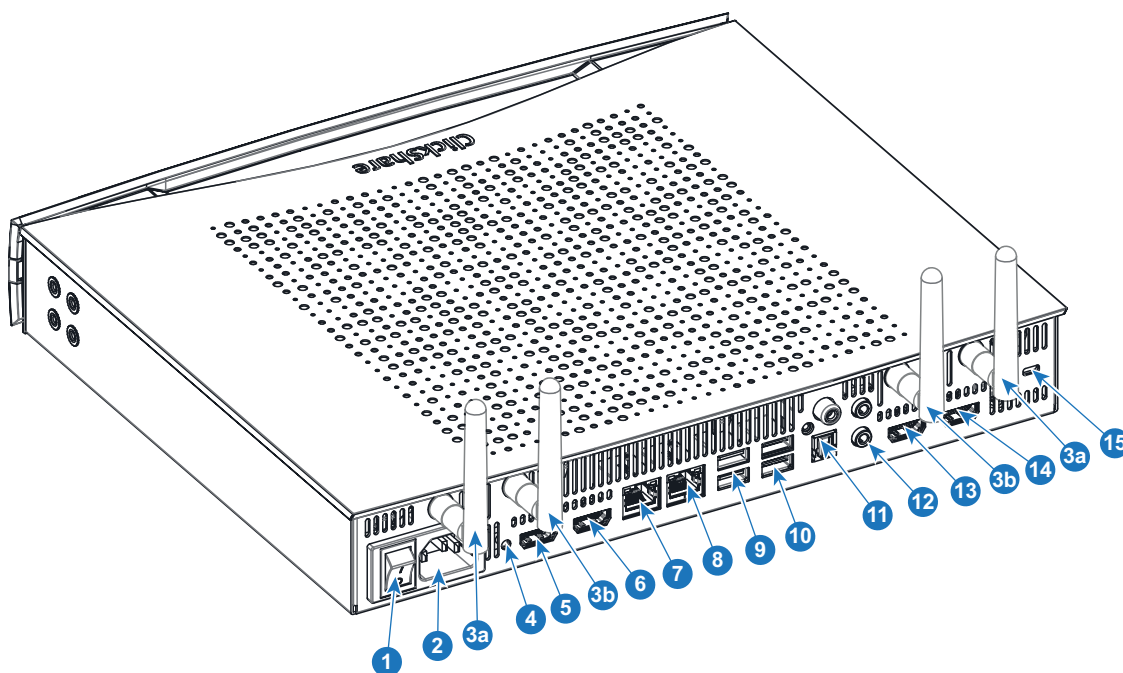
待機 Button

Base Unit の前面にある Button は、Base Unit の電源を投入した後、待機スイッチとして機能します。

- 通常動作モード時にこの Button を押すと、システムは所定の待機モードに入ります。
- 待機モード時にこの Button を押すとシステムが起動し、通常動作モードに入ります。

Base Unit の背面レイアウト

接続パネルは、Base Unit の背面にあります。



画像 2-3

1	ロッカースイッチ
2	電源接続
3a	アンテナ WiFi 1 の定ポイント
3b	アンテナ WiFi 2 の固定ポイント
4	リセット
5	HDMI 出力 1 コネクタ
6	HDMI 出力 2 コネクタ
7	LAN 1 コネクタ (プライマリ LAN インターフェイス)
8	LAN 2 コネクタ (セカンダリ LAN インターフェイス)
9	USB コネクタ 3.0
10	USB コネクタ 2.0
11	オーディオコネクタ
12	オーディオコネクタ
13	HDMI 入力 1 コネクタ
14	HDMI 入力 2 コネクタ
15	Kensington ロック

ロッカースイッチ

ロッカースイッチは、Base Unit の電源のオン / オフを切り替える際に使用します。

- Base Unit の電源をオンにするには、ロッカースイッチを「I」に設定します。
- システムをシャットダウンするには、ロッカースイッチを「O」に設定します。

機械的固定ポイント

機械的固定ポイントは、Base Unit の底部にあります。

アンテナ

4本のアンテナが同時デュアルバンド WiFi 用の CSE-800 ボックスに同梱されています。アンテナは、配送中に破損するのを防ぐため、事前に取り付けられていません。

よりよいワイヤレス接続を確立できるよう、アンテナは回転可能です。

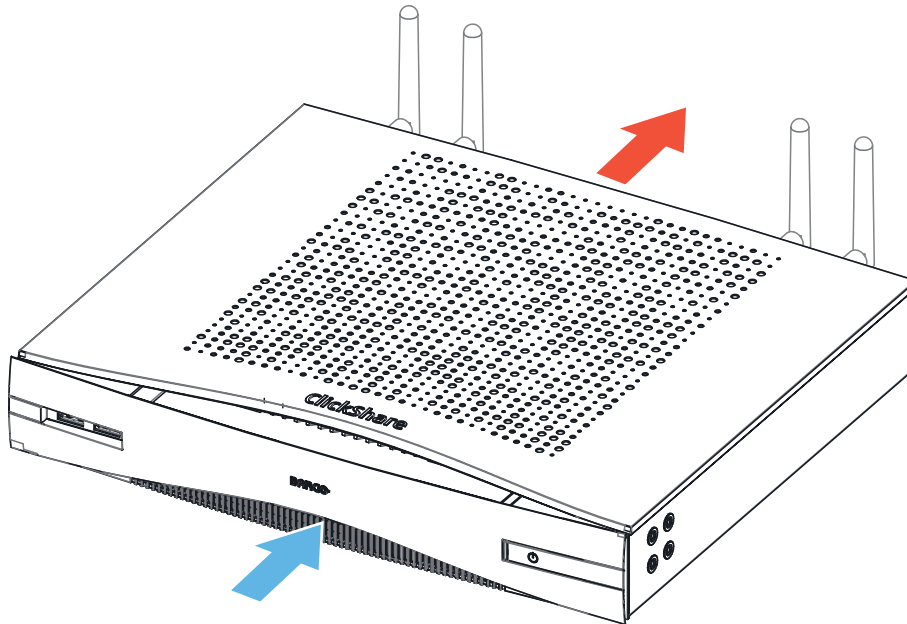
地域の規則により定められているその他のアンテナの使用に関する規制に準拠する限り、ユニットに付属しているアンテナ以外のアンテナを使用することもできます。異なるアンテナを使用することにより、他のデバイスが破損したり障害をきたしたりした場合でも、Barco はその責任を負いません。アクティブなパワーアンプの使用は許可されていません。

アンテナのタイプ: Dipole

ゲイン: 2.4GHz および 5GHz 帯域で最大 2 dBi のピークゲイン

換気口

換気口は Base Unit の前面および背面にあります。



画像 2-4
吸気口と排気口

Base Unit は前面の換気口から空気を吸入し、背面の換気口から熱風を排出します。



Base Unit の操作中は換気口を塞がないでください。換気口前の 50 mm 以内の範囲には、常に何も置かないでください。

Base Unit の底面レイアウト

Barco の部品番号、リビジョン番号、製造日 (週-年)、および製造番号が記載された製造番号ラベル。

適用される認可ロゴが記載された製品ラベル。

製品ラベルの記載内容:

- Barco のロゴ
- 製品名
- Barco の部品番号
- 電源定格
- 適用される規格のマーク (CE、CCC、UL など)
- 廃棄規則のマーク
- 製造国

Bluetooth

Bluetooth 機能は現在利用できず、Bluetooth 信号は無効になっています。

2.4 Button について

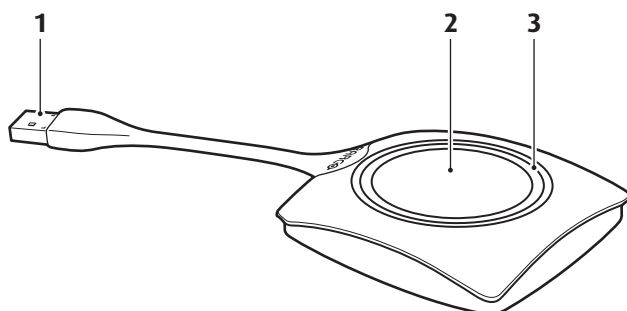


Button

Button は、個々の PC または MAC スクリーンを会議室のスクリーンで共有するかどうかを切り替えます。

Button のレイアウト

Button には 3 つの主要コンポーネントがあります。



画像 2-5
Button のレイアウト

1	USB 端子
2	Button
3	LED リング

表 2-5

USB 端子

USB 端子を使って、Button をラップトップ (スクリーンの共有のため) または Base Unit (Button を Base Unit にペアリングするため、またはソフトウェアを更新するため) に差し込みます。



Button は、コンバータを使用して USB-C ポートで使用できます。

Button

ラップトップのスクリーンのコンテンツを会議室のディスプレイに表示するには、Button をクリックします。会議中 Button をクリックすると、スクリーンの共有状態を切り替えることができます。

LED リング

LED リングは、お使いの ClickShare の現在のステータスを示します。

LED の動作	説明
白色で点滅	<ul style="list-style-type: none"> • ボタンはラップトップに接続され、初期化中またはユーザーが ClickShare アプリケーションを開始するのを待機中。 • Base Unit にある Button のペアリング/ソフトウェアアップデート進行中。

2. CSE-800 仕様

LED の動作	説明
白色で点灯	<ul style="list-style-type: none">ClickShare 画面共有の開始準備完了。ペアリング完了。Button を Base Unit から取り外すことができます。
赤色で点灯	<ul style="list-style-type: none">ディスプレイで画面の共有中。ペアリングおよびソフトウェアアップデートは完了。Button を Base Unit から取り外すことができます。
赤色で点滅	<ul style="list-style-type: none">エラー発生。
オフ (消灯)	<ul style="list-style-type: none">Button が USB ポートに差し込まれていないか、適切に差し込まれていない。Button が故障している。USB ポートまたはコンピューターが故障している。

Button のラベル

Button の底面に貼付されたラベルの記載内容:

- Barco のロゴ
- Barco の部品番号
- 製造番号
- リビジョン番号
- 適用される規格のマーク
- 廃棄規則のマーク
- 製造国



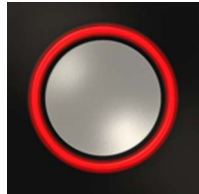
Button を取り扱う際には注意してください。乱雑に扱くと故障の原因となる場合があります。

2.5 モバイル装置のサポート

概要

下の一覧にあるアプリは ClickShare でサポートされていて、Google Play または Apple App Store からお使いのモバイル装置にインストールできます。

ClickShare をモバイルデバイスで使用する前に、モバイルデバイスの Wi-Fi を ClickShare Base Unit の Wi-Fi と接続する必要があります。お使いのモバイル装置のユーザーガイドに記載されている指示に従ってください。

アプリ	使用デバイス	ロゴ
ClickShare アプリ	iOS Android	

2.6 ClickShare Base Unit が使用するポート

概要

Sender	CSE-800 Base Unit	
ClickShare Button	TCP	6541、6542、6543、6544、6545
	UDP	514
ClickShare アプリ	TCP	6541、6542、6543、6544、6545

Sender		CSE-800 Base Unit
	UDP	5.353
WebUI	TCP	80、443
REST API	TCP	4000、4001
	UDP	
AirPlay	TCP	4100-4200、7000、7100、47000
	UDP	4100-4200、5353
Google Cast	TCP	8008、8009、9080
	UDP	1900、32768:61000 ³

構成で自動更新機能に対してプロキシ設定を有効にしている場合は、別のポートも使用されることがあります。

3. ビデオストリーミング用に、Google Cast は、32768 より大きい UDP ポートをランダムに選択します。

3. はじめに

概要

- 環境条件の確認
- 基本ワークフロー

3.1 環境条件の確認

環境条件の確認

装置の周りに大量のホコリがあるような環境で装置を設置する場合には、装置に清潔な空気が届く前にホコリを取り除くことを強くお勧めします。装置から大量のホコリを避けるまたはブロックする装置または構造が必要です。不可能な場合は、装置を清潔な空気のある環境に再設置することを考慮してください。

装置を害のある環境または汚染された空気から保護するのは、機器の所有者であるお客様の責任です。製造元は、装置が不注意な方法、誤った方法、マニュアルに従わない使用方法で使用された場合は、修理を拒否する権利を保有しています。

環境温度条

最高動作温度: +40°C または 40.00°C

最低動作温度: +0°C または 0.00°C

保管温度: -10°C ~ 60°C (-10.00°C ~ 140°F)

湿度条件

保管時: 0 ~ 90% 相対湿度 (結露しないこと)

動作時: 0 ~ 85% 相対湿度 (結露しないこと)

環境

ラジエーターや温風ダクトなど発熱源に近い場所や、直射日光、過剰なホコリや湿度の影響を受ける場所に装置を設置しないでください。部屋の熱気は天井に向かって上がることに注意してください。設置場所近くの温度がこの範囲を超えていないことを確認します。

3.2 基本ワークフロー

CSE-800を使用する前に

1. ClickShareのコンポーネントとアクセサリを箱から取り出します。
CSE-800の箱の内容詳細については、5 ページ、一般情報 CSE-800 をご参照ください。。
2. 2つのインストール方法のいずれかを使用して Base Unit を会議室にインストールしてください。
インストール手順の詳細については、17 ページ、Base Unit の設置方法 をご参照ください。。
3. アンテナの設置
4. Base Unit とディスプレイの間にビデオ信号を接続します。
5. Base Unit から会議室のサウンドシステムにオーディオを接続します (ジャック、シンチ、SPDIF経由のオーディオのみ必要)。
6. ネットワークを介した設定が必要な場合は、Base Unit とローカルネットワークの間にネットワークケーブルを接続します。
7. Base Unit を主電源に接続します。
より詳しい詳細については、23 ページ、電源接続とスイッチオン をご参照ください。。
8. 必要に応じて、CSE-800に入力を接続してください。
9. 希望する場合、コンフィグレータを使用してCSE-800の設定をします。
CSE-800のさまざまな設定方法の詳細については、29 ページ、CSE-800 構成 をご参照ください。



CSE-800 の使用方法に関する詳細は、「CSE-800 ユーザーガイド」を参照してください。このマニュアルは、Barco の Web サイト www.barco.com/clickshare にあります。[ClickShare 製品ページ] をクリックして、[ダウンロード] タブに移動します。

4. CSE-800 インストール

概要

- Base Unit の設置方法
- テーブル マウント
- ウォール マウント
- シーリングマウント
- ラックマウント
- アンテナの配置場所と方向に関する推奨事項
- Base Unit へのビデオ信号の接続
- 音声の接続
- LAN接続
- 電源接続とスイッチオン



警告: 下部表面は熱くなることがあります。決して Base Unit を繊細な物体の表面に置かないでください。

4.1 Base Unit の設置方法



最適な性能を確保するため、Base Unit はディスプレイの近くに設置し、Base Unit と Button の間に障害物を置かないようにしてください。Base Unit の吸気ファンおよび排気ファンは、絶対に塞がないでください。

設置方法のイントロダクション

Base Unit は、さまざまな方法で会議室に設置できます:

- テーブルマウント
- ウォールマウント
- シーリングマウント
- ラックマウント

アンテナは取り外しできます。Base Unit の接地方法によっては、アンテナが Base Unit に固定される場合があります。アンテナは回転して、よりよいワイヤレス接続を確立できます。



アンテナの延長ケーブルを使用することもできますが、性能が低下する場合があります。

4.2 テーブル マウント

概要

Base Unit を会議室テーブルの上に直接置きます。

Base Unit の総重量は 2.2 kg です。

4.3 ウォール マウント

ウォール マウントについて

Base Unit を壁に取り付けるには、CSE-800の箱に同梱されている取り付け金具を使います。

4. CSE-800 インストール

必要な道具

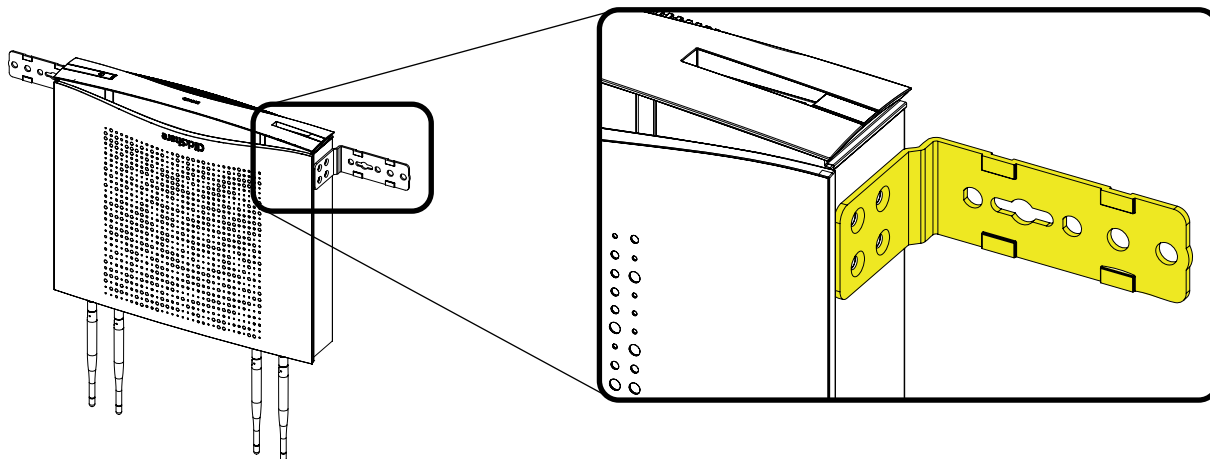
- ドリル (壁の種類によって必要なドリルの種類は異なります)
- Torx T10 ドライバー
- 取り付けねじに合ったドライバー (提供されていない取り付けネジを使用する場合)

必要な部品

- 取り付けねじ 2 つ
- プラグ 2 つ
- 固定ネジ付きの取り付けブラケット 2 つ (CSE-800ボックスに含まれています)

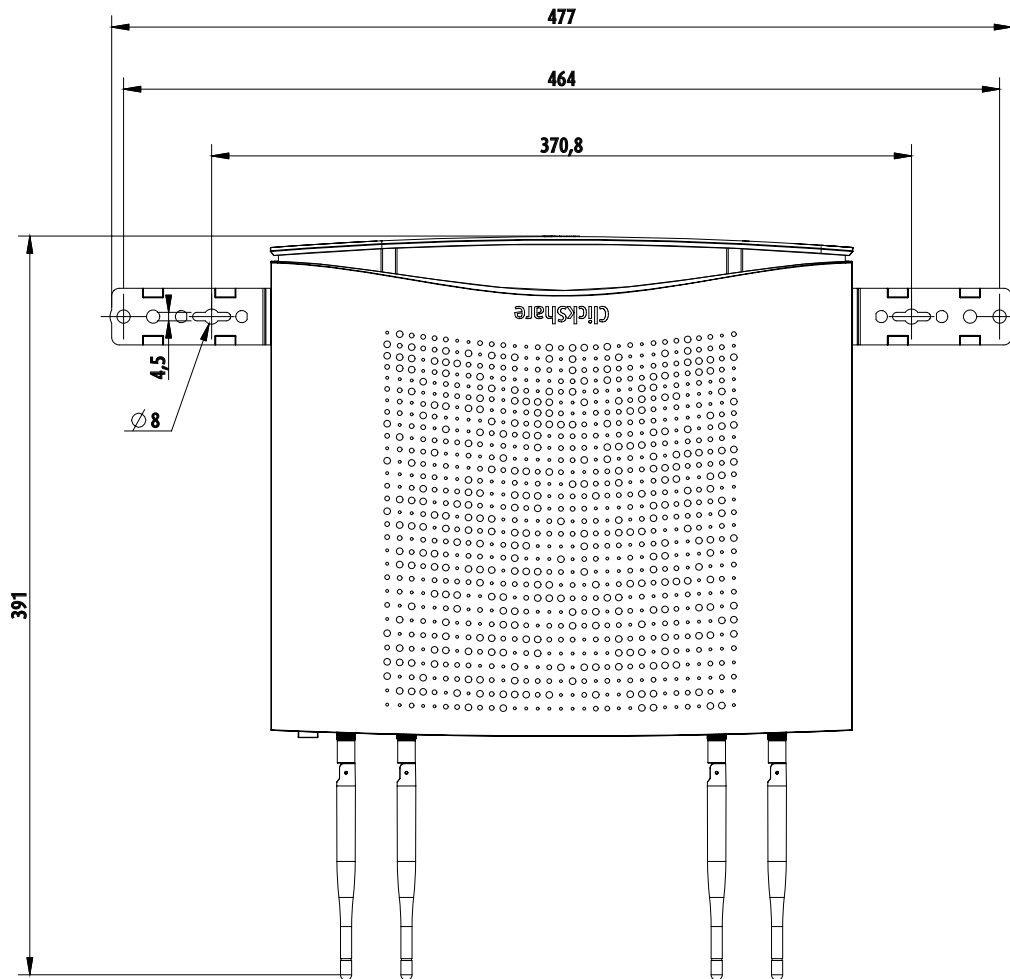
取り付け方法

1. 示されている通りにBase Unitに金具を取り付けます。それぞれに4本のネジを使用してください。



画像 4-1
取り付け金具

2. 水平線上で370.8 mm (14.6インチ) または464 mm (18.3インチ) の間隔で壁に2つの穴を開けます。
3. それぞれの穴にプラグを挿入し (必要に応じて、壁の種類によって)。
注記: 取り付けねじとプラグはCSE-800の箱に同梱されていません。ねじおよびプラグの種類は、Base Unit を取り付ける壁の種類 (石製、木製、プラスターボード製など) によって異なります。



画像 4-2
取付穴の寸法

4. 固定穴が壁の穴と一致するように、ブラケットを付けたBase Unitを壁に取り付けます。2本のネジで締めます。
注記: ネジの頭が金具の穴より大きくないことを確認してください。大きい場合は、ネジとブラケットの間にワッシャを挿入します。

4.4 シーリングマウント

シーリングマウントについて

Base Unit を天井に取り付けるには、CSE-800の箱に同梱されている取り付け金具を使います。

必要な道具

- ドリル (壁の種類によって必要なドリルの種類は異なります)
- Torx T10 ドライバー
- 取り付けねじに合ったドライバー (提供されていない取り付けネジを使用する場合)

必要な部品

- 取り付けねじ 2 つ
- プラグ 2 つ
- 固定ネジ付きの取り付けブラケット 2 つ (CSE-800の箱に同梱)

取り付け方法

1. 壁紙の取り付けと同じ方法で行います。17 ページ、ウォール マウントを参照してください。

4.5 ラックマウント

ラックマウントについて

専用のAVラックを備えた会議室の場合は、付属のブラケットを使用してCSE-800Base Unitを取り付けます。これにより、会議室にすでに取り付けられているハイエンドAV機器とCSE-800をスムーズに統合できます。

ラックに必要な空きスペースは2Uです。

必要な道具

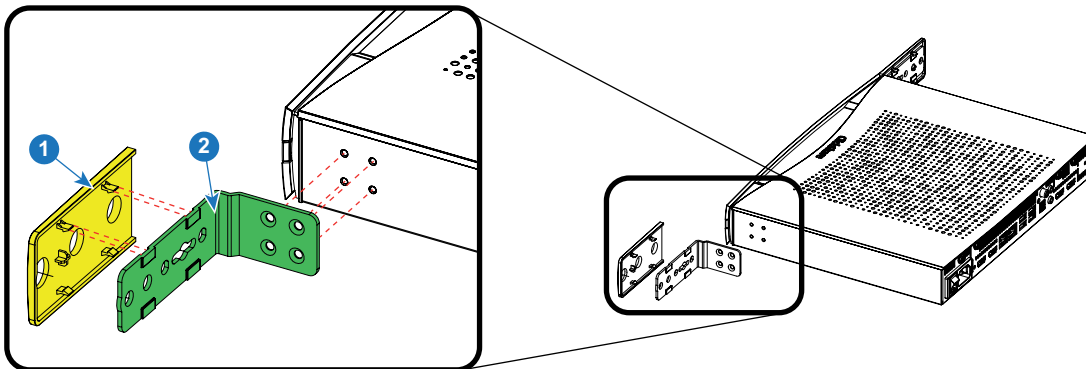
- Torx T10 ドライバー
- 取り付けねじに合ったドライバー

必要な部品

- 固定ネジ付きのマウントブラケット2つ (CSE-800の箱に同梱)
- マウントブラケットカバー 2つ (ProductName の箱に同梱)
- ラックマウント用ネジ2本 (別売)

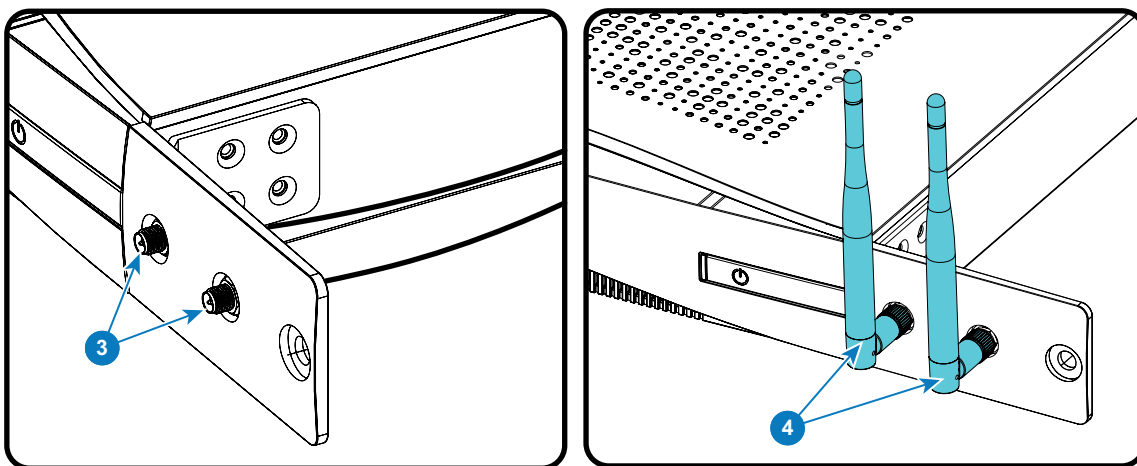
取り付け方法

1. プラスチックカバー (1) を各ブラケット (2) に取り付けます。



画像 4-3
取り付け金具

2. 指示に従ってブラケットを固定穴に置き、4本の固定ネジを押し込みます。
3. 反対側も同様に行います。
4. アンテナ拡張ケーブルを付属の穴 (3) に差し込み、アンテナ (4) をオンにします。



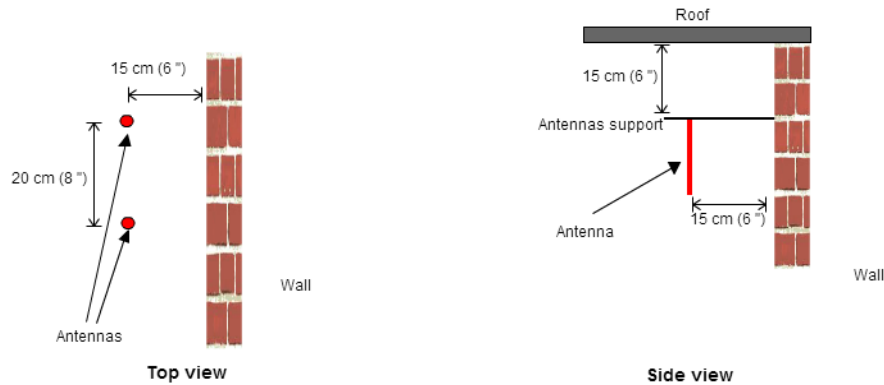
画像 4-4
アンテナの組立

5. 反対側も同様に行います。
6. Base Unit をラックに取り付けます。取り付けねじ2つ。
取り付け穴の直径：7mm。

4.6 アンテナの配置場所と方向に関する推奨事項

アンテナの配置に関するルール

- アンテナは、天井と垂直、壁と水平になるように縦向きに配置します。
- アンテナは、信号送信の妨げとならないよう金属表面から十分離して (最低 50cm)、また同じ周波数で動作するその他の無線機器 (その他の Wi-Fi アクセスポイント、コードレス電話、電子レンジなど) から十分離して取り付けてください。また、アンテナはコンクリートの壁からも 15cm 以上離して取り付けることを推奨します。
- アンテナと Button を結ぶ直線にあたる場所には障害物が一切ないのが理想的です。障害物があると、信号が迂回して伝播する原因となり、パフォーマンスの低下につながる可能性があります。
- 双極子アンテナの無線パターンは特殊であるため、アンテナを ClickShare ユーザーの真上には配置しないでください。つまり、アンテナの推奨配置位置は、会議室の端ということになります。



画像 4-5
会議室に取り付けたアンテナの詳細図

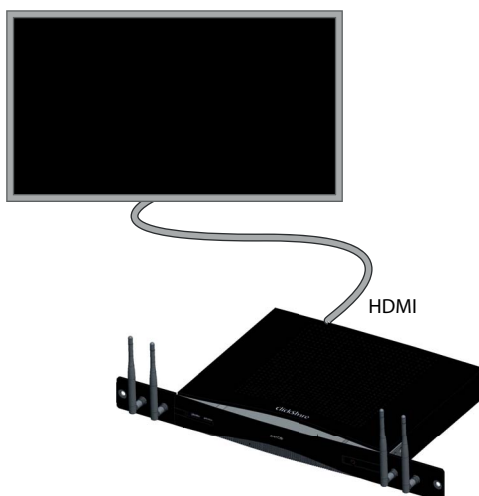
4.7 Base Unit へのビデオ信号の接続



ご注意: 接続する前に、Base Unit が適切に取り付けられていることを確認してください。

ビデオ信号の接続について

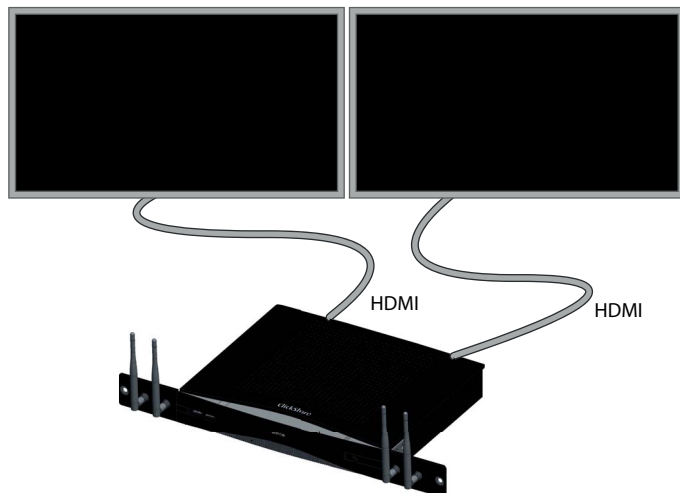
ローカルセットアップによっては、単一スクリーンまたはデュアルスクリーンのセットアップが可能です。シングルスクリーンのセットアップでは、Base Unit とディスプレイを HDMI で接続してください。任意の HDMI 出力を使用できます。



画像 4-6
1つのディスプレイ

二重スクリーンの設定では、Base Unit とディスプレイを 2 つの HDMI で接続してください。

4. CSE-800 インストール



画像 4-7
2つのディスプレイ

接続方法

- 2本の HDMI ケーブルを使って、Base Unit をディスプレイに接続します。
注記: HDMI ケーブルは、購入時に CSE-800 の箱には同梱されていません。
必要に応じて、ディスプレイポートまたはディスプレイ側の DVI ポートにアダプターを接続します。



画質を保証するには、4K の性能と、HDMI 2.0 仕様に対応する HDMI ケーブルをシールドする制限 EMC 露出の 360 度ボンディングを使用する必要があります。

4.8 音声の接続

音声について

ClickShare ボタンは、ユーザーのラップトップの音声出力をキャプチャし、それをビデオ信号とともに Base Unit に送信します。音声は、ミニジャックソケット (3.5mm) からラインレベルで TOSLINK ソケット、および HDMI 接続を使用して出力されます。

音声信号をビデオ信号とともに送信するかどうかは、ユーザーが決定できます。ユーザーは、ラップトップのスピーカーやヘッドホンに制御するのと同じツールを使用してこれを判断することができます。オペレーティングシステムのオーディオコントロール (Windows の場合: コントロールパネル > サウンドとオーディオデバイス) またはラップトップのキーボードのボタン (ミュート/ミュート解除、音量の上げ下げ) を使用します。

音声信号とビデオ信号は同期されます。

HDMI を使用した音声

ディスプレイが HDMI を使用して接続されていて、それが音声をサポートしている場合、音声を別途接続する必要はありません。音声信号は、ビデオ信号とともにディスプレイに送信されます。

音声を別接続するには、

- ミニジャックを介したアナログ出力を使用する場合は、ミニジャック (3.5 mm) の付いた音声ケーブルを Base Unit のアナログ音声出力に接続します。
シンチを介したアナログ出力を使用する場合は、シンチコネクタを備えたオーディオケーブルを Base Unit のアナログ音声出力に接続します。
デジタル出力を使用する場合は、TOSLINK コネクタの付いた光ファイバーケーブルを Base Unit のデジタル音声出力に接続します。
- そのケーブルを会議室のサウンドシステムに接続します。



音声出力は構成で選択する必要があります。詳しくは、45 ページ、音声設定をご参照ください。を参照してください。

サウンドが送信されない場合

一部の Windows 環境では、サウンドが送信されません。これを解決するには、以下の手順に従ってください:

1. システムトレイにあるサウンドアイコンを右クリックし、[再生デバイス]を選択します。[サウンド]ウィンドウが開きます。
2. [スピーカー ClickShare]、[規定値に設定]を選択し、[適用]をクリックします。

4.9 LAN接続



現時点では、プライマリネットワークコネクタのみをAPI、管理スイート、ネットワークインテグレーションに使用できます。

LAN接続について

Base Unit は、ローカルネットワークに接続すること、およびラップトップに直接接続することができます。通常の操作では、LAN接続は必要ありません。

LANインターフェイスは、プライマリインターフェイスとセカンダリインターフェイスで分割されています。通常操作時には、両方のLAN入力に同じ機能があります。スタンバイ中、プライマリインターフェイスはネットワークスタンバイとして機能し、セカンダリインターフェイスはオフになります

以下の目的でLAN接続を使用することができます：

- お使いのCSE-800ユニットの設定
- ソフトウェアのアップデート
- メンテナンス目的
- お遣いのCSE-800ユニットのネットワーク統合
- ネットワークのスタンバイ



ご注意：両方のLAN接続は、2つの異なるネットワークに接続する必要があります。

接続の仕方

1. RJ-45コネクタ付きのネットワークケーブルをプライマリ (LAN1) および/またはセカンダリ (LAN2) のLANポートに挿入します。
2. 相手側をLANに接続します。
3. LANインターフェイスを設定し、48 ページ、LAN 設定 をご参照ください。。

注

プライマリLAN入力が手動で設定されたIPアドレスで設定され、保存されている場合。ケーブルを抜かないまま、このケーブルをDHCP対応のセカンダリLAN入力に接続しないでください。同じサブネットがしてプライマリLAN入力に関連付けられたまとなり、問題が発生します。セカンダリLANインターフェイスはフォールバックモードに移行します。

4.10 電源接続とスイッチオン



警告：地域の規則に準拠した電源コードを使用してください。箱に同梱されていない場合は、現地の販売店に連絡して適切な電源コードを入手してください。

接続方法

1. 電源ケーブルを Base Unit の背面にある主電源コネクタに差し込みます
注記：電源ケーブルの地域ごとのタイプは、CSE-800のボックスで示されています。

ヨーロッパ版	タイプ C と タイプ G
日本版	タイプ A
中国版	タイプ I CCC
北アメリカ版	タイプ A

2. 電源をオンするにはロッカースイッチを「1」に設定します。

4. CSE-800 インストール

Base Unit が自動的に起動しない場合は、スタンバイボタンを使用してください。

正面のスタンバイボタンは、ユニットを完全に制御できるようになりました。
スタンバイボタンには次の機能があります：

- システムが起動しているときは、短く押すとシステムがスタンバイモードになります。
- システムがスタンバイモードになっているときは、短く押すとシステムが起動します。

5. BUTTON の準備

概要

- ペアリング
- ClickShare Extension Pack
- ClickShare Extension Pack インストーラ

5.1 ペアリング

Button と Base Unit のペアリング

Button は、使用する前に、お使いの Base Unit に割り当てる必要があります。このプロセスをペアリングと呼びます。デフォルトでは、CSE-800セットに同梱の Button (単一または複数) は、すでにその Base Unit にペアリングされています。

追加で Button を購入したり、Button を別の Base Unit に割り当てる必要がある場合は、Button を (再度) ペアリングする必要があります。Button のソフトウェアアップデートはバックグラウンドで実行され、ユーザーがシステムを使用している間、ユーザーに影響を与えることはありません。必要に応じて、この機能は Web インターフェイスで無効化できます。Base Unit ソフトウェアの古いバージョンにダウングレードまたはアップデートする場合は、Button を手作業でペアリングし、Button ソフトウェアをアップデートする必要があります (Wi-Fi を介した Button のアップデートが無効になっている場合のみ)。

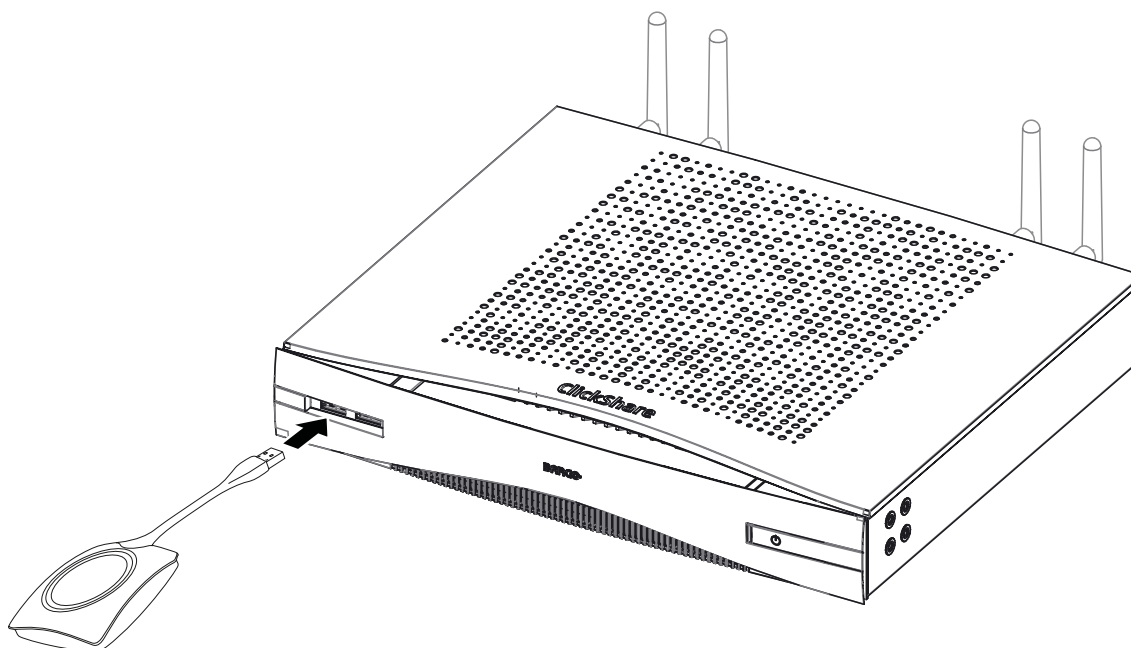


Button は、一度に 1 台の Base Unit にのみペアリングできます。

Button は、最後にペアリングした Base Unit に常に接続します。

Button を Base Unit にペアリングするには

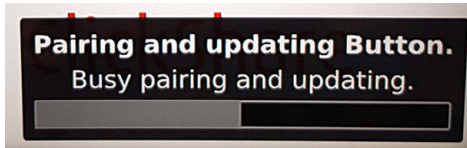
1. 使用している Base Unit の前面にある USB ポートに Button を差し込みます。



画像 5-1
Button のペアリング

5. Button の準備

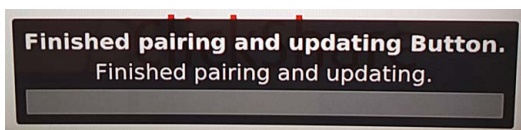
Button の LED および Base Unit の LED が両方とも白色で点滅します。これはペアリングが進行中であることを示します。Base Unit は、Button のソフトウェアが最新のものであるかどうかを自動的に確認します。Button のソフトウェアが最新のもでない場合は、Base Unit がアップデートします。これには時間がかかる場合があります。ペアリングおよびアップデートプロセス中は、小さなステータスバーが表示されます。



画像 5-2
ペアリングメッセージ

ペアリング プロセスの結果は、以下のとおり通知されます：

- LED が白色で点灯している場合、Button は Base Unit にペアリングされましたが、ソフトウェアアップデートは必要なかったことを示します。Button を Base Unit から取り外すことができます。
- LED が赤色で点灯している場合、Button は Base Unit にペアリングされ、ソフトウェアのアップデートが終了したことを示します。Button を Base Unit から取り外すことができます。



画像 5-3
ペアリング終了

2. Button を Base Unit から取り外してください。
これで Button を使用する準備が整いました。

5.2 ClickShare Extension Pack

一般情報

ClickShare Extension Pack は、お客様の ClickShare のユーザーエクスペリエンスをアップグレードするためのツール集です。この Extension Pack には、ClickShare Launcher サービスと Extended Desktop 機能を有効にするドライバが含まれています。両方のツールがデフォルトでインストールされます。インストーラのデフォルト動作を変更するには、インストーラをコマンドラインパラメータで実行する必要があります。

ClickShare Extension Pack は、エンドユーザーが手でインストールしたり、社内のラップトップイメージにあらかじめインストールしたり、SCCM や他のツールを使用して全社展開したりすることができます。

最新の拡張パックは、<http://www.barco.com/en/product/clickshare-extension-pack> からダウンロードできます。

5.3 ClickShare Extension Pack インストーラ

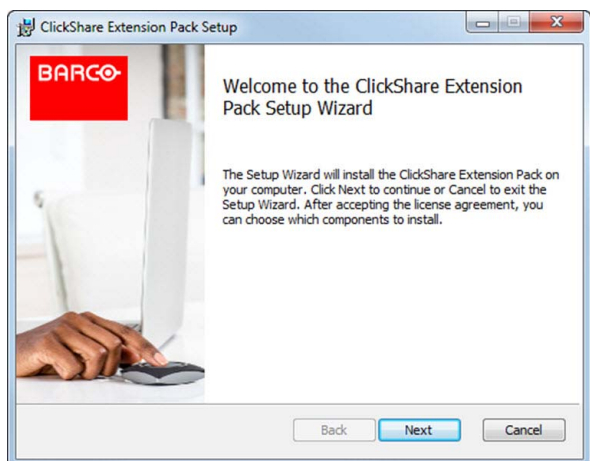
インタラクティブセットアップ

この設定では、ユーザーが EULA を受け入れた後、自分のコンピュータに ClickShare Extension Pack をインストールするインストーラを実行します。

設定が終了すると、ClickShare ランチャーが自動的に開始されます。Extended デスクトップドライバは、ユーザーがコンピュータを再起動した後にのみ使用できます。

設定の開始

1. Clickshare Extension Pack は、26 ページ、ClickShare Extension Packにあるリンクを使用してダウンロードしてください。
2. ダウンロードファイルを解凍します。
3. 以下をクリック *ClickShare-Extension-Pack-01.00.01.0003.msi* すると、インストールが開始します。



画像 5-4

4. 次へをクリックし、ライセンス契約に同意し、次へをクリックして続行します。

必要に応じて、オンスクリーンの使用説明に従ってください。

サイレントセットアップ

この設定では、ユーザーまたは IT 管理者が Windows のコマンドプロンプトを使って Clickshare Extension pack をインストールします。サイレントインストールの例を以下に示します (バージョン番号は例に過ぎません。最新バージョンについては、必ず Barco の Web サイトを確認してください)。

ランチャーのみインストール:

```
msiexec.exe /i ClickShare-Extension-Pack-01.00.02.0003.msi ACCEPT_EULA=YES INSTALLFOLDER=C:\¥ LAUNCH_APP=YES /qn
```

拡張デスクトップのみインストール:

```
msiexec.exe /i ClickShare-Extension-Pack-01.00.02.0003.msi ACCEPT_EULA=YES ADDLOCAL=ExtendedDesktopDriverFeature INSTALLFOLDER=C:\¥ LAUNCH_APP=YES /qn
```

フルインストール (ランチャー + 拡張デスクトップ):

```
msiexec.exe /i ClickShare-Extension-Pack-01.00.02.0003.msi ACCEPT_EULA=YES ADDLOCAL=ALL INSTALLFOLDER=C:\¥ LAUNCH_APP=YES /qn
```



コンピュータが再起動します。これは /norestart で抑制することができます。拡張デスクトップ機能が動作するには、後で再起動が必要になります。エンドユーザが再起動するかどうかを決定する必要がある場合は、/promptrestart /QB!+ を使用できます (基本 UI、キャンセルオプションなし、再起動を促すメッセージ)

パラメータの説明

ACCEPT_EULA	このパラメーターは、インストール者が EULA テキストを現状のまま受諾することを示します。インストールを続行するには、このパラメーターを YES に設定する必要があります。
INSTALLFOLDER	このパラメーターは、ClickShare ランチャーのインストール先ディレクトリを指定します。指定しない場合のデフォルトのフォルダーは「Program Files」フォルダーです。
LAUNCH_APP	このパラメーターを「はい」に設定すると、インストール終了直後に ClickShare ランチャーアプリケーションが開始されます。それ以外の場合、Launcher アプリケーションは開始されません。
/qn	このパラメーターは、インストールがサイレントモードで行われることを示し、インストール中は一切ウィンドウが表示されないことを意味します。
ADDLOCAL	このパラメーターは、インストールの種類を示します。パラメーターを追加せずに、ランチャーのみインストールします。

Windows 環境変数

Button のクライアントソフトウェアが別の場所にコピーされた場合、Windows 環境変数を導入してカスタムの場所からクライアントソフトウェアを起動できます。

使用する変数は「CLICKSHARE_LAUNCHER_CLIENT_PATH」です。値は、クライアントソフトウェアへのパスにします。

6. CSE-800 構成

概要

- 構成へのアクセス
- ClickShare 構成ウィザード
- オンスクリーン言語とテキスト サイズ
- 会議室情報
- 個人用設定、壁紙
- 個人用設定、独自の壁紙
- 構成ファイルの管理
- ディスプレイ設定、出力
- 音声設定
- ディスプレイの設定、入力
- WiFi 設定
- LAN 設定
- ネットワーク統合、アクティブ化
- ネットワーク統合、EAP-TLS セキュリティ モード
- ネットワーク統合、EAP-TTLS セキュリティ モード
- ネットワーク統合、PEAP セキュリティ モード
- ネットワーク統合、WPA2-PSK セキュリティ モード
- サービス、モバイル装置
- サービス、ClickShare API、API を使用したリモート コントロール
- CMGS サーバー統合
- セキュリティ、互換性
- セキュリティ、セキュリティ レベル
- セキュリティ、パスワード
- ステータス情報、Base Unit
- 日時の設定、手動
- 日時の設定、タイム サーバー
- 省電力設定
- Button
- 黒板
- ファームウェア更新
- サポートとアップデート、トラブルシューティング、ログ設定
- 工場出荷時のデフォルト



一部のメニューでは、**構成**が **WebUI**として表示されます。例えば WebUIパスワードは、構成に入力するためのパスワードです。

6.1 構成へのアクセス

構成へのアクセス

構成にアクセスするには、以下の 3 つの方法があります：

- LAN を使用
- PC および Base Unit 間の直接 Ethernet 接続。
- Base Unit のワイヤレスネットワークを使用

構成への初回アクセス時には、ClickShare Configuration Wizard が自動的に起動します。

本構成ウィザードは、メニューを使用するかわりに、構成を変更するためにいつでも開始できます。

LAN を使用して構成にアクセスするには

1. ブラウザーを開きます。

注記: サポートするブラウザは、Internet Explorer 10 以上、Firefox、Google Chrome、および Safari です。

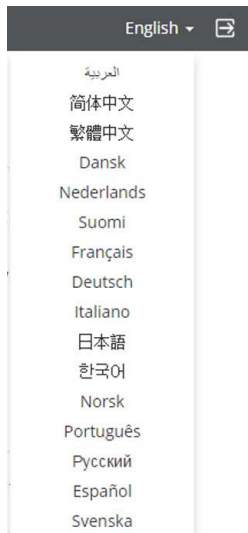
6. CSE-800 構成

2. 起動画面の左下にある IP アドレスに移動します。
注記: Base Unit が LAN に接続されている場合は、優先 IP アドレスのみが表示されます。
ログイン画面が表示されます。



画像 6-1
ログイン画面

3. 構成の言語を変更するには、現在選択されている言語の横にあるドロップダウンボックスをクリックし、目的の言語を選択します。



画像 6-2
構成で使用できる言語

以下の言語で表示できます。

- アラビア文字
- 簡体字中国語
- 繁体字中国語
- デンマーク語
- オランダ語
- 英語
- フィンランド語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 韓国語
- ノルウェー語
- ポルトガル語
- ロシア語
- スペイン語
- スウェーデン語

構成の言語が選択したものに変わります。

4. ユーザー名「admin」およびパスワードを入力し、EULA を承諾して **[OK]** をクリックします。

デフォルトで、パスワードは「admin」に設定されています。

構成が開きます。



画像 6-3
起動画面

構成の言語は、インターフェイスのいずれのページでも変更できます。

この画面は、2つのウィンドウに分割されています。左側のウィンドウには選択ボタンがあり、右側のウィンドウでは選択した機能を構成します。

起動画面には以下が表示されます:

- プライマリおよびセカンダリインターフェイスの有線 IP アドレス
- ワイヤレス IP アドレス
- 両方の周波数のワイヤレス SSID
- 接続されている Button 数
- システムの状態



IPアドレスが見つからない場合(画面を見ることができない場合など)は、Ethernet クロスオーバーケーブルを介して Base Unit を直接お使いのラップトップに接続し、固定 IP アドレス192.168.0.23を使って Web インターフェイスにアクセスしてください。お使いの LAN アダプターが192.168.0.xの範囲に設定されていることを確認してください。

直接接続を使用して構成にアクセスするには

1. Ethernet ケーブルを使って、Base Unit をお使いのラップトップに接続します。
2. ラップトップでブラウザを開きます。
注記: サポートするブラウザは、Internet Explorer、Firefox、および Safari です。
3. <http://192.168.0.23>に移動します。
ログイン画面が表示されます。
4. ユーザー名「admin」およびパスワードを入力し、EULA を承諾して **[OK]** をクリックします。
デフォルトで、パスワードは「admin」に設定されています。
構成が開きます。

Base Unit のワイヤレスネットワークを使用して構成にアクセスするには

1. ラップトップで、Base Unit のワイヤレスネットワークに接続します。
Base Unit に接続するためのデフォルトの SSID およびパスワードは、「ClickShare-<製造ベース番号>」および「clickshare」です。
2. ラップトップでブラウザを開きます。
注記: サポートするブラウザは、Internet Explorer、Firefox、および Safari です。
3. 「<http://192.168.2.1>」に移動します。
ログイン画面が表示されます。
4. ユーザー名「admin」およびパスワードを入力し、EULA を承諾して **[OK]** をクリックします。
デフォルトで、パスワードは「admin」に設定されています。
Web インターフェイスが開きます。



古いラップトップは 5 GHz 周波数帯域をサポートしないことがあります。お使いの Base Unit がその周波数範囲に設定されている場合、それらのラップトップはワイヤレスネットワークを使用して Base Unit に接続できません。

機能の概要

グループ	機能
個人用設定	オンスクリーン ID 壁紙 構成ファイル
ディスプレイと音声	ディスプレイと音声
WiFi とネットワーク	WiFi 設定 LAN 設定 ネットワーク統合 (CS-100 以外) サービス
セキュリティ	互換性 セキュリティレベル パスワード
システム	Base Unit のステータス 日時 省電力設定 Button
サポートと更新	ファームウェア トラブルシューティング

設定を変更した場合は、必ず **[変更の保存 (Save Change)]** をクリックして変更を保存してください。

6.2 ClickShare 構成ウィザード

構成ウィザードについて

Base Unit の初回起動時、構成ウィザードが自動的に起動します。

Base Unit の構成に必要なすべての基本設定を、構成ウィザードで実行できます。構成ウィザードを完了すると、Base Unit を使用できます。



画像 6-4
構成ウィザード

ウィザードを起動するには、**[構成を開始]** をクリックします。



画像 6-5
構成ウィザード、個人用設定

必須欄を入力し、[次へ]をクリックして続行します。

前のステップへ戻るには、[戻る]をクリックします。

特定のトピックについての詳細は、以下のトピックの1つを参照してください。

各画面の左下にある ClickShare[構成ウィザード]をクリックするだけで、いつでも ClickShare 構成ウィザードを起動し、構成を変更できます。

個人用設定

画面上テキスト言語	35 ページ、オンスクリーン言語とテキスト サイズを参照してください。
会議室名、場所明、および歓迎メッセージ	37 ページ、会議室情報を参照してください。
システム	タイムゾーン、日時のマニュアル設定
NTP の使用	65 ページ、日時の設定、手動を参照してください。
セキュリティ	レベル設定
パスワード	WebUI パスワード
ネットワーク	周波数帯域、チャンネル Wi-Fi パスフレーズ
	67 ページ、日時の設定、タイム サーバーを参照してください。
	62 ページ、セキュリティ、セキュリティ レベルを参照してください。
	64 ページ、セキュリティ、パスワードを参照してください。
	46 ページ、WiFi 設定を参照してください。



画像 6-6
構成ウィザード起動

6.3 オンスクリーン言語とテキスト サイズ

オンスクリーン言語について

オンスクリーン言語は、構成の言語に関わりなく設定できます。オンスクリーン テキスト サイズは、小、中、大のいずれかに変更できます。

言語の選択

- 構成にログインします。
- [Personalisation (個人用設定)] → [On-Screen ID (オンスクリーン ID)] をクリックします。

画像 6-7
個人用設定、オンスクリーン ID

3. オンスクリーン テキストの言語を選択します。[*Language for on-screen text (オンスクリーン テキストで使用する言語)*]の横にあるドロップダウン ボックスをクリックし、目的の言語を選択します。
以下の言語で表示できます。

- アラビア文字
- 簡体字中国語
- 繁体字中国語
- デンマーク語
- オランダ語
- 英語
- フィンランド語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 韓国語
- ノルウェー語
- ポルトガル語
- ロシア語
- スペイン語
- スウェーデン語

テキスト サイズ

1. 構成にログインします。
2. [*Personalisation (個人用設定)*] → [*On-Screen ID (オンスクリーン ID)*] をクリックします。
3. [*On-screen text size (オンスクリーン テキスト サイズ)*] の横にあるドロップダウン ボックスをクリックし、目的のフォントサイズを選択します。
以下のサイズを選択できます：
 - 小
 - 中
 - 大

6.4 会議室情報

会議室の設定について

以下の設定が考えられます：

- 会議室名
- 会議室の場所
- ClickShare画面に表示される歓迎メッセージ
- 会議室情報の表示
- ネットワーク情報の表示
- ソース名の表示

画像 6-8
個人用設定、オンスクリーン ID

会議室名、場所、および歓迎メッセージ

1. 構成にログインします。
2. *[Personalisation (個人用設定)]* → *[On-Screen ID (オンスクリーン ID)]* をクリックします。
3. *[Meeting room name (会議室名)]* の横にある入力フィールドをクリックし、会議室の名前を入力します。
このテキストは、Button の共有準備が完了すると (*[Ready to share on... (...で共有する準備ができました)]*) と表示されると、ユーザーの装置、Base Unit に接続された中央画面、ユーザーの iOS 装置の AirPlay レシーバーの一覧に表示されます。
4. *[Location name (場所名)]* の横にある入力フィールドをクリックし、場所を入力します。
5. *[Welcome message (歓迎メッセージ)]* の横にある入力フィールドをクリックし、希望のメッセージを入力してください。

オンスクリーン情報の表示

1. 構成にログインします。
2. *[Personalisation (個人用設定)]* → *[On-Screen ID (オンスクリーン ID)]* をクリックします。
3. *[Show meeting room info (会議室情報の表示)]* の前にあるチェックボックスをオンにします。
チェックボックスをオンにする: 何も共有されていない場合は、会議室名、場所、歓迎メッセージが画面に表示されます。
チェックボックスをオフにする: 画面には何も表示されません。
4. *[Show network info (ネットワーク情報の表示)]* の前にあるチェックボックスをオンにします。
チェックボックスをオンにする: 有線 IP アドレスやホスト名などの LAN 情報が表示されます。また Wi-Fi IP アドレスおよび SSID も表示されます。
チェックボックスをオフにする: LAN および Wi-Fi 情報は表示されません。
5. *[Show source names (ソース名の表示)]* の前にあるチェックボックスをオンにします。

チェックボックスをオンにする: 画面に共有コンテンツのソース名が表示されます。

チェックボックスをオフにする: 画面にはソース情報が表示されません。

6.5 個人用設定、壁紙

壁紙について

CSE-800 が起動すると背景 (壁紙) が表示されます。この背景壁紙の表示は、無効にすることが可能です。

デフォルトでは、一般的な ClickShare およびクイックスタートの壁紙を選択できます。独自の背景 (壁紙) をアップロードすることも可能です。デフォルトの壁紙は、システムから削除できません。

壁紙の選択

- 構成にログインします。
- [Personalisation (個人用設定)] → [Wallpaper (壁紙)] をクリックします。



画像 6-9
壁紙の選択

[Wallpaper (壁紙)] 選択ペインが表示されます。現在選択されている壁紙は、赤色の枠付きで表示されます。

- 選択可能な壁紙のいずれかを選択し、[Save Changes (変更の保存)] をクリックします。
注記: デフォルトでは、一般的な Barco CSE-800 の壁紙および CSE-800 クイックスタートガイドの壁紙を選択できます。

壁紙はスクリーンの縦横比に合わせて自動的にサイズ変更されます。

選択されている壁紙は、赤色の枠付きで表示されます。

壁紙を選択するウィンドウの上部に [Successfully applied changes (変更が適用されました)] というメッセージが表示されます。



また、独自の壁紙 (貴社のロゴなど) を追加することもできます。一覧に新しい壁紙を追加する方法の詳細は、39 ページ、個人用設定、独自の壁紙 をご参照ください。を参照してください。

壁紙のダウンロード

- カーソルをダウンロードする壁紙の上に置き、右上隅にあるダウンロード記号をクリックします。



画像 6-10
壁紙のダウンロード

壁紙がお使いの PC にダウンロードされました。

壁紙の有効化 - 無効化

1. [Wallpaper (壁紙)] ペイン内で、[*Show the wallpaper when no one is sharing their screen (画面が共有されていない場合のみ壁紙を表示する)*] の横にあるチェックボックスをオンにします。

チェックボックスをオンにする: コンテンツが共有されていない場合のみ壁紙が表示されます。

チェックボックスをオフにする: コンテンツが共有されていない場合も壁紙は表示されません。コンテンツが共有されていない場合、Base Unit のビデオ出力は無効になります。この機能は、Base Unit がより大型の AK システムに統合されている場合に特に便利です。

6.6 個人用設定、独自の壁紙

独自の壁紙について

構成では、独自の背景や壁紙をアップロードできます。

アップロードするファイルは、JPEG、PNG、BMP、または TIFF 形式で、最大サイズは 2.5MB です。

Maximum one custom wallpaper can be uploaded. To upload another, the first uploaded will be overwritten.

アップロード方法

1. 構成にログインします。
2. [Personalisation (個人用設定)] → [Wallpaper (壁紙)] をクリックします。
[Wallpaper (壁紙)] 選択ペインが表示されます。現在選択されている壁紙は、赤色の枠付きで表示されます。
3. 何も無い場所にカーソルを置き、[Choose image (画像の選択)] をクリックします。



画像 6-11
独自の壁紙の選択

参照のためのウィンドウが開きます。

4. 目的の画像を参照し、[Open (開く)] をクリックしてその画像を読み込みます。

ファイルのコンテンツが確認され、(形式およびサイズが) 有効である場合はファイルがアップロードされます。新しい壁紙が赤色の枠付きで表示されます。

5. [Save changes (変更の保存)] をクリックして独自の壁紙を適用します。

ページの上部に [Successfully applied change (変更が適用されました)] というメッセージが表示されます。

独自の画像の変更

1. [Personalisation (個人用設定)] → [Wallpaper (壁紙)] をクリックします。
2. 現在の独自の画像にカーソルを置き、[Change image (画像の変更)] をクリックします。



画像 6-12
画像の変更

3. 目的の画像を参照し、[Open (開く)] をクリックしてその画像を読み込みます。

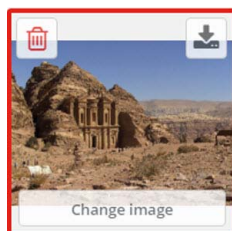
ファイルのコンテンツが確認され、(形式およびサイズが) 有効である場合はファイルがアップロードされます。新しい壁紙が赤色の枠付きで表示されます。

4. [Save changes (変更の保存)] をクリックして独自の壁紙を適用し、以前のファイルを置き換えます。

ページの上部に [Successfully applied change (変更が適用されました)] というメッセージが表示されます。

独自の壁紙の削除

1. 現在の画像にカーソルを置き、ゴミ箱をクリックして画像を削除します。



画像 6-13
壁紙の削除

独自の壁紙が削除され、デフォルトの壁紙がアクティブ化されました。

6.7 構成ファイルの管理

構成ファイルの管理について

完全バックアップはダウンロードできますが、構成設定を別の Base Unit に複製するために使用することはできません。そのため、Portable Version をダウンロードすることが可能です。この Portable Version は、別の Base Unit にある [Configuration Button (構成のアップロード)] ボタンを使用してアップロードできます。同じボタンを使用して、元の Base Unit で完全バックアップをアップロードできます。

Portable バックアップには以下が含まれています:

- 壁紙
- 壁紙の設定
- ログの設定
- すべてのディスプレイ設定
- OSD 言語
- 場所
- ようこそメッセージ
- WiFi チャンネル
- WiFi 周波数

構成ファイルを管理するには

1. 構成にログインします。
2. [Personalisation (個人用設定)] → [Configuration Files (構成ファイル)] をクリックします。

The screenshot shows the '設定ファイル' (Configuration Files) page. On the left is a sidebar menu with 'カスタマイズ' (Customize) selected, containing options like '画面に表示されるID', '壁紙', '設定ファイル', 'ディスプレイと音声', 'Wi-Fiとネットワーク', 'セキュリティ', 'システム', and 'サポート&アップデート'. The main content area has a header '設定ファイル' and two sections: '設定のダウンロード:' with a 'フルバックアップ' button and explanatory text, and '設定のアップロード:' with an '設定をアップロード...' button. A note explains that the portable version is a copy of settings for multiple base units.

画像 6-14
構成ファイル

3. 完全バックアップをダウンロードするには、[Full Backup (完全バックアップ)] をクリックします。
すべての情報および履歴を含む xml ファイルがダウンロードされます。このファイルは、同じ Base Unit でのみ再使用可能です。
4. Portable Version をダウンロードするには、[Portable Version] をクリックします。
別の Base Unit で設定を複製するためのポータブル情報を含む xml ファイルがダウンロードされます。
5. 構成をアップロードするには、[Upload Configuration (構成のアップロード)] をクリックします。
参照のためのウィンドウが開きます。アップロードするファイル (xml ファイル) に移動し、[Open (開く)] をクリックするとアップロードされます。
完全バックアップは、バックアップが作成された Base Unit でアップロードできます。Portable Version は、同じモデルの別の Base Unit のいずれでもアップロードできます。



構成ファイルをアップロードすると、ソフトウェアの更新履歴とペアリングされた Button は失われます。ただし、Base Unit の SSID またはワイヤレス パスワードが変更されていない場合、ペアリングされた Button はそのまま機能します。

6.8 ディスプレイ設定、出力

解像度

ディスプレイの出力解像度は、自動またはあらかじめ定義されたピクセルアスペクト比に設定できます。自動に設定すると、出力解像度がディスプレイの解像度に合わせて自動的に調整されます。

ClickShare の位置

ディスプレイ 2 の HDMI1 のコンテンツとディスプレイ 1 の HDMI2 のコンテンツを切り替えることができます。これは、ディスプレイが異なる順序で取り付けられている場合に便利です。

出力を有効にする方法

1. 構成 (Configurator) にログインします。
2. ディスプレイと音声 → 出力 をクリックします。



画像 6-15
ディスプレイ出力

3. 出力を有効にするには、有効化の前にあるチェックボックスにチェックを入れます。

チェックを入れる: 出力が有効になっています。

チェックを外す: 出力がブロックされます

設定方法

1. 構成 (Configurator) にログインします。
2. ディスプレイと音声 → 出力 をクリックします。
3. 解像度の隣にあるドロップダウンボックスをクリックし、目的の解像度を選択します。
自動を選択すると、出力解像度がディスプレイの解像度に合わせて自動的に調整されます。
4. ClickShare の位置を変更するには、ClickShare 解像度の横にあるドロップダウンボックスをクリックします。

位置は 1 または 2 に設定できます。

既定値について、

HDMI1 の場合、ClickShare 位置が 1 に設定され、コンテンツはディスプレイ 1 に表示されます

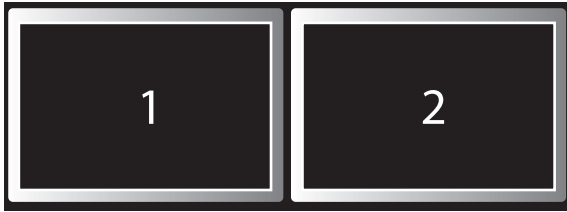
HDMI2 の場合、ClickShare 位置が 2 に設定され、コンテンツはディスプレイ 2 に表示されます

ClickShare の位置を変更すると、ディスプレイ 2 に HDMI1 のコンテンツを、ディスプレイ 1 に HDMI2 のコンテンツが表示できます。これは、ディスプレイが異なる順序で取り付けられている場合に便利です。

5. [変更の保存 (Save changes)] をクリックして新しい設定を適用します。

ディスプレイモードについて

拡張モード

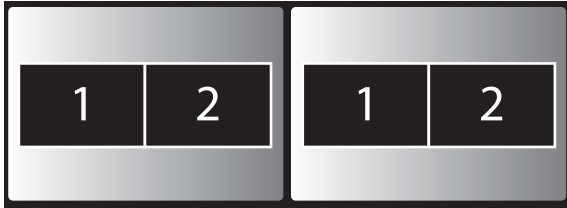


2 users

画像 6-16

複数ユーザーのコンテンツが両方のスクリーンに分割表示されます。

クローンモード



2 users

画像 6-17

複数ユーザーのコンテンツが1台のスクリーンに表示されます。そのスクリーンのコンテンツがもう一方のスクリーンに複製されます。

ディスプレイモードの選択

1. 構成 (Configurator) にログインします。
2. ディスプレイと音声 → 出力 をクリックします。



画像 6-18
ディスプレイモード

3. ドロップダウンボックスをクリックし、希望のモードを選択します。
以下のモードを選択できます。
 - 拡張
 - クローン
4. [変更の保存 (Save changes)] をクリックして新しい設定を適用します。

スクリーンセーバーのセットアップ

1. 構成 (Configurator) にログインします。
2. ディスプレイと音声 → 出力 をクリックします。
3. スクリーンセーバーをアクティブ化するには、目的の遅延時間になるまで、スライダーを左右にドラッグします。
スライダーが最も右側に設定されている場合は、スクリーンセーバーはアクティブ化されません。
4. [変更の保存 (Save changes)] をクリックして新しい設定を適用します。

6.9 音声設定

音声設定について

音声機能は、有効化または無効化できます。有効化および/または無効化の設定を変更した後アクティブ化するには、Button を再度ペアリングする必要があります。

変更方法

1. 構成にログインします。
2. [Display & Audop (ディスプレイと音声)] → [Display & Audop (ディスプレイと音声)] → [Output (出力)] をクリックします。



画像 6-19
音声設定

3. [Enable Audio (音声を有効化する)] の横にあるチェックボックスのオン/オフを切り替えます。
チェックボックスをオンにする: 音声が有効化されます。
チェックボックスをオフにする: 音声が無効化されます。
4. 音声出力を選択するには、ドロップダウン ボックスをクリックして目的の音声出力を選択します。
ジャック: ジャックを使用した音声出力。
HDMI: HDMI を使用した音声出力。
SPDIF: TOSLINK を使用してデジタル音声出力
5. [Save changes (変更の保存)] をクリックして新しい設定を適用します。

6.10 ディスプレイの設定、入力

入力について

入力内容が HDMI1 または HDMI2 に接続されている場合、対応する信号がそれぞれで点滅するようになっています。次で表示されるディスプレイの名前は変更することができます。このソース名は画面に表示されています。

名前を変更する方法

1. 構成にログインします。
2. [Display & Audio (ディスプレイと音声)] → [Input (入力)] をクリックします。



画像 6-20
入力

3. [新しいパスワード記入欄の横にある入力欄をクリックし、新しいパスワードを入力します。]
4. [Save changes (変更の保存)] をクリックして新しい設定を適用します。

6.11 WiFi 設定



警告: Base Unit を対象地域外で操作することは許可されていません。

WiFi について

Base Unit にはワイヤレス接続を使用して接続できます。接続は、固定ワイヤレス IP アドレスを使って確立します。ワイヤレス信号の伝搬力は弱くなっている場合があります。伝搬力が弱くなる場合は、両方の周波数で弱くなります。



IP アドレスを変更した後は、この Base Unit で使用している Button を再度ペアリングする必要があります。



画像 6-21
WiFi 設定

IP アドレスとサブネットマスク

1. 構成 (Configurator) にログインします。
2. [Wi-Fi とネットワーク (Wi-Fi & Network)] → [Wi-Fi 設定 (WiFi Settings)] をクリックします。
3. IP アドレスまたはサブネットマスクを変更するには、入力フィールドをクリックして、新しい IP アドレスまたはサブネットマスクの 4 つの数値を入力します。
注記: 固定 IP アドレスを割り当てる場合、0.0.0.0 は指定できません。

WiFi モードとチャンネル選択

1. ワイヤレス接続モードを選択するには、ドロップダウンボックスをクリックして目的のモードを選択します。以下のいずれかのモードを選択できます。
 - 同時
 - 2.4 GHz のみ
 - 5 GHz のみ

選択により、下部ウィンドウが変更されます。同時を選択すると、SSID と MAC アドレスをそれぞれ使用して 2.4 GHz と 5 GHz のウィンドウが使用可能になります。標準的な周波数を選択すると、そのウィンドウのみが使用可能になり、もう 1 つはブランクになります。
2. 選択した周波数のチャンネルを選択します。ドロップダウンボックスをクリックし、希望の帯域を選択します。同時が選択されると、周波数ごとにチャンネルを選択する必要があります。



画像 6-22

チャンネル選択ウィンドウの下に、現在のチャンネルで利用可能な帯域幅の指示が表示されます。十分な帯域幅が別のチャンネルで利用できるかどうかを確認するには、ドロップダウンでチャンネルを選択して変更内容を保存します。ページは新しい設定でリロードされ、約 1 分後にチャンネルのフィットが表示されます。結果を見るためにページをリロードする必要はありません。

一覧で選択できるチャンネルは、Base Unit の地域版によって異なります。周波数帯域やワイヤレス接続チャンネルの変更する場合、Button を再度ペアリングする必要はありません。



Base Unit で 5 GHz を選択する前に、お使いの PC のワイヤレスインターフェイスがその周波数帯域をサポートしていることを確認してください。

SSID

1. ワイヤレスネットワークのパブリック名 (SSID) を入力します。
デフォルトの SSID は「ClickShare-<製造番号 Base Unit>」です。
2. この SSID をブロードキャストするには、[SSID のブロードキャストを有効化する (Enable SSID broadcast)] の前にあるチェックボックスをオンにします。

WiFi パスフレーズ

1. 新しい WiFi パスフレーズを入力します。
2. 新しい WiFi パスフレーズを確認します。

信号の強さ

1. 信号の強さを選択します。スライダーをクリックし、ブロードキャスト能力 (信号の強さ) を目的の強さになるまで低下させます。
注記: ブロードキャスト能力が低すぎると、他の信号による干渉により、接続問題の原因となる場合があります。その場合は、問題が解決するまで、信号の強さを再度増大します。
デフォルトで、信号の強さは 100% に設定されています。

Button 接続

1. Button の接続先の隣にあるドロップダウンボックスをクリックし、Button が接続される WiFi 周波数を選択します。
注記: 設定を変更すると、Button を再度ペアリングすることが必要となります。

Wi-Fi を介した WebUI アクセス

1. Wi-Fi を介した構成へのアクセスを許可するには、[Wi-Fi を介した WebUI アクセス (WebUI available via Wi-Fi)] の前にあるチェックボックスをオンにします。
チェックボックスをオンにする: Wi-Fi を使用して構成にアクセスできます。
チェックボックスをオフにする: Wi-Fi を使用した構成へのアクセスはブロックされます。

6.12 LAN 設定

LAN ネットワーク設定について

ネットワーク接続は、DHCP を介して、または固定 IP アドレスを手作業で入力することによって設定できます。

LAN インターフェイスは、プライマリインターフェイスとセカンダリインターフェイスに分割されます。通常の動作中、両方の LAN 入力部は同じ機能を持ちます。スタンバイ中、プライマリインターフェイスはネットワークスタンバイとして機能し、セカンダリインターフェイスはオフになります。

実際の使用例:

ネットワーク内で ClickShare を統合し、共有するネットワークを管理、統合できます。統合するには、プライマリネットワークコネクタを使用することをお勧めします。Buttons のみ、プライマリコネクタを使用してネットワークスタンバイから Base Unit をスリープ解除できるためです。



ご注意: 両方の LAN 接続は、2つの異なるネットワークに接続する必要があります。



DHCP

動的ホスト構成プロトコル (Dynamic host configuration protocol)。DHCPとは、ネットワーク管理者が組織のネットワークの IP アドレスの管理と割り当てを集中的に行える通信プロトコルです。インターネットプロトコルを使用する場合、インターネットに接続可能な各コンピュータに一意の IP アドレスが必要となります。組織でインターネットに接続可能なコンピュータを設定する際には、各コンピュータに IP アドレスを設定する必要があります。DHCP を使用しない場合、IP アドレスを各コンピュータに手作業で入力しなければならず、またコンピュータをネットワークの異なる部分の別の場所に移す際には再度 IP アドレスを入力しなければなりません。DHCP を使用すると、ネットワーク管理者は集中的に IP アドレスの監視と割り当てを行えます。また、コンピュータがネットワークの別の場所に接続されると、新しい IP アドレスが自動的に送信されます。

ホスト名

1. 構成 (Configurator) にログインします。
2. [Wi-Fi とネットワーク (Wi-Fi & Network)] → [LAN 設定 (LAN Settings)] をクリックします。

The screenshot shows the 'LAN設定' (LAN Settings) page. On the left is a navigation menu with options like 'カスタマイズ', 'ディスプレイと音声', 'Wi-Fiとネットワーク', 'セキュリティ', 'システム', and 'サポート&アップデート'. The 'Wi-Fiとネットワーク' section is expanded to show 'LAN設定'. The main content area is titled 'LAN設定' and contains two sections: 'プライマリインターフェイス' (Primary Interface) and 'セカンダリインターフェイス' (Secondary Interface). Each section has a 'メソッド' (Method) dropdown set to 'Automatic (DHCP)'. The primary interface has a 'ホスト名' (Host Name) field with the value 'ClickShare-1872075101'. The secondary interface has an 'IPアドレス' (IP Address) field with the value '10.200.18.114'. Other fields like 'IPアドレス', 'サブネットマスク', and 'デフォルトゲートウェイ' are greyed out. The MAC address for the primary interface is '1C:E1:92:48:E6:CF'. At the bottom left, there is a note about updating settings and a BARCO logo.

画像 6-23
LAN 設定

3. [ホスト名 (Hostname)] の横にある入力フィールドをクリックし、Base Unit のホスト名を入力します。
デフォルトのホスト名は「ClickShare-<製造番号 Base Unit>」です。

4. [変更の保存 (Save changes)] をクリックして設定を適用します。

プライマリおよびセカンダリインターフェイスの設定

1. 方法を選択するには、[方法 (Method)] の横にあるドロップダウンボックスをクリックし、[自動 (DHCP) (Automatic (DHCP))] または [手動 (Manual)] を選択します。

[自動 (DHCP)] を選択すると、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの各フィールドが灰色表示になり、現在使用している設定が自動的に入力されます。

手動設定については、「手動 (固定) IP アドレス」を参照してください。

手動 (固定) IP アドレス

1. [方法 (Method)] の横にあるドロップダウンボックスをクリックし、[手動 (Manual)] を選択します。

IP アドレス、サブネット、ゲートウェイの各入力フィールドがアクティブ化されます。

デフォルトの IP アドレスが記入されています。

プライマリインターフェイスの場合: 「192.168.0.23」。セカンダリインターフェイスの場合: 「192.168.1.23」。いずれの場合もサブネットマスク 「255.255.255.0」。

- [IP アドレス (IP address)] 入力フィールドをクリックし、4 つの数値を入力します。

注記: 1 つのアドレスは、255 以下の値の 4 つの数値で構成されます。

固定 IP アドレスを割り当てる場合は、0.0.0.0 以外を指定する必要があります。

- [サブネットマスク (Subnet mask)] 入力フィールドをクリックし、ローカルサブネットとして 4 つの数値に値を入力します。
- [デフォルトゲートウェイ (Default Gateway)] 入力フィールドをクリックし、4 つの数値に値を入力します。このデフォルトゲートウェイは、ルーターの IP アドレスに設定します (ローカルサブネット上にある必要があります)。

注記: 0.0.0.0 以外である必要があります。

ローカルサブネット上にルーターが存在しない場合は、このフィールドをサブネット上の任意の IP アドレスに設定します。

- DNS サーバー 入力フィールドをクリックし、優先 DNS サーバー (最大 5) をコンマ区切りのリストで入力します。
- [変更の保存 (Save changes)] をクリックして設定を適用します。



サブネットマスク 255.255.255.0 には IP アドレス 192.168.2.x、サブネットマスク 255.255.0.0 には IP アドレス 192.168.x.x を使用しないでください。

プロキシサーバーを使用する

この設定は、インターネットアクセスを必要とする Base Unit の自動更新機能を利用する際に重要です。

- [プロキシサーバーを使用する (Use a proxy server)] の横にあるチェックボックスをオンにします。

プロキシサーバーを使用

サーバーアドレス:

サーバーポート (オプション):

ユーザー名 (オプション):

パスワード (オプション):

画像 6-24
プロキシ設定

[プロキシ設定] の入力が可能になります。

- プロキシサーバーのアドレスを入力します。IP アドレスまたはホスト名を入力します。
一部のプロキシサーバーではポート番号、ユーザー名、パスワードの入力が必須ですが、それ以外の場合はオプションです。
- オプションで、使用するサーバーポートを入力します。
- オプションで、ユーザー名を入力します。
- オプションで、パスワードを入力します。
- [変更の保存 (Save changes)] をクリックして設定を適用します。



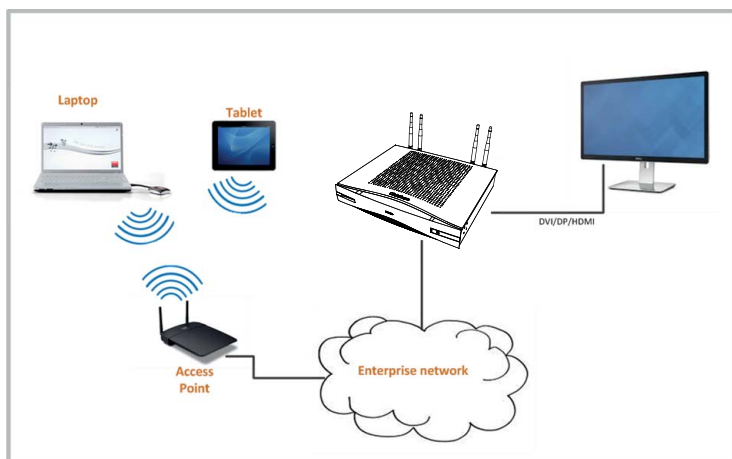
現時点では、プライマリネットワークコネクタのみ、API、Management Suite、ネットワーク統合で使用できません。

6.13 ネットワーク統合、アクティブ化

イントロダクション

「ClickShare ネットワーク統合」は、既存のワイヤレスネットワークインフラストラクチャを妨げずに、ClickShare を大規模な組織に導入するためのオプションです。デフォルト設定のスタンドアロン設定では、ClickShare Button が接続する際に使用する独自のワイヤレスアクセスポイント (AP) が、ClickShare Base Unit によって作成されます。これらのいわゆる「不正」AP は、比較的大規模な接地では面倒なことになる場合があります。次に、モバイルからコンテンツを共有している会議出席者は、ClickShare Base Unit と接続するためにネットワークを切り替える必要があります。

ここで、ClickShare ネットワーク統合が機能を発揮します。完全に設定および有効化されると、Base Unit の付属 AP は無効になります。これで Button またはモバイル装置から、企業ネットワークの一部を成すワイヤレスアクセスポイントに接続できるようになります。この時点で、Base Unit は、Button とモバイル装置が Base Unit 上のコンテンツを共有できるよう、ワイヤードライバーネットワークインターフェイスを介して企業ネットワークに接続する必要があります。



画像 6-25

セキュリティモード

企業ネットワークに接続する Button がサポートするセキュリティには 2 つのモードがあります。

- 一般的な企業ネットワーク設定に適用される最初のセキュリティは「WPA2-Enterprise with 802.1X」です。
- 従来の Wi-Fi 設定が採用されている場合のある比較的小規模な組織に対応するため、「WPA2-Personal」とも呼ばれる WPA2-PSK もサポートしています。

いずれのモードも Wi-Fi Protected Access (WPA) に基づいています。ここでの WPA2 は、セキュリティを向上するために AES 暗号化を追加した元の WPA 規格の改良バージョンを指します。

WPA2-Enterprise with 802.1X

WPA2-Enterprise は、ネットワーク上の個々のクライアントを認証する際、サーバー (RADIUS を使用) に依存しています。この認証を行うために 802.1x が使用されます (ポートベースのネットワークアクセス制御)。802.1x は、拡張認証プロトコル (EAP) をカプセル化し、ローカルエリアネットワークで使用します。これは、「EAP over LAN」または EAPoL と呼ばれます。これらの EAPoL メッセージは、ネットワーク上のクライアント装置を認証するため (ClickShare の場合は Button)、RADIUS を用いてネットワークを介してルーティングされます。

802.11i (WPA2) 規格は、複数の必須 EAP 方法を定義しています。ただし、そのすべてが現場で広く使用されているわけではなく、規格にない別の方法がある場合に頻繁に使用されている場合があります。そのため、ここでは最も広く使用されている EAP 方法が選択されています。ClickShare システムでは、以下の EAP 方法がサポートされています。

- EAP-TLS
- PEAP
- EAP-TTLS

考慮事項

ClickShare システムを企業ネットワークに統合することを決定する際に、最初にいくつかのことを考慮する必要があります。まず、すべての Base Unit がワイヤードイーサネットインターフェイスを介してネットワークに接続できることを確認してください。また、それぞれの Button がキャプチャした画面コンテンツを Base Unit にストリーミングするのに必要な帯域幅を検討してください。5 ~ 15 Mbps が一般的です。帯域幅の不足により ClickShare エクスペリエンスが低下しないよう、ネットワークのボトルネックとなるもの (100 Mbps スイッチなど) は使わないようにしてください。

前提条件

ClickShare ネットワーク統合のロールアウトに先立ち、お使いのインフラストラクチャが以下の前提条件を満たしていることを確認してください。

ネットワーク

企業ネットワークを有効にすると、ClickShare Base Unit の内部 Wi-Fi アクセスポイントは無効になります。お使いの Base Unit がワイヤードイーサネットインターフェイスを介して企業ネットワークに接続されていることを確認してください。

ファイアウォール

ClickShare Button を介して (またはモバイル装置から) コンテンツを Base Unit と共有できるようにするため、12 ページ、ClickShare Base Unit が使用するポート で述べられているポートがお使いのネットワークでオープンになっていることを確認してください。

VLAN

たとえば BYOD (Bring Your Own Device) トラフィックを「コア」の企業ネットワークから分割するなど、多くの企業ネットワークは複数の VLAN に分割されています。ClickShare をお使いのネットワークに統合する際は、このことを考慮してください。お使いのワイヤレスインフラストラクチャに接続した ClickShare Button は、Base Unit に接続できるはずですが、さらに、モバイルアプリを使用する場合、これらは Base Unit にも到達する必要があります。これらを容易に管理できるよう、すべての ClickShare Unit を個別の VLAN に配置することをお勧めします。

DNS

Button がそのコンテンツを Base Unit にストリーミングするには、ネットワーク内の Base Unit のホスト名を解決する必要があります。DNS を利用できない場合、Button は USB ペアリングの時点で Base Unit の IP へと戻ります。そのため、ホスト名が解決できない際に問題が発生するのを防ぐため、各 Base Unit の DHCP サーバーで IP アドレスを確保することを強く推奨します。

NTP

EAP-TLS を使用する場合は、Base Unit 上で NTP も設定する必要があります。これは、Base Unit WebUI を使用して実行できます。EAP-TLS に必要な証明書进行处理するには、Base Unit に正しい時刻が設定されていなければなりません。可能であれば、ローカル企業ネットワーク上にある、高可用性の NTP サーバーを使用してください。インターネット上の NTP サーバーを使用すると、Base Unit をプロキシサーバー経由で接続できないことに留意してください。

アドバイス

Button が Base Unit に到達したかを確認するには、Button と同じ方法 (同じユーザー名、パスワード、証明書を使用) で PC を接続し、Base Unit のホスト名に ping を送ります。ホスト名は Base Unit の構成で確認できます。ping に失敗した場合、IP に ping を送信してみてください。ホスト名への ping が成功するよう、ネットワーク設定を調整します。

ホスト名が解決できない際に問題が発生するのを防ぐため、各 Base Unit の DHCP サーバーで IP アドレスを確保することを強く推奨します。

起動

ClickShare ネットワーク統合機能は複雑であるため、まずそれを有効化する必要があります。アクティブ化するには、[ネットワーク統合 (Network integration)] に移動し、[構成の変更 (Change configuration)] ボタンをクリックします。



企業ネットワーク統合機能は「現状のまま」で提供されているため、Barco または Barco の代理人はいかなる責任または義務も負いません。Barco は、この機能がお客様の企業ネットワークで必ず作動することを保証するものではありません。企業ネットワーク統合を介して共有する際の信頼性、品質、安定性は、お客様のネットワークインフラストラクチャによって異なります。

- 👤 カスタマイズ
- 🗨️ ディスプレイと音声
- 📶 Wi-Fiとネットワーク
- WIFI設定
- LAN設定
- 🌐 ネットワーク統合
- サービス
- 🛡️ セキュリティー
- ⚙️ システム
- 🔄 サポート&アップデート

基本設定をアップデートするには、[ClickShare 設定 ウィザードへようこそ](#) を実行します

📶 ネットワーク統合

社内ネットワークへの統合機能を使用すると、お客様の社内ネットワークに ClickShare ベースユニットを統合し、その専用ワイヤレスアクセスポイントを無効にできます。

この機能を有効にする前に、社内のネットワーク構成と、ClickShare のネットワーク統合機能と互換性があるかどうかを確認してください。ClickShare の社内ネットワーク統合機能をロールアウトするには、IT 部署、特にネットワークのインフラストラクチャと認証プロトコルの設定担当者が作業に関わる必要があります。サポートされているセキュリティプロトコルと導入方法に関する詳細情報は、[ホワイトペーパー](#)をお読みください。

社内ネットワーク統合機能は「現状のまま」で提供され、Barco またはその代理人はいかなる責任や義務 (サポートも含む) も生じません。Barco は統合する社内ネットワークの特長的な機能を保証することはできません。社内ネットワーク統合機能を使用して共有した時の信頼性、品質、および安定性はお客様のネットワークインフラストラクチャによって異なります。

現在の設定

ネットワーク統合は現在無効になっています。

ネットワーク統合のセットアップ...

画像 6-26
ネットワーク統合、アクティブ化

設定ウィザードが起動します。

アプリ

企業ネットワークに接続されているモバイル機器がネットワーク上の任意の Base Unit とコンテンツを共有できるようにするには、コンフィグレータの *Wi-Fi とネットワーク* > サービス ページで有効にする必要があります。適切な サービス が有効になっており、LAN で有効にするボックスにチェックが入っていることを確認します。



設定ウィザードの完了後は、すべての Button を再度ペアリングする必要があります。

6.14 ネットワーク統合、EAP-TLS セキュリティ モード

EAP-TLS について

EAP-TLS (トランスポート層セキュリティ) は、クライアントおよびサーバー間の相互認証を可能にする証明書に基づく EAP メソッドの 1 つです。サーバーおよびクライアント証明書を配布するための PKI (公開キー インフラストラクチャ) が必要です。一部の企業ではこれが大きな障害となり、その場合は代わりに EAP-TTLS および PEAP を利用します。規格では X.509 クライアントの証明書が厳格に求められているわけではありませんが、ClickShare を含むほとんどの実装ではそれが必須となっています。クライアント証明書をを使って実装する場合、EAP-TLS は最も安全な EAP メソッドの 1 つであると考えられています。PEAP および EAP-TTLS と比較した場合の唯一の小さなデメリットは、ユーザー ID が実際の TLS ハンドシェイクが行われる前に暗号化されずに送信されることです。EAP-TLS には、SCEP を使用することで、または証明書を手動でアップロードすることで対応しています。

EAP-TLS の使用方法

1. 構成にログインします。
2. [WiFi & Network (Wi-Fi とネットワーク)] → [Network integration (ネットワーク統合)] をクリックします。[Change configuration (構成の変更)] をクリックします。
3. [EAP-TLS] の横にあるラジオ Button を選択し、[Next (次へ)] をクリックします。

ClickShareネットワーク統合ウィザード

セキュリティモードを選択します。

- EAP-TLS
- EAP-TTLS
- PEAP
- WPA2-PSK
- 無効化(ビルトインWiFiを使用)

画像 6-27
ネットワーク統合、EAP-TLS を選択

EAP-TLS モードのウィンドウが開きます。

以下の 2 つの選択肢があります。

- SCEP を使用した自動調整
- クライアントおよび CA 証明書を手動で提供する

ClickShareネットワーク統合ウィザード

EAP-TLSモードを選択します。

- SCEP経由で自動登録
- 手動でクライアント証明書とCA証明書を提供します。

画像 6-28

SCEP の使用

[Auto enrollment via SCEP (SCEP を使用した自動登録)] の横にあるラジオ Button を選択し、[Next (次へ)] をクリックします。

簡易証明書登録プロトコル (SCEP) は、拡張可能な方法で証明書を発行および無効にすることができるプロトコルです。SCEP サポートにより、ClickShare Base Unit および Button の企業ネットワークへの統合がより迅速でスムーズになります。ほとんどの企業は Microsoft Windows Server およびそのアクティブ ディレクトリ (AD) を使用してユーザーおよび装置を管理しているため、当社の SCEP 実装は、Windows Server 2008 R2 および Windows Server 2012 の一部であるネットワーク デバイス登録サービス (NDES) で特に対象とされています。その他の SCEP サーバー実装は一切サポートされていません。

ClickShareネットワーク統合ウィザード

必要なデータを入力してください。

ドメイン:

SCEPサーバー:

SCEPユーザー名:

SCEPパスワード:

ID:

企業 SSID:

画像 6-29

NDES について

ネットワーク デバイス登録サービスは、Microsoft による SCEP プロトコルのサーバー実装です。SCEP を使って EAP-TLS を有効化する場合は、NDES が有効で、お使いの Windows Server 上で設定および稼働していることを確認してください。NDES の設定に関する詳細については、Microsoft の Web サイトにある⁴。SCEP はいわゆる「チャレンジパスワード」を使用して、登録要求の認証を行います。NDES の場合、このチャレンジをお使いのサーバー (http(s)://[お使いのサーバーのホスト名]/CertSrv/mscep_admin.) から取得できます。

セットアップ ウィザードに必要な認証情報を入力すると、このチャレンジが Base Unit により自動的にその Web ページから取得され、登録要求で使用されます。これによりプロセスが完全に自動化されます。

続行するために必要なデータ:

ドメイン	登録している企業ドメインは、Active Directory で定義されているものと一致している必要があります。
SCEP ServerIP/ホスト名	これは、NDES サービスが稼働しているネットワークにある Windows Server の IP またはホスト名です。インターネット情報サービス (IIS) は HTTP および HTTPS の両方をサポートしているため、この 2 つのうち使用するいずれかを含めてください。いずれかを含めない場合は、デフォルトの設定で HTTP が使用されます。 例: http://myserver or https://10.192.5.1 または server.mycompany.com (http を使用)
SCEP ユーザー名	これは、NDES にアクセスし、チャレンジ パスワードを要求するために必要な許可が与えられている、お使いの Active Directory のユーザーです。このためにユーザーは、CA 管理者グループに属す (スタンドアロン CA の場合) が、所定の証明書テンプレートで登録許可を得る必要があります。
SCEP パスワード	企業ネットワークで認証に使用している ID に呼応するパスワードです。Base Unit ごとに、それぞれの Button が同じ ID およびパスワードを使用して企業ネットワークに接続します。
ドメイン	登録している企業ドメインは、Active Directory で定義されているものと一致している必要があります。
ID	Active Directory のユーザー アカウント ID で、企業ネットワークに接続する際に ClickShare Button が使用します。EAP-TLS を使用する場合は、CA により発行されたクライアント証明書とこのユーザー アカウント間に必要なマッピングが存在することを確認してください。
企業 SSID	ClickShare Button が接続されることになる貴社ワイヤレス インフラストラクチャの SSID。

手動でアップロードされた証明書を使用する

[Provide certificates manually (証明書を手動で提供する)] の横にあるラジオ Button を選択し、[Next (次へ)] をクリックします。

現在の設定が SCEP をサポートしていなかったり、SCEP を使わずに EAP-TLS の相互認証のみを使用したりする場合は、必要な証明書を手動でアップロードすることもできます。

4. 「NDES ホワイト ペーパー: http://social.technet.microsoft.com/wiki/contents/articles/9063_network-device-enrollment-service-ndes-in-active-directory-certificate-services-ad-cs-en-us.aspx」を参照してください

ClickShareネットワーク統合ウィザード

必要なデータを入力してください。

ドメイン:

ID:

企業 SSID:

画像 6-30

続行するために必要なデータ:

ドメイン	登録している企業ドメインは、Active Directory で定義されているものと一致している必要があります。
ID	Active Directory のユーザー アカウント IDで、企業ネットワークに接続する際に ClickShare Button が使用します。EAP-TLS を使用する場合は、CA により発行されたクライアント証明書とこのユーザー アカウント間に必要なマッピングが存在することを確認してください。
企業 SSID	ClickShare Button が接続されることになる貴社ワイヤレス インフラストラクチャの SSID。

[Next (次へ)] をクリックすると、クライアント証明書をアップロードできます。

[Upload Client Certificate (クライアント証明書のアップロード)] をクリックします。

提供するクライアント証明書は、お使いのドメインの権威あるルート CA が署名し、[ID] フィールドで指定するユーザーにリンクすべきです。また、提供するクライアント証明書に秘密キーが含まれていることも確認してください。これは、TLS 接続を問題なく設定するために必要です。

ClickShare 以下の 2 つの形式のクライアント証明書をアップロードできます。

- PKCS#12 (.pfx) - 複数の暗号化オブジェクトを保存するためのアーカイブ ファイル形式。
- プライバシー強化メール (.pem) - 以下の 2 つのタグの間に保存された、Base64 でエンコードされた DER 証明書。
"-----BEGIN CERTIFICATE-----" 促されたならば "-----END CERTIFICATE-----"。



提供する PKCS#12 ファイルに必要な CA 証明書も含まれている場合は、CA 証明書を別途提供しなくてもよいように、Base Unit がそれを抽出して信頼チェーンを確認します。

CA 証明書

CA 証明書はお使いのドメインの権威あるルート CA の証明書で、EAP-TLS 接続の設定時に使用されます。ウィザードでは、Base Unit が Client および提供する CA 証明書間の信頼チェーンを確実に確認します。

ClickShare Base64 でコード化された DER 証明書を含めることができる一般的な .crt ファイル拡張子をサポートしています。



Button を企業ネットワークに接続する際に問題が発生した場合は、ClickShare Client ログを確認して Button からのフィードバックを確認します。このログは、Client 実行可能ファイルを開始する際に [Shift] キーを押したままにすると有効化されます。「EDSUSB Dongle Connection::mpParseDongleMessages」という行を検索します。エラーコードと問題の短い要約が記録されるはずですが、

6.15 ネットワーク統合、EAP-TTLS セキュリティ モード

EAP-TTLS について

EAP-TTLS (トンネル化トランスポート層セキュリティ) は、Juniper Networks 社による EAP 実装です。EAP-TLS と同程度強力な認証を提供しますが、それぞれのユーザーに対して証明書を発行する必要はありません。証明書の発行を受ける代わりに、認証サーバーが発行された証明書の役割を果たします。ユーザー認証はパスワードによって行われますが、そのパスワード資格情報は、サーバー証明書に基づいて確立された安全に暗号化されたトンネル内で送信されます。

ユーザー認証は、既に企業 LAN で使用されているのと同じセキュリティ データベースに対して行われます。たとえば、SQL または LDAP データベースやトークン システムなどです。EAP-TTLS は通常クライアント証明書なしで企業環境において実装されるため、クライアント証明書の使用はサポートされていません。ユーザーごとにクライアント証明書を使用する場合は、EAP-TLS を使用することを推奨します。

EAP-TTLS の使用方法

1. 構成にログインします。
2. [WiFi & Network (Wi-Fi とネットワーク)] → [Network integration (ネットワーク統合)] をクリックします。[Change configuration (構成の変更)] をクリックします。
3. [EAP-TTLS] の横にあるラジオ Button を選択し、[Next (次へ)] をクリックします。

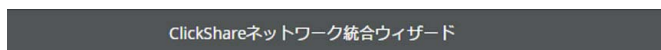


セキュリティモードを選択します。

- EAP-TLS
- EAP-TTLS
- PEAP
- WPA2-PSK
- 無効化(ビルトインWiFiを使用)

画像 6-31
ネットワーク統合、EAP-TTLS を選択

EAP-TTLS モードのウィンドウが開きます。



EAP-TTLS 認証のドメイン認証資格情報を入力してください。

ドメイン:

ID:

パスワード:

企業 SSID:

画像 6-32

続行するために必要なデータ:

ドメイン	登録している企業ドメインは、Active Directory で定義されているものと一致している必要があります。
ID	Active Directory のユーザー アカウント IDで、企業ネットワークに接続する際に ClickShare Button が使用します。
パスワード	企業ネットワークで認証に使用している ID に呼応するパスワードです。Base Unit ごとに、それぞれの Button が同じ ID およびパスワードを使用して企業ネットワークに接続します。
企業 SSID	ClickShare Button が接続されることになる貴社ワイヤレス インフラストラクチャの SSID。

[Next (次へ)] をクリックして、続行します。

Button を企業ネットワークに接続する際に問題が発生した場合は、ClickShare Client ログを確認して Button からのフィールドバックを確認します。このログは、Client 実行可能ファイルを開始する際に [Shift] キーを押したままにすると有効化されます。「EDSUSB DongleConnection::mpParseDongleMessages」という行を検索します。エラーコードと問題の短い要約が記録されるはずですが。

6.16 ネットワーク統合、PEAP セキュリティ モード

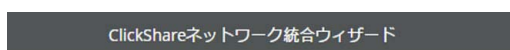
PEAP について

PEAP (保護された拡張認証プロトコル) は EAP 実装の 1 つで、Cisco Systems 社、Microsoft 社、および RSA Security 社が共同開発しました。サーバー CA 証明書を使ってセキュリティ保護された TLS トンネルを設定し、その後実際のユーザー認証がトンネル内で行われます。このように機能するため、ユーザーを認証しながら、PKI を使用する必要なく TLS のセキュリティを活用することが可能です。

トンネル内での認証に使用する実際のメソッドは、規格によって指定されていません。ただし本アプリケーション注記で PEAP について言及する際は、EAP-MSCHAPV2 を内部認証メソッドとして使用する PEAPv-0 を指します。これは、WPA および WPA2 規格において認可された 2 つの PEAP 実装の 1 つで、最も一般的で広く使用されている PEAP 実装です。

PEAP の使用方法

1. 構成にログインします。
2. [WiFi & Network (Wi-Fi とネットワーク)] → [Network integration (ネットワーク統合)] をクリックします。[Change configuration (構成の変更)] をクリックします。
3. [PEAP] の横にあるラジオ Button を選択し、[Next (次へ)] をクリックします。



セキュリティモードを選択します。

- EAP-TLS
- EAP-TTLS
- PEAP
- WPA2-PSK
- 無効化(ビルトインWiFiを使用)

画像 6-33
ネットワーク統合、PEAP を選択

PEAP モードでウィンドウが開きます。



PEAP 認証のドメイン認証資格情報を入力してください。

ドメイン:	<input type="text"/>
ID:	<input type="text"/>
パスワード:	<input type="text"/>
企業 SSID:	<input type="text"/>

画像 6-34

続行するために必要なデータ:

ドメイン	登録している企業ドメインは、Active Directory で定義されているものと一致している必要があります。
ID	Active Directory のユーザー アカウント ID で、企業ネットワークに接続する際に ClickShare Button が使用します。

6. CSE-800 構成

パスワード	企業ネットワークで認証に使用している ID に呼応するパスワードです。Base Unit ごとに、それぞれの Button が同じ ID およびパスワードを使用して企業ネットワークに接続します。
企業 SSID	ClickShare Button が接続されることになる貴社ワイヤレス インフラストラクチャの SSID。

[Next (次へ)] をクリックして、続行します。

Button を企業ネットワークに接続する際に問題が発生した場合は、ClickShare Client ログを確認して Button からのフィードバックを確認します。このログは、Client 実行可能ファイルを開始する際に [Shift] キーを押したままにすると有効化されます。「EDSUSBDongleConnection::mpParseDongleMessages」という行を検索します。エラーコードと問題の短い要約が記録されるはずですが、

6.17 ネットワーク統合、WPA2-PSK セキュリティ モード

WPA2-PSK について

WPA2-PSK は個々のユーザーを区別することなく、ワイヤレス インフラストラクチャに接続するすべてのクライアントに対して 1 つのキーワード (PSK - 事前共有キー) を使用します。そのため、設定は非常に簡単です。接続後は、クライアントと AP (アクセス ポイント) 間で送信されるデータはすべて、256 ビット キーを使って暗号化されます。

WPA2-PSK の使用方法

- 構成にログインします。
- [WiFi & Network (Wi-Fi とネットワーク)] → [Network integration (ネットワーク統合)] をクリックします。[Change configuration (構成の変更)] をクリックします。
- [WPA2-PSK] の横にあるラジオ Button を選択し、[次へ] をクリックします。

ClickShareネットワーク統合ウィザード

セキュリティモードを選択します。

- EAP-TLS
- EAP-TTLS
- PEAP
- WPA2-PSK
- 無効化(ビルトインWiFiを使用)

画像 6-35
ネットワーク統合、WPA2-PSK を選択

WPA2-PSK モードのウィンドウが開きます。

続行するために必要なデータ:

ClickShareネットワーク統合ウィザード

アクセスポイントの詳細を入力してください。

企業 SSID:

パスワード:

画像 6-36

企業 SSID	ClickShare Button が接続されることになる貴社ワイヤレス インフラストラクチャの SSID。
パスワード (事前共有キー)	WPA2-PSK で使用されるキーにより、ワイヤレス インフラストラクチャへの認証が行われます。これは、64 桁の 16 進数が、8 ~ 63 字の印刷可能な ASCII 文字のいずれかです。

[Next (次へ)] をクリックして、続行します。

Button を企業ネットワークに接続する際に問題が発生した場合は、ClickShare Client ログを確認して Button からのフィードバックを確認します。このログは、Client 実行可能ファイルを開始する際に [Shift] キーを押したままにすると有効化されます。「EDSUSB DongleConnection::mpParseDongleMessages」という行を検索します。エラーコードと問題の短い要約が記録されるはずですが、

6.18 サービス、モバイル装置

ClickShare アプリ

この機能により、ClickShare アプリを使用しているモバイル装置と接続することで、Base Unit に接続できます。

デフォルトで有効化されています。Base Unit が企業ネットワークに統合されている場合は、ClickShare アプリのコンテンツ共有を無効化する必要があるかもしれません。

Airplay を介したストリーミング情報について

情報をストリーミングして ClickShare に表示するには、その前にお使いの装置を Base Unit のワイヤレスネットワークに接続する必要があります。その後、お使いの装置で AirPlay をアクティブ化します。AirPlay をアクティブ化する方法の詳細については、お使いの装置のユーザーガイドを参照してください。

Google Cast を介したストリーミングについて

情報をミラーして ClickShare に表示するには、その前にお使いの装置を Base Unit のワイヤレスネットワークに接続する必要があります。デバイスで Google Cast をアクティブ化すると、アクセスポイントの概要が与えられます。Google Cast の使用についての詳細は、デバイスのユーザーガイドを参照してください。

Google Cast は、パスコードに対応していません。



Google Cast は、Base Unit の時計が正しく設定されている場合のみ使用可能です。正しく設定されていない場合、Google Cast は Base Unit と接続できません。

表示方法

- 構成 (Configurator) にログインします。
- [Wi-Fi とネットワーク (WiFi & Network)] → [サービス (Services)] をクリックします。

画像 6-37
サービス、モバイル装置

- 有線イーサネット接続を介したサービスを有効にするには、LAN で有効にするの前のボックスにチェックを入れます。

ClickShare アプリを使用したコンテンツ共有を許可するには、[ClickShare アプリを使用して共有 (Sharing via ClickShare app)] の前にあるチェックボックスをオンにします。
 AirPlay を使用したストリーミングを許可するには、[AirPlay を使用してストリーミング (Streaming via AirPlay)] の前にあるチェックボックスをオンにします。
 Google Cast を使用したストリーミングを許可するには、[Google Cast を使用してストリーミング (Streaming via Google Cast)] の前にあるチェックボックスをオンにします。

4. パスコードを追加するには、ドロップダウンボックスをクリックして希望のパスコードを選択します (Google Cast 以外用)。以下のオプションが利用できます:
 - パスコードなし
 - 数字のパスコード
5. [変更の保存 (Save changes)] をクリックしてこの設定を適用します。
 モバイル装置を介したアクセスが有効になります。

6.19 サービス、ClickShare API、API を使用したリモート コントロール

API 設定について

API は有効化または無効化できます。つまり、外部装置からユニットにアクセスしたり、そのアクセスをブロックしたりすることが可能です。

この機能は、デフォルトで有効化されています。

表示方法

1. 構成にログインします。
2. [WiFi & Network (Wi-Fi とネットワーク)] → [Services (サービス)] をクリックします。



画像 6-38
ClickShare API 設定

3. この機能を有効化するには、[Remote control via API (API を使用してリモート コントロールする)] の前にあるチェックボックスをオンにします。
 チェックボックスをオンにする: API を使用したリモート コントロールが可能になります。パスワードを使ってアクセスを保護できます。
 チェックボックスをオフにする: API を使用したリモート コントロールは利用できません。

6.20 CMGS サーバー統合

CMGS サーバー統合について

CSE-800 Base Unit は、会社のネットワーク内に統合することができ、ユーザーの権限に応じて CMGS サーバーアプリケーションを通して制御できます。

統合方法

- 構成 (Configurator) にログインします。
- [Wi-Fi とネットワーク (WiFi & Network)] → [サービス (Services)] をクリックします。



画像 6-39
CMGS サーバー統合

- CMGS サーバー入力フィールドをクリックし、CMGS サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
- [変更の保存 (Save changes)] をクリックして設定を適用します。

6.21 セキュリティ、互換性

Button の互換性について

証明書付きボタンの場合 (R9861500D1): この機能により、証明書付きの Button を証明書のないデバイスとペアリングできません (CSC-1 および CSM-1)。

証明書のないButtonの場合 (R9861006D01): この機能により、証明書のないButtonを証明書付きベースユニットとペアリングできます (CSE-200 および CSE-800)。

以下を考慮してください:

- CSE-200の場合、ソフトウェアリリース V1.3.0 以降が必要です。CSE-800の場合、ソフトウェアリリース 1.1 以降が必要です。
- これらの Button は、セキュリティレベルが 1 に設定されている場合のみペアリングできます。セキュリティレベルを 2 または 3 に変更すると、警告メッセージが表示されます: 「この変更を行うためには、Button セキュリティ設定のアップデートが必要です。Button と Base Unit を再ペアリングし、セキュリティ設定の変更を移してください。

有効にする方法

- 構成にログインします。
- [Security (セキュリティ)] → [Compatibility (互換性)] をクリックします。



画像 6-40
互換性

- [Allow Buttons with certificate... (証明書付きの Button を使用可能にする...)] の横にあるチェックボックスをオンにします。
 チェックボックスをオンにする: 証明書のない装置とのペアリングが可能になります。
 チェックボックスをオフにする: 証明書のない装置とのペアリングはできません。
- [Allow Buttons with certificate... (証明書なしの Button を使用可能にする...)] の横にあるチェックボックスをオンにします
 チェックボックスをオンにする: Base Unit とのペアリングが可能になります。ペアリングは、セキュリティレベルが 1 に設定されている場合のみ実行できます。チェックボックスをオンにした際に、より高いセキュリティレベルが設定されていると、「変更により、セキュリティレベルは 1 に下げられました」というメッセージが表示されます。
 チェックボックスをオフにする: 本デバイスとのペアリングはできません。
- [Save changes (変更の保存)] をクリックして設定を適用します。



互換性の設定を変更する場合、この Base Unit で使用している Button を再度ペアリングする必要があります。

6.22 セキュリティ、セキュリティレベル

セキュリティレベルについて

ClickShare システムを使用する場合は、セキュリティレベルを設定できます。デフォルトで、レベル 1 がアクティブ化されています。セキュリティレベル事前に定義された一連の設定で、レベルが選択されると自動的に設定されます。

レベル 1: 任意の組織における通常の日常業務のサポートを提供します。

レベル 1 標準のセキュリティオプションと、オーディオおよびビデオデータの暗号化が含まれています

標準のセキュリティオプションは次のとおりです。

- モバイルアプリと Button の PIN コードの有効化、
- ログイン管理による HTTPS 経由の WebUI アクセス、
- ワイヤレス WebUI アクセスなし、
- Wi-Fi ネットワークの SSID 非表示。

レベル 2: このレベルは、セキュリティの問題に対してより敏感な組織に適したより高度なセキュリティを提供します。

レベル2はレベル1のセキュリティとモバイルデバイス用の必須のPINコードが含まれています。モバイルアプリ、Button、Buttonの英数字PINコードには、ペア設定のための証明書が必要です。

レベル3：このレベルは、セキュリティに関して非常に厳しい要件を持つ組織で使用されます。

レベル3には、モバイルアプリケーションのブロックが含まれ、ファームウェアのダウングレードが不可能で、コンフィギュレータ (WebUI) へのワイヤレスアクセスがないレベル2セキュリティが含まれています。

セキュリティレベルが設定されている場合、そのセキュリティレベルに含まれる個々のアイテムは、コンフィギュレータの個々のアイテムを使用して変更できます。個々のアイテムを変更すると、それに従ってセキュリティレベル表示が調整されますが、その他の設定が自動的に変更されることはありません。

たとえば、レベル3を設定してモバイルアプリのブロックを有効に変更すると、セキュリティレベル表示がレベル2に変化します。しかし、レベル3の他のすべてのアイテムはレベル3の状態にとどまります。



個々の変更をリセットするには、目的のセキュリティレベルを選択して [Save changes (変更の保存)] をクリックします。



セキュリティレベルを変更するには、Buttonの修復が必要です。

セキュリティレベルを1から上位に変更すると、証明書付きButton (R9861006D01) の互換性設定が変更されず、セキュリティレベルが1よりも高いと、再ペア化ができません。

セキュリティレベルの設定方法

- 構成にログインします。
- [Security (セキュリティ)] → [Security Level (セキュリティレベル)] をクリックします。

カスタマイズ

ディスプレイと音声

Wi-Fiとネットワーク

セキュリティ

互換性

セキュリティレベル

パスワード

システム

サポート&アップデート

基本設定をアップデートするには、ClickShare 設定ウィザードへようこそを 実行します

BARCO

セキュリティレベル

	1	2	3
モバイルアプリとボタンのためのパスコードを有効化します。	✓	✓	✓
ウェブUI: HTTPS、ログイン管理、ワイヤレスアクセスの無効化	✓	✓	✓
Wi-FiネットワークのSSIDを非表示にします。	✓	✓	✓
ボタンは、ペアリングのためにハードウェア証明書が必要です。		✓	✓
モバイルアプリとサービスの必須パスコード ²		✓	対応していません。
モバイルアプリとサービスの英数字のパスコード ²		✓	対応していません。
モバイルアプリとサービスがブロックされています。			✓
ファームウェアのダウングレードはできません。			✓
ウェブUIへのワイヤレスアクセスがありません。			✓

注:

¹セキュリティレベルを変更すると、ボタンのペアリングを再度行う必要があります。

² Google Castはパスコードをサポートしていません。「サービス」セクションからGoogle Castを無効化できます。(ここをクリック)

画像 6-41
セキュリティレベル

- 目的のセキュリティレベルアイコンを選択します。
- [Save changes (変更の保存)] をクリックして設定を適用します。

6.23 セキュリティ、パスワード

パスワードについて

構成 (WebUI) にアクセスするには、ユーザー名とパスワードが必要です。パスワードはいつでも変更できます。これにより、[ClickShare Configuration (ClickShare 構成)] 設定が保護されます。

ClickShare API アクセスはパスワードで保護されています。パスワードは構成で変更できます。

WebUI パスワードの変更

1. 構成にログインします。
2. [Security (セキュリティ)] → [Passwords (パスワード)] をクリックします。

画像 6-42
パスワード

3. [WebUIPassword (WebUI パスワード)] ペインの [Old password (古いパスワード)] の横にある入力フィールドをクリックし、古いパスワードを入力します。
4. [New password (新しいパスワード)] の横にある入力フィールドをクリックし、新しいパスワードを入力します。
5. [Confirm password (パスワードの確認)] の横にある入力フィールドをクリックし、新しいパスワードを再度入力します。
6. [Save changes (変更の保存)] をクリックして設定を適用します。

ClickShare API パスワードの変更

1. 構成にログインします。
2. [Security (セキュリティ)] → [Passwords (パスワード)] をクリックします。
3. [ClickShareAPI Password (ClickShareAPI パスワード)] ペインの [New password (新しいパスワード)] の横にある入力フィールドをクリックし、新しいパスワードを入力します。
4. [Confirm password (パスワードの確認)] の横にある入力フィールドをクリックし、新しいパスワードを再度入力します。
5. [Save changes (変更の保存)] をクリックして設定を適用します。

6.24 ステータス情報、Base Unit

ステータス情報

以下の情報を確認できます：

- モデル情報、モデル名、および部品番号
- 製造番号
- ファームウェア バージョン
- 最初の使用日時
- 最後の使用日時
- 現在の稼働時間: 最後のスタートアップからの時間
- 合計稼働時間: 最初のスタートアップからの使用時間
- 一般的なステータス

Base Unit の再起動

1. 構成にログインします。
2. [Support (サポート)] → [Base Unit Status (Base Unit のステータス)] をクリックします。

The screenshot displays the 'ベースユニットのステータス' (Base Unit Status) page. On the left is a navigation menu with options like 'カスタマイズ', 'ディスプレイと音声', 'Wi-Fiとネットワーク', 'セキュリティ', 'システム', and 'サポート&アップデート'. The 'システム' menu is selected, and 'ベースユニットのステータス' is highlighted. The main content area shows the following information:

モデル:	CSE-200 (R9861520WW)
製造番号:	1871900030
ファームウェアのバージョン:	01.03.00.0029
使用開始日時:	2016-03-22T18:56:02
最後の使用日時:	
今回の稼働時間:	4 日, 23 時間, 24 分, 17 秒
使用開始から現在までの稼働時間:	2 月, 3 週, 5 時間, 49 分, 44 秒
全体的なステータス:	すべてのプロセスは実行中です

At the bottom of the main content area, there is a button labeled 'ベースユニットの再起動' (Restart Base Unit).

画像 6-43

3. Base Unit を再起動するには、[Restart Base Unit (Base Unit の再起動)] をクリックします。
再起動中は、ClickShare システムの再起動メッセージが進行状況バーと共に表示されます。
再起動後は、再度ログインする必要があります。

6.25 日時の設定、手動

[Date & Time (日時)] 設定について

日時は、タイムゾーン表示または 1 台以上の NTP サーバーを使って手動で設定できます。

設定方法

1. 構成にログインします。
2. [System (システム)] → [Date & Time (日時)] をクリックします。

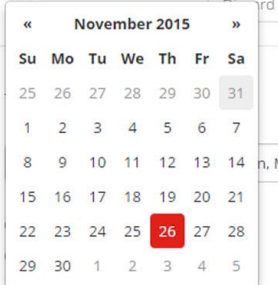


画像 6-44
手動による日時の上アップデート

現在の時間が [Currenttime (現在の時間)] の横に表示されます。

3. タイムゾーンを選択します。[Time zone (タイムゾーン)] の横にあるドロップダウンボックスをクリックし、該当するタイムゾーンを選択します。
4. [Set time and date manually (手動で日時を設定する)] の前にあるラジオボタンをオンにします。
5. 日付を変更する場合は、[Date (日付)] の横にある入力フィールドをクリックします。カレンダーウィンドウが開きます。現在の日付が赤色の背景付きで表示されます。

Time



画像 6-45
日付の選択

6. 月を変更するには、月の横にある左向きまたは右向きの矢印を目的の年および月が表示されるまでクリックします。日を設定するには、数字フィールドの数字をクリックします。
7. 時間を変更する場合は、[Time (時間)] の横にある入力フィールドをクリックします。3つのスクロールカウンターが表示されたウィンドウが開きます。



画像 6-46
時間設定

8. 各スクロールカウンターの上下矢印を正しい時、分、および秒が表示されるまでクリックします。
9. [Save changes (変更の保存)] をクリックして設定を適用します。

6.26 日時の設定、タイム サーバー

NTP サーバーの使用について

クロックは外部タイム サーバーと継続的に同期化され、ずれはミリ秒単位です。その他のタイム サーバーを追加できます。タイム サーバーとの同期を行わない限り、ステータスは無効と表示されます。

設定方法

- 構成にログインします。
- [System (システム)] → [Date & Time (日時)] をクリックします。



画像 6-47
タイム サーバーの設定

現在の時間が [Currenttime (現在の時間)] の横に表示されます。

- [Use NTP (NTP を使用する)] の横にあるラジオ ボタンをオンにします。
- [NTP servers (NTP サーバー)] の横に NTP サーバーのアドレスを入力します。IP アドレスまたはサーバー名を入力します。
注記: 複数のサーバー (最大 5 台) を追加できます。追加する場合は、それぞれをカンマで区切ります。
- [Save changes (変更の保存)] をクリックして設定を適用します。

NTP サーバーとの同期が実行されます。ステータス フィールドに進行状況が表示されます。

6.27 省電力設定

スタンバイについて

Standby after (minutes) (スタンバイ開始 (分後)): スタンバイ タイムアウト中にクライアントの接続が検出されない場合、Base Unit は選択したスタンバイ モードになります。

デフォルト設定: スタンバイ開始: 10 分後、Base Unit が ECO スタンバイ モードになります。

ECO モード

Base Unit が ECO スタンバイ モードになると、HDMI 出力信号が無効化され、低電力モードになります。Base Unit の LED は白色で点滅し、ECO スタンバイ モードになっていることを示します。

ECO スタンバイの消費電力: 2.6W

Base Unit の ECO スタンバイ モードは、以下のいずれかの操作により解除されます。

- Base Unit に接続された Button を使用する
- Base Unit のスタンバイ ボタンを押す
- ネットワークで「スリープ解除」信号が送信される
- Base Unit の USB ポートで Button をペアリングする
- ディスプレイ ホット プラグを検出する

スタンバイモード

Base Unit がスタンバイモードになると、Wi-Fi アクセスポイントおよび LAN 接続を含むすべてのプロセスがシャットダウンします。

Base Unit のプライマリLANインタフェースに接続されたアクティブネットワークがあり、社内ネットワークが有効になっている場合、プライマリLANインタフェースはアクティブのまま、Base Unit のLEDは白いライトが点滅してスタンバイモードであることを示します。それ以外の場合は、Base Unit のLEDが暗くなります。

ディープスタンバイの消費電力: 0.4W

Base Unit のディープスタンバイモードは、Base Unit のスタンバイボタンを押した場合にのみ解除されます。

プライマリLANインターフェイスがアクティブのままの場合：Base Unit のプライマリLANインターフェイスに接続しているHDMI入力ホットプラグまたはボタンまたはアプリの検出。



画像 6-48
省電力設定

ディスプレイのタイムアウトおよびスタンバイモードの変更方法

- 構成にログインします。
- [System (システム)] → [Energy Savers (省電力設定)] をクリックします。
- ディスプレイ タイムアウトを設定するには、目的のスタンバイ タイムアウトになるまで、スライダーを左右に移動します。
- スタンバイモードを選択するには、[Eco standby (Eco スタンバイ)] または [Deep standby (ディープスタンバイ)] の前にあるラジオ ボタンをオンにします。

6.28 Button

Button について

Button のソフトウェアは、Wi-Fi で更新できます。Base Unit で使用されている Button は、すべて [Button] 一覧に表示されます。この一覧には、状態、シグナルの強さ、製造番号、ファームウェアのバージョン、接続数、および前回の接続日時が表示されます。

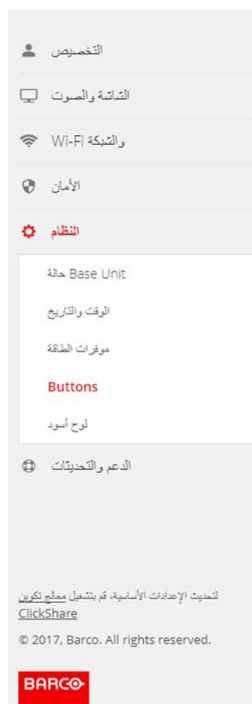


画像 6-49
Button

Button

すべて選択 選択しない 削除

選択	信号	製造番号	MACアドレス	ア－ティクルコード	ファームウェア	接続	前回の接続
<input type="checkbox"/>	X	1871112094	00:23:A7:45:3F:74	R9861500D01	02.08.00.0012	176	2017-12-19T17:32:02
<input type="checkbox"/>	X	1871210608	00:23:A7:A4:EF:9C	R9861500D01	02.08.00.0012	517	2017-12-18T13:50:39
<input type="checkbox"/>	X	1871210551	00:23:A7:B1:17:90	R9861500D01	02.08.00.0012	245	2017-12-18T09:59:56
<input type="checkbox"/>	X	1871210330	00:23:A7:B0:D7:84	R9861500D01	02.08.00.develop-0164	562	2017-11-23T11:02:46
<input type="checkbox"/>	X	9714170601	00:23:A7:3B:20:2E	R9861006D01	02.08.00.develop-0164	1	2017-11-23T10:55:50
<input type="checkbox"/>	X	1871112453	00:23:A7:96:96:C0	R9861500D01	02.08.00.develop-0164	5	2017-11-23T10:48:11
<input type="checkbox"/>	X	1871015311	00:23:A7:47:08:A8	R9861500D01	02.07.01.0047	64	2017-10-02T13:41:34
<input type="checkbox"/>	X	1871210792	00:23:A7:A5:7A:30	R9861500D01	02.07.01.0047	468	2017-09-14T10:01:10



画像 6-50
Button

Buttons

تحديد الكل بلا تحديد إزالة

تحديد	الإشارة	الرقم التسلسلي	عنوان MAC	رمز النقل	البرنامج الثابت	الاتصالات	آخر اتصال
<input type="checkbox"/>	X	1871112094	00:23:A7:45:3F:74	R9861500D01	02.08.00.0012	176	2017-12-19T17:32:02
<input type="checkbox"/>	X	1871210608	00:23:A7:A4:EF:9C	R9861500D01	02.08.00.0012	517	2017-12-18T13:50:39
<input type="checkbox"/>	X	1871210551	00:23:A7:B1:17:90	R9861500D01	02.08.00.0012	245	2017-12-18T09:59:56
<input type="checkbox"/>	X	1871210330	00:23:A7:B0:D7:84	R9861500D01	02.08.00.develop-0164	562	2017-11-23T11:02:46
<input type="checkbox"/>	X	9714170601	00:23:A7:3B:20:2E	R9861006D01	02.08.00.develop-0164	1	2017-11-23T10:55:50
<input type="checkbox"/>	X	1871112453	00:23:A7:96:96:C0	R9861500D01	02.08.00.develop-0164	5	2017-11-23T10:48:11
<input type="checkbox"/>	X	1871015311	00:23:A7:47:08:A8	R9861500D01	02.07.01.0047	64	2017-10-02T13:41:34
<input type="checkbox"/>	X	1871210792	00:23:A7:A5:7A:30	R9861500D01	02.07.01.0047	468	2017-09-14T10:01:10
<input type="checkbox"/>	X	1871210791	00:23:A7:B0:A6:2C	R9861500D01	02.07.01.0047	350	2017-09-04T16:16:47
<input type="checkbox"/>	X	1871266454	00:23:A7:A2:DB:BC	R9861500D01	02.05.04.0073	1	2017-02-23T14:01:46

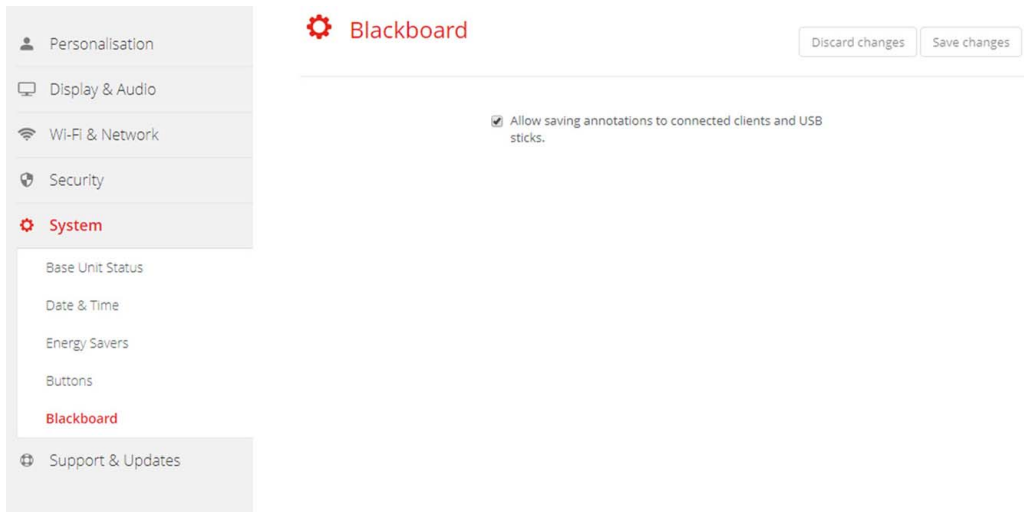
6.29 黒板

ブラックボードについて

ブラックボードからの情報の保存は、有効または無効にすることができます。有効にすると、情報は、接続されているすべての Buttons のハードディスクと Base Unit に接続された USB スティックに保存されます。

ブラックボード設定の変更方法

1. 構成 (Configurator) にログインします。
2. システム → ブラックボードをクリックします。



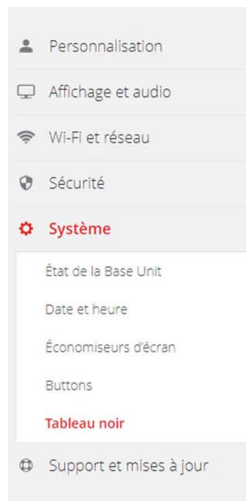
画像 6-51
注釈の保存



画像 6-52
注釈の保存



画像 6-53
注釈の保存



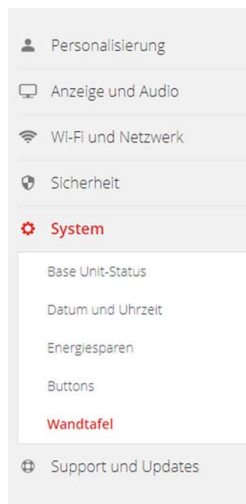
画像 6-54
注釈の保存

Tableau noir

Annuler les modifications

Enregistrer les modifications

- Autoriser l'enregistrement des annotations sur les clients et clés USB connectées.



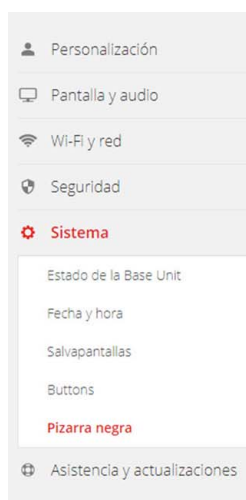
画像 6-55
注釈の保存

Wandtafel

Änderungen verwerfen

Änderungen speichern

- Lassen Sie das Speichern von Anmerkungen auf den verbundenen Clients und USB-Sticks zu.



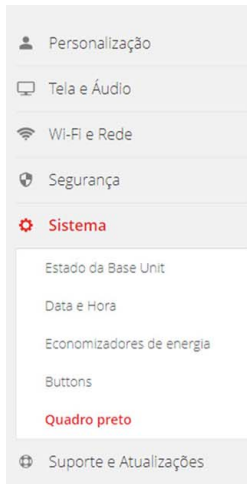
画像 6-56
注釈の保存

Pizarra negra

Descartar cambios

Guardar cambios

- Permita que se guarden anotaciones en los clientes conectados y en las memorias USB.

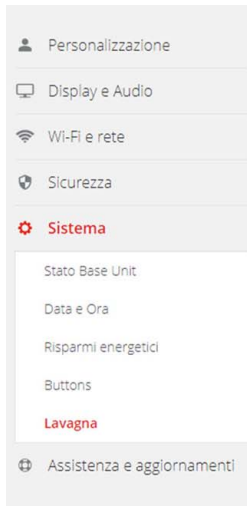


画像 6-57
注册の保存

Quadro preto

Eliminar mudanças Guardar mudanças

Permite guardar anotações em clientes ligados e memórias USB.

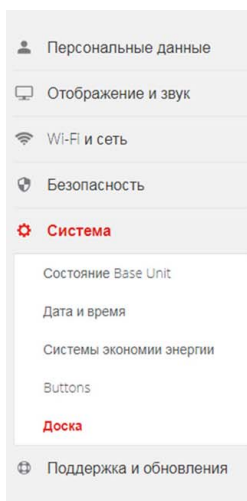


画像 6-58
注册の保存

Lavagna

Annulla modifiche Salva modifiche

Consentire il salvataggio delle note ai client connessi e alle chiavette USB.



画像 6-59
注册の保存

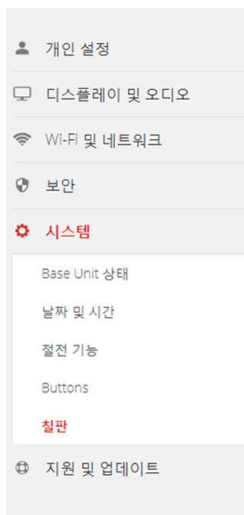
Доска

Отменить изменения Сохранить изменения

Разрешение сохранения аннотаций на подключенных клиентах и USB-дисках.



画像 6-60
注册の保存



画像 6-61
注册の保存



画像 6-62
注册の保存



- 接続されたクライアントやUSBスティックへの注册の保存を有効にするの前にあるチェックボックスにチェックを入れるかチェックを外します。

チェックを入れる：ブラックボードの注釈を保存できます。

チェックを外す：ブラックボードへの注釈は保存できません。

6.30 ファームウェア更新

ソフトウェア更新について

Base Unit ソフトウェアは、Web インターフェイスを使って更新できます。ソフトウェアの最新バージョンは Barco の Web サイトで入手できます。



画像 6-63
ファームウェア更新

自動ファームウェア更新について

自動更新の設定には 3 つの方法があります：

- 自動: システムは自動的にファームウェアの更新を検出し、使用されていないときにインストールします。
- 通知: システムはファームウェアの更新を自動的に検出し、Web インターフェイスのダッシュボードおよびファームウェアページで通知します。更新は、サポート&アップデート > ファームウェアページで開始します。
- オフ: システムはファームウェアの更新を検出せず、通知もしません。

手動ファームウェア更新

1. ソフトウェアの最新バージョンを Barco の Web サイトからダウンロードします。
2. 構成 (Configurator) にログインします。
3. [サポートと更新 (Support & Updates)] → [ファームウェア (Firmware)] をクリックします。
4. ファームウェアのバージョンをアップロードするには、[ファームウェアのアップロード... (Upload firmware...)] をクリックします。
参照のためのウィンドウが開きます。
5. 新しいソフトウェアが格納されたファイルを参照し、[開く (Open)] をクリックするとアップロードが開始されます。
注記: このファイルは .enc ファイルです。Barco の Web サイトからダウンロードしたファイルを解凍しなければならない場合もあります。
注記: Base Unit ソフトウェアを更新するには、数分かかります。処理状況は会議室のディスプレイに表示されます。
Base Unit ソフトウェアが更新されます。



Base Unit でファームウェアのダウンロードが必要な場合、ファームウェアのダウングレードを許可するの
前にあるチェックボックスをオンにします。

6.31 サポートとアップデート、トラブルシューティング、ログ設定

ログ作成について

Button および Base Unit のログデータは、Base Unit のログファイルに保存されています。これらのログファイルには、デバッグ情報が含まれていることがあります。また、ローカルコンピューターにダウンロードして、Base Unit でクリアすることができます。デバッグのログが網羅するのは、上書きされるまでの数時間です。そのため、作成されたログは、すぐにダウンロードしてシステムの問題を発見することが重要です。

使用方法

1. 構成にログインします。
2. [Support & Updates (サポートとアップデート)] → [Troubleshoot (トラブルシューティング)] をクリックします。



画像 6-64
トラブルシューティング、ログ作成

3. デバッグのログを作成するには、[Enable debug logging (デバッグのログ作成を有効にする)] の横にあるチェックボックスをオンにします。
4. 報告する問題を再現します。
5. 現在のログファイルをダウンロードするには、[Download logs (ログのダウンロード)] をクリックします。
6. 現在のログファイルをクリアするには、[Clear logs (ログの消去)] をクリックします。
7. ClickShare クライアント (6) によるログ作成を有効化するには:
 - Launcher サービスが実行されている場合は、Button を PC に接続している間、ログ作成が開始されるまで Shift キーを押したままにします。
 - Launcher サービスが実行されていない場合は、Shift キーを押したまま ClickShare アプリケーションをダブルクリックします。

システムトレイに以下のメッセージが表示されます:



画像 6-65
クライアントログ作成

6.32 工場出荷時のデフォルト

デフォルト設定について

ClickShare Base Unit は工場出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。

以下の設定がデフォルトです:

- 会議室の識別情報はクリアされています。
- 言語は英語に設定されています。
- カスタム壁紙は削除され、デフォルトの壁紙が復元されます。
- スタンバイ タイマーは 10 分にリセットされます。
- ホスト名および SSID は「*clickshare-製造番号*」に設定されます。
- SSID はブロードキャストされます。
- WiFi パスワードは「*clickshare*」にリセットされます。
- デフォルトの WiFi チャンネルは周波数 5 GHz、チャンネル 36 の設定に戻ります。
- アップデート履歴はクリアされます。
- 関連 Button の表はクリアされます。
- 管理者パスワードは「*admin*」にリセットされます。
- デバッグのログ作成およびリモートログ作成は無効になります。



工場出荷時のデフォルトに戻した後は、この Base Unit で使用している Button を再度ペアリングする必要があります。

工場出荷時のデフォルト設定を復元するには

1. 構成にログインします。
2. [Support & Updates (サポートとアップデート)] → [Troubleshoot (トラブルシューティング)] をクリックします。



画像 6-66
トラブルシューティング、工場出荷時のデフォルト

3. [Reset to factory defaults (工場出荷時のデフォルトにリセット)] をクリックします。

以下のメッセージが表示されます。「This action will remove all settings of the Base Unit and replace them with the default settings. Are you sure you want to continue? (このアクションにより、Base Unitのすべての設定が削除され、デフォルトの設定が復元されます。操作を実行してもよろしいですか?)」

4. 操作を実行するには [Yes, remove all settings (はい、すべての設定を削除します)] をクリックします。実行しない場合は [No, I changed my mind (いいえ、操作を実行しないでください)] をクリックします。

[はい] をクリックすると、システムの再起動が開始されます。



別の方法:Base Unit は、リセット ボタンを押しながら電源ケーブルを差し込んでも、工場出荷時のデフォルトに戻すことができます。

7. ソフトウェア アップデート

7.1 ソフトウェア 更新

ソフトウェア 更新について

Base Unit ソフトウェアを更新するには、以下の 2 つの方法があります。

- 構成を使用する (詳しくは、74 ページ、ファームウェア更新 をご参照ください。を参照)。
- ソフトウェアを USB スティックにコピーする

Base Unit ソフトウェアを USB スティックにコピーして更新するには

1. ソフトウェアの最新バージョンを Barco の Web サイト「www.barco.com/clickshare」からダウンロードします。[ClickShare 製品ページ] をクリックし、[ダウンロード (Downloads)] タブに移動します。
2. zip ファイルを解凍します。
3. ENC ファイルを USB スティックにコピーします。
同じスティックで複数のデバイスタイプに対して複数のファームウェアを入れることができます。
4. USB スティックを Base Unit の前面にある USB ポートに挿入します。
5. 会議室のスクリーンに表示される指示に従ってください。
6. プロセスが終了したというメッセージがスクリーンに表示されたら、USB スティックを取り外します。
Base Unit が再起動します。

8. トラブルシューティング

8.1 トラブルシューティング一覧

問題解決

問題	原因	解決策
会議室のディスプレイに表示される画像の質がよいくない	Base Unit およびディスプレイ間のケーブルの品質または長さ、あるいはその接続	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルを交換してください。 別のケーブルを使用してください。
	ディスプレイの解像度が適切でない システムは平均的なラップトップの解像度 (3 メガピクセル) を処理できません。ただし、会議室のディスプレイで拡大または縮小が行われると、アーチファクトが発生する原因となる場合があります。	Web インターフェイスで解像度を変更し、会議室のディスプレイのネイティブ解像度と一致させてください。
ワイヤレス接続状態がよいくない。Button から Base Unit への接続が頻繁に切断される。	ワイヤレスの輻輳状態	<ul style="list-style-type: none"> WiFi スキャナーを使って空きワイヤレスチャネルを探し、Web インターフェイスでそれを選択してください。この作業には、市販されているツールおよび inSSIDer や Xirrus などの無料オンラインツールを使用できます。「WiFi 設定」を参照してください。
	信号の届く距離が短い	<ul style="list-style-type: none"> Base Unit を会議室テーブルの近くに置いてください。 Base Unit の背面にあるアンテナの向きを変えてください。 Button および Base Unit 間にある障害物をできるだけ取り除くか、制限してください。
Web インターフェイスにアクセスできない	ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> 別のブラウザ (バージョン) を使用してください。 ブラウザの設定を確認してください。
	接続できない	<ul style="list-style-type: none"> Web インターフェイスにアクセスするには 3 つの方法があります。説明書の該当する章を参照してください。 プロキシ設定を確認してください。
Button をラップトップに挿入しても CSE-800 ドライブが認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> ドライブが自動更新されていない Windows がすでに予約済みのドライブ文字に ClickShare ドライブを割り当てようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ラップトップの表示を更新してください。 Microsoft Windows の「ディスクの管理」を使用して、空きドライブに割り当ててください。
	ラップトップの USB ポートの接続がよいくない	<ul style="list-style-type: none"> USB ポートに再度接続してください。 別の USB ポートを使ってみてください。 ラップトップを再起動してください。

8. トラブルシューティング

問題	原因	解決策
	<ul style="list-style-type: none"> 一部の USB デバイスが、会社のポリシーによりブロックされている。 ラップトップの USB ポートの設定により、バッテリー使用時に使える USB デバイスがハイパワー USB デバイスに限定されている。 	可能な場合は、ラップトップの USB ポートポリシーを変更してください。
ビデオパフォーマンスが良くない	ラップトップのパフォーマンス	<ul style="list-style-type: none"> ラップトップの画面解像度を下げてください。 ビデオのハードウェアアクセラレーターを無効にしてください。 ビデオを表示する際、ディスプレイの一部のみを使用してください。 システムトレイの ClickShare アイコンを右クリックし、[キャプチャモード] をクリックして現在の設定を切り替えます。
	ワイヤレスの接続状態	「ワイヤレス接続状態が良くない」を参照してください。
ビデオが画面に表示されない	プレイヤーがオーバーレイを使用している	ビデオプレイヤーの基本設定でオーバーレイの使用を無効にしてください。
Windows の一部プログラムがディスプレイに表示されない	GPU におけるオーバーレイ、3D、またはハードウェアアクセラレーションの使用。	<ul style="list-style-type: none"> GPU でオーバーレイまたはハードウェアアクセラレーションを無効にしてください。 Windows 7 では Aero グラスを無効にしてください。 Base Unit ソフトウェアを最新バージョンにアップグレードしてください。
Windows 7 を使用していると、Windows Aero の配色に関する以下のメッセージが表示される: 「コンピュータのパフォーマンスが低下していることが検出されました。Windows Aero の画面の配色を実行する十分なリソースがないことが原因である可能性があります。パフォーマンスを上げるには...」	ClickShare は GPU からのリソースを使用します。Windows 7 では、他にも GPU からのリソースを使用する他のプログラムが実行されている場合、このメッセージが表示され、ラップトップのパフォーマンスを向上するために Aero を無効にするよう提案することがあります。	このメッセージを無視して [現在の画面の配色を使います] を選択しても問題ありません。
Button を押してもディスプレイに画面が表示されない	延長モード: あなたは9番目に接続しようとしています。他に接続している方は: <ul style="list-style-type: none"> 8つのボタンが、 7つのボタンおよび1つのHDMI接続。または、 6つのボタンと2つのHDMI接続 クローンモード: あなたは5番目に接続しようとしています。他に接続している方は: <ul style="list-style-type: none"> 4つのボタンが 3つのボタンおよび1つのHDMI接続。または、 2つのボタンと2つのHDMI接続 	全画面表示機能を使用するには、Button をクリックして 2 秒間押したままにしてください。
	ClickShareソフトウェアが稼働していない。	ClickShareドライブに移動してソフトウェアを実行します。
コンテンツがディスプレイから非表示になり、Button の LED が白色で点滅している	Base Unit への接続が失われています。	ClickShare が自動的に接続の復元を試みます。復元できない場合、Button の LED が赤色で点滅し始めます。 ラップトップから Button を取り外し、新しい Button を使用してみてください。

問題	原因	解決策
ディスプレイにまったく何も表示されない。	ディスプレイの電源がオフになっている。	ディスプレイの電源をオンにします。
	ディスプレイケーブルが適切に接続されていない。	ディスプレイケーブルをディスプレイおよび Base Unit に挿入します。
	ディスプレイが Base Unit の出力解像度を認識しないか、表示できない。	Web インターフェイスを使用して該当する設定を変更します。
	Base Unit がスタンバイモードになっている	Base Unit のスタンバイボタンを短く押すか、Button を挿入して ClickShare ソフトウェアを実行します。
WiFi 接続状態がよくない	ワイヤレスチャンネルが輻輳状態である	ワイヤレスネットワークスキャンツールを使って、空きチャンネルまたは最も輻輳状態でないチャンネルを探してください。
	金属製キャビネット、壁、建築材などが、ワイヤレス信号の反射する原因となり、接続状態を悪化させることがあります。 Button および Base Unit 間に障害物があると、ワイヤレス信号の強度および質が低下する原因となります。	Base Unit を部屋の別の場所に移動してください。
		キャビネットの中、吊天井、テーブルの下、壁の後ろ、別の部屋などには置かないでください。
		Base Unit のアンテナの向きを変えてください
		WiFi に関する ClickShare のホワイトペーパーを www.barco.com/clickshare で参照してください。
Web インターフェイスに、「WiFi アクセスポイントデーモン」および/または「DHCP サーバー」プロセスでエラーが発生したと表示される	構成ファイルが破損している	Web インターフェイスの [構成] タブに移動し、[デフォルト設定のロード] をクリックしてください。
ClickShare Base Unit が正常に起動しない	構成ファイルが破損している	Web インターフェイスの [構成] タブに移動し、[デフォルト設定のロード] をクリックしてください。
Base Unit で LAN 接続できない	IP アドレスが間違っている	IP アドレスがお使いの LAN 範囲内ではない。
		DHCP が有効になっていない。
Base Unit で WiFi 接続を使用できない	SSID が正しくない	正しい SSID を入力してください

発生している問題を下表で検索し、解決策を実行してください。

9. 環境情報

9.1 廃棄に関する情報

廃棄に関する情報

廃電気電子機器



製品上のこのアイコンは、廃電気電子機器を統制する欧州指令 2012/19/EU に基づき、本製品がその他の一般廃棄物と共に廃棄できないことを示しています。廃棄機器を廃電気電子機器のリサイクルの指定収集場所に持ち込んで処理してください。無制御の廃棄物処理から環境または人体への危険の可能性を防止するために、その他の廃棄物からこれらのものを分離し、物的資源の持続可能な再利用を促進するために責任を持ってリサイクルしてください。

本製品のリサイクルに関する詳細情報は、地域の役所または地方自治体の廃棄物処理サービスにお問い合わせください。

詳細については、Barco ウェブ サイトを参照してください。 <http://www.barco.com/en/AboutBarco/weee>

製品の電池の破棄



本製品では、一般廃棄物から分別して収集および処理する必要がある 2006/66/EC 指定の対象となる電池を使用しています。

指定した値を超える鉛 (Pb)、水銀 (Hg)、またはカドミウム (Cd) が電池に含まれる場合は、これらの化学物質のアイコンがバッテリー印付き車輪容器アイコンの下に表示されます。

電池の分別収集に参加することにより、適切な廃棄を行って、環境および人体に悪影響を及ぼす可能性を回避できます。

9.2 RoHS 指令対応

トルコ RoHS 指令対応



Türkiye Cumhuriyeti: AEEE Yönetmeliğine Uygundur.

[トルコ共和国:WEEE 規格準拠]

中国大陸 RoHS (中国本土の RoHS)

根据中国大陸《电器电子产品有害物质限制使用管理办法》(也称为中国大陸RoHS)，以下部分列出了Barco产品中可能包含的有毒和/或有害物质的名称和含量。中国大陸RoHS指令包含在中国信息产业部MCV标准：“电子信息产品中有毒物质的限量要求”中。

「電子情報製品の危険物質の使用制限管理方法」(別名、中国本土の RoHS) に従い、Barco 社製品に含まれている可能性がある有毒/有害性物質の名称と成分を以下の表に示します。中国本土の RoHS は、中国情報産業部の MCV 基準、「電子情報製品の有毒物質の適用要件」の項に含まれています。

零件項目(名称) 成分名	有毒有害物質或元素					
	有害物質または要素					
	鉛 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr6+)	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
印制电路配件	x	o	o	o	o	o
プリント回路実装品						
外接電(線)缆	x	o	o	o	o	o
ケーブル						
底架	x	o	o	o	o	o
筐体						

9. 環境情報

電源供应器	x	○	○	○	○	○
電源装置						
文件说明书	○	○	○	○	○	○
印刷版の取扱説明書						

本表格依据SJ/T 11364的规定编制

この表は、SJ/T 11364 の規定に従って作成されています。

○: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 标准规定的限量要求以下。

○: この部品のすべての均質物質内に含まれている有毒または危険物質が、GB/T 26572 件で定められる上限よりも低いことを示します。

X: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T 26572 标准规定的限量要求。

X: この部品の少なくとも1つの均質物質内に含まれている有毒または危険物質が、GB/T 26572 要件で定められる上限よりも高いことを示します。

在中国大陆销售的相应电子信息产品（EIP）都必须遵照中国大陆《电子电气产品有害物质限制使用标识要求》标准贴上环保使用期限（EFUP）标签。Barco产品所采用的EFUP标签（请参阅实例，徽标内部的编号使用于指定产品）基于中国大陆的《电子信息产品环保使用期限通则》标准。

中国本土で販売されている電子情報製品 (EIP) はすべて、中国政府発布の「電気電子機器製品に含まれる危険物質の使用規制マーク」に準拠している必要があります。基準を満たしている製品には、環境に優しい使用の期限 (EFUP) のロゴマークがあります。Barco が使用する EFUP ロゴ内の番号 (写真を参照) は、中国政府発布の「電気電子機器製品の環境に優しい使用の期限に関する一般ガイドライン」を基にしています。



画像 9-1

限用物質含有状況標示説明書 (規制物質標識の有無状況の宣言書) - 台湾 RoHS 指令対応

設備名稱： 影音共享控制中心， 型號 (型式)： CSE-800						
装置名: ワイヤレスプレゼンテーションシステム, タイプ指定: CSE-800						
	限用物質及其化學符號 規制物質およびその化学記号					
單元 單位	鉛 鉛 (Pb)	汞 水銀 (Hg)	鎘 カドミウム (Cd)	六價鉻 六価 クロム (Cr6+)	多溴聯苯 ポリ臭化ビフェ ニール (PBB)	多溴二苯醚 ポリ臭化ジフェ ニールエーテル (PBDE)
印製電路板配件 プリント回路実装品	—	○	○	○	○	○
電 (線) 纜 ケーブル	—	○	○	○	○	○
機箱 筐体	—	○	○	○	○	○

設備名稱： 影音共享控制中心， 型號 (型式)： CSE-800						
装置名: ワイヤレスプレゼンテーションシステム, タイプ指定: CSE-800						
	限用物質及其化学符號 規制物質およびその化学記号					
單元 単位	鉛 鉛 (Pb)	汞 水銀 (Hg)	銅 カドミウム (Cd)	六價鉻 六価 クロム (Cr6+)	多溴聯苯 ポリ臭化ビフェ ニール (PBB)	多溴二苯醌 ポリ臭化ジフェ ニールエーテル (PBDE)
電源供應器 電源装置	—	○	○	○	○	○
備考1. “超出0.1 wt %” 及 “超出0.01 wt %” 係指限用物質之百分比含量超出百分比含量基準值。 注1: 「Exceeding 0.1 wt %」および「exceeding 0.01 wt %」は、制限される物質の含有量の割合が、条件である参照値を超えていることを示します。 備考2. “○” 係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。 注2: 「○」は、制限される物質の含有量の割合が参照値を超えていないことを示します。 備考3. “—” 係指該項限用物質為排除項目。 注3: 「—」は、制限される物質の免除項目であることを示します。						

9.3 輸入元連絡先情報

連絡先

お住まいの地域の輸入元については、Barco に直接お問い合わせいただくが、各地にある Barco のオフィスのいずれかにご連絡ください。各オフィスの連絡先情報は、Barco のウェブサイト www.barco.com に記載されています。

索引

数字/記号

一般情報 7, 11
 Base Unit 7
 Button 11
 環境情報 85
 Rohs 指令対応 85
 接続 21
 Base Unit 21
 ディスプレイ 21
 更新 74, 79
 ソフトウェア 79
 ファームウェア 74
 Base Unit 74
 Button 74
 構成 29
 アクセス 29
 準備 25
 Button 25
 黒板 69
 一般情報 3, 5
 CSE-800 製品 5
 ガイド 3
 個人用設定 39
 独自の壁紙 39
 壁紙 39
 独自 39
 設置 17, 19-20
 ウォール マウント 17
 Base unit 17
 シーリングマウント 19
 Base unit 19
 ラックマウント 20
 Base unit 20
 設定のアップロード 41
 基本ワークフロー 15
 接続中 23
 Base Unit 23
 電源 23
 LAN 23
 イーサネット 23
 接続 22
 Base Unit 22
 オーディオ 22
 説明書 3
 構成 33
 ウィザード 33
 構成ファイル 41
 歓迎テキスト 37
 会議室 37
 壁紙 39
 独自 39
 互換性 61
 Button 61
 仕様 5-6
 CSE-800 6
 会議室名 37
 会議室の場所 37
 完全バックアップ 41
 省電力設定 67
 音声設定 45

ENGLISH TERMS

API設定 60
 APIパスワード 64
 Base Unit 7, 21
 一般情報 7
 ディスプレイ 21
 接続 21
 Base unit 17, 19-20
 ウォール マウント 17

シーリングマウント 19
 設置 17
 方法 17
 テーブル マウント 17
 ラックマウント 20
 Base Unit 22-23, 65
 電源 23
 接続中 23
 LAN 23
 接続中 23
 イーサネット 23
 接続中 23
 オーディオ 22
 接続 22
 再起動 65
 Button 25, 61
 互換性 61
 ペアリング 25
 Button のペアリング 25
 Button 11, 25, 68
 一般情報 11
 準備 25
 ClickShare API 60, 64
 パスワード 64
 CMGS サーバー 61
 統合 61
 EAP-TLS 53
 EAP-TTLS 55
 ECO スタンバイ 67
 Extension Pack 26
 インストーラ 26
 LAN 設定 48
 PEAP 57
 Portable Version 41
 WiFi 設定 46
 WPA2-PSK 58
 WebUI パスワード 64

あ

安全 15
 環境条件の確認 15
 アンテナの配置場所 21
 推奨事項 21

い

インストール 17
 インポートダクシオン (はじめに) 3

う

ウォール マウント 17
 Base unit 17

お

オンスクリーン 35
 言語 35
 テキストサイズ 35
 オンスクリーン 37
 情報の表示 37

か

壁紙 38
 環境に関する情報 85
 廃棄に関する情報 85
 環境条件の確認 15

き

記号 3

け

言語 35
オンスクリーン 35

こ

個人用設定 38
壁紙 38
工場出荷時のデフォルト 76

さ

サービス 59
モバイル装置 59

し

シーリングマウント 19
Base unit 19

す

スタンバイ 67
ステータス情報 65

せ

設置 17, 21
Base unit 17
方法 17
アンテナの配置場所 21
推奨事項 21
テーブルマウント 17
Base unit 17
セキュリティレベル 62

そ

ソフトウェアアップデート 79
ソフトウェア 79
更新 79

た

タイムアウト画面 67

て

ディスプレイ 21
接続 21
Base Unit 21
ディスプレイ設定 43
出力 43
ディスプレイ設定 46
入力 46
テキストサイズ 35
オンスクリーン 35
テーブルマウント 17

Base unit 17

と

導入 3
記号 3
フォント 3
トラブルシューティング 75
ログ設定 75
トラブルシューティング 81
トラブルシューティング一覧 81

に

日時 65, 67
NTP サーバー 67
手動 65
タイムサーバー 67

ね

ネットワーク統合 50, 53, 55, 57-58
起動 50
EAP-TLS 53
EAP-TTLS 55
PEAP 57
WPA2-PSK 58

は

はじめに 15
パスワード 64

ふ

ファームウェア 74
更新 74
Base Unit 74
Button 74

ほ

使用ポート 12

も

モバイル装置 59
モバイル装置 12
サポート 12

ゆ

輸入元 87

ら

ラックマウント 20
Base unit 20

ろ

ログ設定 75